

昭2(1927)年

京	都	府
1・1 南座、井上正夫、水谷八重子一座開場。 日出 1・1	5・6 公会堂、音楽協会主催、ソヴェート・オペラ開催。 日出 5・6	
1・1 夷谷座、志我廻家淡海一座開場(4月戻り興行)。 同上	5・8～17 南座、東京大歌舞伎吉右衛門一座興行。 日出 5・6、15	
1・1～2・6 京都座、新潮座山口俊雄一座開場(昨年8月同座で旗揚げ、4月戻り興行、5月興行で解散)。 日出 1・1、2・9、23、5・23	5・20、21 青年会館、「エラン・ヴィタール」小劇場第47回(小劇場発行パンフレットによれば45回)試演。「チエホフ、犬・伯父ワーニヤ」上演。 日出 5・18	
1・2 舞鶴、朝代遊廓内劇場「縦走座」出火全焼。 日出 1・4	5・27～6・2 築地小劇場、松竹座で公演。 日出 5・24	
1・29、30 公会堂、築地小劇場公演 ⁽¹⁾ 。 日出 1・27	5・29 東亜キネマ等持院撮影所に甲陽撮影所合併、ステージ増築。 日出 5・29	
1・29～31 松竹座、「快傑ゾロ・ステラ・ダラス」上映。 日出 1・29	5・一 「美術劇場」 ⁽⁴⁾ 誕生。17、18日青年会館で第1回公演(第2回公演、6・一「ある時代・生きている小平次」)。 日出 5・3、15、6・26	
1・一 初春大葬につき歌舞禁止が解かれたといえ、各遊廓謹慎静粛。 日出 1・1	6・1～8 南座、井上正夫一座興行。 日出 5・24	
1・一 三友劇場、倉橋仙太郎総監督、沢田正二郎主催、新国劇第二党(原・金井・倉橋・西村・宍町ら)開場。 同上	6・2 八坂クラブで哥沢会開催(これに対し21日公会堂で祇甲哥沢研究会開く) ⁽⁵⁾ 。 日出 6・1	
2・1～17 南座、曾我廻家五郎一座興行。 日出 1・31	6・11 京都ストリング・オーケストラ(中村良治指揮)、公会堂で無料公演、ソプラノ北脇とみ子出演(10・9第2回開催)。 日出 6・10、10・6	
2・1 三友劇場、東京女優歌舞伎嵐寿々八一座開場。(3・1お名残狂言開演、のち戻り興行、9・18三の替り)。 日出 2・28、9・19	6・23 京都座、新人座お名残興行。 日出 6・22	
2・18～24 南座、新国劇沢田正二郎一座「復活・相馬大作」興行。 日出 2・16	6・28 稀音家三太郎の社中三精会美術クラブで第1回演奏会開催。 日出 6・30	
2・27 公会堂、モギレウスキー、ヴァイオリン独奏会。音楽協会主催。 日出 2・23	6・30 夷谷座、淡海劇初日。 日出 6・29	
2・一 代表的映画人18人「友達の会」 ⁽²⁾ 組織、文壇人の批判に対抗。 日出 2・17	6・一 夷谷座、田宮貞楽一座喜楽会喜劇好評、10日まで。(21～8日間、お名残興行、12・31再来開場)。 日出 6・8、23、12・22	
3・1 京都座、中田正造一座開場。 日出 2・28	6・一 南座、曾我廻家五郎劇興行。 日出 6・18	
3・28 公会堂、杵屋佐吉帰朝歓迎演奏会。 日出 3・21	7・1 南座、文楽人形浄瑠璃開場。 日出 9・29	
3・一 福知山に南座建築中、3月中に完成。 日出 3・3	7・1 三友劇場、小原節元祖小原花房一座に曲技泰玉章一行加り興行。 同上	
3・一 夷谷座、籠寅専属大歌舞伎興行。 同上	7・18 祇園新地絃声会と歌舞会提携手打式挙行。 日出 7・16、22	
3・一 映画「忠次旅日記(伊藤大輔監督・大河内伝次郎主演)」空前の名声。 田中、日本映画発達史	8・31 京都座、剣劇中田正造の新声劇開場「俠骨幡随院」上演。 日出 8・23	
3・一 3月新京極興行もの非常な繁昌 ⁽³⁾ 。 日出 4・21	9・1 南座、右団次一座関西大歌舞伎開場。 日出 9・2	
4・5 第2新京極富士館・八千代館焼失。 日出 4・6	9・27 公会堂、エラン・ヴィタール創立10周年記念、「トルストイ、生ける屍」公演。 日出 9・27	
4・9、10、11 先斗町歌舞練場新築落成式(工費100万円)挙行。 日出 2・5	10・8 公会堂、梅若能大会、梅若六郎・万三郎・鎮之丞出演。 日出 10・6	
4・10～17 南座、右団次、我童、雀右衛門、扇雀、長三郎、橘三郎、大吉一座「曾我対面、義経千本桜、浅妻船、卯の花、新版歌祭文、象仙人」興行。 日出 3・5	10・11 公堂会、京都音楽協会主宰、藤原義江帰朝を機にリサイタル開催。 日出 10・9	

参	考	日	本
(1) 築地小劇場の京都公演を主宰する後援団体「パンタ・ルーン」できる。数名の演劇愛好家を中心となり、入場券を捌いて経営面にも責任を持った。29日、「武者小路実篤作、愛慾」、30日「シュテルンハイム作、ホオゼ」、演出土方興志、出演者友田恭助・山本安英・薄田研二・島田敬一・田村秋子ら。会員券、2円・1円、両日通し、3.50・1.70。		1・1～4 築地小劇場、創立4周年をむかえ第1回帝劇公演を開催。	
(2) 文壇人は、映画人は低級だ、映画人は、文壇人は映画を知らぬ、といがみ合は久しい。最近文壇人の言説は映画ファンをまどわすと「友達の会」というのを作り、機関誌をも発行して世に問う。		1・一 皆川芳造、初のトーキースタジオ、昭和キネマ設立。	
(3) 京都座・夷谷座・三友劇場三劇場延入場者、73,196人、入場料9,134円、松竹座・歌舞伎座・帝国館マキノ・キネマ・キネマクラブ・新富座・八千代館・中央館の映画館計258,643人、料金85,075円、富貴亭他5席、27,296人、10,617円79銭。前年3月に比べると、劇場では24,563人減、17,091円減。活動写真、44,305人、19,489円50銭増。寄席、17,368人1,046円01銭増。		1・一 東京音楽学校編「近世邦楽年表」(義太夫節の部)刊。	
(4) 国展系の画家・美校出身者が中心。演技部、伴登代彦・秋田猿人・月島俊一・岸田信夫・郡光子・茅野百合子。美術部、粥川伸二・永野芳光・河隅玉祐・福田豊四郎・西垣条。衣裳部、吉川親方・加茂日出子・松崎修巳。文芸部、高谷伸、広瀬伯紀・大石郁・中井広次郎。経営部、広瀬伯紀・西垣修・塚口照郎・雲井武。幕内主任、久保路之助。下旬第1回、公会堂での出演々目は、「金子洋文、理髪師・岸田国土、紙風船・鈴木泉三郎、生きている小平次」。研究生の募集行う。会員制、会費月A2円・B(学生)1円。 日出 5・3		2・20 新交響楽団青山日本青年館にて第1回定期公演開催(以後昭29・4まで主として近衛秀麿・ケーニッヒが指揮)。	
(5) 哥沢家元芝金とその姉の三味線芝勢以とは仲悪く芝勢以は分離し新しく家元を起した。京都では芝金派は振わず、弟子芝左美太夫一派が孤暈を守っていたが、地盤を築くため京都哥沢研究会を新しく設け、2日八坂クラブで華々しく氣勢を挙げた。一方の公会堂の祇甲哥沢研究会は、芝勢以の弟子芝屑の高弟で祇甲の師匠哥沢芝寿太夫主催で、芝屑初め高弟の芝賀・芝幹太夫も出演し、祇甲の門下芸妓総出の賑かさであった。家元間の勢力争いを呈した。 日出 6・1		2・24 伊庭孝、近衛秀麿、堀内敬三らによりNHK放送歌劇(ヴァレリア・ルスチカーナ)第1回放送。	
(6) 祇園新地には女紅場を地盤とする伝統的な長唄練習組織があり、絃声会と名付け、地元出身者を師匠として来た。大正13年秋、女紅場に長唄以外に常盤津・清元の科目が設けられた機会に、長唄科に研精会から、稀音家三太郎が、三太郎が解任のあと六治が派遣されて来た。この研精会派と絃声会派とは、疎隔を生じ、対立的な行動に現われ支障を来たすことになるので、有力者の調停により、絃声会の小林・北村両師匠と幹部達、六治らが18日、八坂クラブに出席手打式を行い、両派共存互助、手をとり合ってゆくことになった。		3・12 林長二郎(長谷川一夫)デビュー作、「稚児の剣法」(衣笠映画連盟)封切。	
		3・一 勅使河原蒼風、草月流を創流。	
		4・一 水谷八重子一座、芸術座復活。	
		5・10 日本ポリドール蓄音器商会設立。(独グラモフォン社と契約、輸入原盤による洋楽レコード製造開始)。	
		5・一 日本蓄音器商会、米コロンビア会社と提携。	
		6・11 前衛座分裂、佐々木孝丸、村山知義ら前衛劇場を結成、プロ芸派の佐野碩、久板栄二郎らはプロレタリア劇場(旧トランク劇場)結成。	
		6・一 阪東妻三郎、大日本ユニバーサルと絶縁、妻三郎プロダクションを創立。	
		6・一 花柳章太郎ら、浅草松竹座に松竹新劇団結成。	
		6・一 日本最初の舞台中継、玄治店放送。	
		6・一 小山内薫、日本最初のトーキー映画黎明をトナミーキーにより製作。	
		9・1～10・31 宝塚少女歌劇、レビュー、モンパリー初演。	
		9・13 日本ビクター蓄音器株式会社設立。	
		9・一 「名曲タイムス」創刊(昭28・6「名曲」、昭31・1「レコード音楽」と改称)。	
		10・12 猿之助、友右衛門、寿美蔵、松蔭、亀蔵、梨青会を結成。	
		11・12 小山内薫、ソビエト建国10周年記念に国賓として招待される。	
		11・15 中村雀右衛門、舞台にて没(53歳)。	
		11・28 国民音楽協会主催、第1回合唱音楽祭日本青年館にて開催。	
		11・一 加藤長治主宰の劇団、地球座結成。	
		12・7 スルヤ楽団結成。第1回作品発表会開催。	

昭2(1927)年

京	都	府
10・20～29	南座、新国劇10周年記念興行。 日出 10・21	
10・22	諒闇中にかかわらず時代祭挙行、山国隊も参列。 日出 10・10	
10・一	南座、五郎劇興行。 日出 10・6	
10・一	夷谷座、淡海劇興行、12日四の替り、12・15～20お名残狂言。 日出 10・6、11、12、13	
10・一	京都座、新潮社興行(14月二の替り)。 日出 10・6、11	
11・11	市立円山音楽堂竣工式、楽堂開挙行(午後2時、7時から陸軍戸山学校軍隊演奏会。12日市内有志音楽団体演奏会)。 日出 11・9	
11・19	同志社教会堂、京都混声合唱団第1回発表演奏会。 日出 11・17	
11・25	公会堂、エラン・ヴィタル小劇場公演、「シオン・オケシー、ジュノと孔雀・寛大な恋人」上演。 日出 11・25	
11・30	青年会館、藤原義江告別独唱会。 日出 11・29	
11・一	京都座、都築文男一座御目見得狂言、「俠客忠臣蔵」、11・10まで。 日出 11・8	
11・一	三友劇場、新国劇第二党二の替り。(11・23お名残狂言)。 日出 11・8、23	
12・1	南座顔見世興行。鴈治郎・福助・長三郎・梅幸ら昼「尾形光琳・引窓・保名・勸進帳・平家蟹」、夜「竜巻・尼ヶ崎・茨木・藤十郎の恋・小鍛冶・三社祭」。 日出 11・26	
12・1	三友劇場、佐藤成之助一派と海老一社中合同喜劇。 日出 12・1	
12・5	公会堂、音楽協会主催、ヂムバクスト大演奏会。 日出 11・24	
12・8	京都座、諸口十九・筑波雪子一座舞台劇開演。 日出 12・5	
12・21	「世紀座」発会式 ⁽⁷⁾ 。 日出 12・20	
12・31	京都座、辻野良一・中田正造・伊川八郎・和歌浦糸子・富士野蔦杖らの「新声劇」開場。 日出 12・22	
<p>この年</p> <p>▷ 映画</p> <p>「忠次旅日記、第一部甲州殺陣篇」(日活大將軍)、「波を纏ふ五人の女」(日活大將軍)、「靴」(日活大將軍)、「生霊」(日活大將軍)、「悪魔の星の下に」(マキノ御室)、「阿里山の俠児」(日活大將軍)、「流転(前後篇)」(日活大將軍)、「忠次旅日記、信州血笑篇」(日活大將軍)、「下郎」(日活大泰)、「しゃぼん娘」(日活大將軍)、「忠次旅日記、第三部・御用篇」(日活大泰)</p>		

参	考	日	本
<p>(7) 近藤伊与吉指導、衣笠南道町42に事務所を置き「世紀座」発会式を事務所で催す。毎週一二次会合し脚本朗読、年二回公演の計画。日出 12・20</p>			

昭3(1928)年

京	都	府
1・7 三友劇場、実川延童一座二の替り(1・22月の替り1・30五の替り)。日出 1・7、21、30		4・30 公会堂、新交響楽団演奏会開催。日出 4・28
1・9～29 夷谷座、貞楽劇二の替り(お名残り狂言)。日出 1・9		5・12 南座、吉右衛門・三津五郎一座東京大歌舞伎「再春菘種蒔・石切梶原・連獅子・隅田川続佛・双面葱姿絵」(24日千秋楽)。日出 4・26、5・21
1・10 南座、文楽二の替り。同上		5・11 三友劇場、東京女歌舞伎市川牡丹一座開場。日出 5・11
1・11 京都座、新声劇二の替り(お名残り狂言)。同上		5・14、15 先斗町歌舞練場、髑髏座 ⁽³⁾ 第2回公演、「武者小路実篤、その妹・邦枝完二、盜棒戯談」。日出 5・12
1・15 公会堂、音楽協会主催、音楽と歌劇の会、東俄哲三郎・美智子嬢・清水金太郎・静子夫人出演。日出 1・13		5・17 先斗町歌舞練場、哥沢宗家芝金主宰の哥沢大会開催、京都哥沢研究所・芝左美会他各地より門流出演。日出 5・17
1・15 新京極中座、改築記念興行二の替り、軽演芸・弥次喜多映画など。日出 1・15		5・23 公会堂、アートクラブ主催、ソプラノ、立松房子・アルト、永井智子・ヴァイオリン、松山長谷夫の演奏会開催。日出 5・22
2・1 南座、曾我廼家五郎一座開場(2・9～16お名残り狂言)。日出 1・29、2・9		5・27 観世能楽堂、観世左近襲名披露能。日出 5・28
2・1～8 京都座、全国万才座長大会興行。日出 1・29、2・7		5・一 峰山町字光明寺の峰山座、昨年の震災で全壊、再築認可申請中。日出 5・17
2・1 夷谷座、志賀廼家淡海一座お名残り開場、4・19戻り興行、5・1～21二の替り。日出 1・29、4・18、28		6・2 公会堂、京大音楽管絃楽団、エマヌエル・メッテルを指揮者に迎え、春季演奏会開催。日出 6・2
2・4 京都コーラス会第2回演奏会。日出 1・29		6・2 先斗町歌舞練場、原始劇場、第1回公演、「チャベック、人造人間」上演。日出 6・5
2・4、5 先斗町歌舞練場、エラン・ヴィタール小劇場第53回公演 ⁽⁴⁾ 。(2円・1円・70銭)。日出 1・31		6・3 青年会館、京大マンドリン・オーケストラ創立5周年記念、第10回演奏会開催。日出 5・31
2・9～17 京都座、籠寅専属中村吉十郎・林長之助一座歌舞伎興行。日出 2・9		6・4 公会堂、ジャック・テイボウヴァイオリン独奏会開催。日出 6・3
2・11 中座、ズブラン座、第14回曲目替「喜孔劇、帽子と金・歌舞劇、中村曾我・史歌劇、三人漏斗」。日出 2・12		6・6 青年会館、原田淑人セロ独奏会、ソプラノ、新実愛子・ピアノ、小北正太郎賛助出演。日出 5・30
2・16～20 先斗町歌舞練場、「法然上人伝、知恩院の大河内作、三幕五場」布哇帰りの青木一派上演。日出 2・4		6・14 南座、曾我廼家五郎一座(20終演、続いて二の替興行)。日出 6・12、19
2・18～25 南座、小織桂一助・水谷八重子合同劇、「椿姫・光は暗から・対角関係」。日出 2・21、22		6・24 先斗町歌舞練場、世紀座 ⁽⁴⁾ 、第1回公演。日出 6・10
3・1 南座、仁左衛門・延若ら東西合同大歌舞伎開場(～16日千秋楽)。日出 2・27、3・16		6・26 円山音楽堂、市社教課主催、呉海軍々楽隊吹奏楽演奏会(雨天の際は公会堂)。日出 6・24
3・1 夷谷座、松旭斎天勝一座、奇術・オペレット開場。日出 2・27		6・30 南座、新国劇沢田正二郎一座開場。「白野弁十郎・旗本五人男此村大吉(額田六福作週刊朝日掲載)」上演(11日打上)。日出 6・29、7・11
3・1～18 京都座、中田正造・辻野良一らの新声劇「大岡政談」公演(6・21お名残り狂言)。日出 2・27、3・16、6・17		6・一 夷谷座、豊竹昇之助一座、一部人形入興行。日出 6・24
3・22、23 公会堂、昭和キネマ主催、発声活動写真(フォノ・フィルム)公開 ⁽²⁾ 。日出 3・20		7・11 京都座、時田一瓢・大和家小宝楽一座浪花名物喜劇開場(20日より二の替り)。日出 7・11、18
4・6 三友劇場、新国劇開場(前興行の市川荒五郎・片岡秀郎一座は、6日から宮津橋立劇場出演。日出 4・6		
4・23、24 公会堂、パンタルウン主宰、築地小劇場イプセン生誕100年記念公演「幽霊」上演。日出 4・18		

参	考	日	本
(1) 演目、4日「シオン・オケシ、ジュノと孔雀」、5日「ゴーゴリ、検察官」であったが「検察官」は上演禁止となったので、2日目も「ジュノと孔雀」上演、「シュニッツラア、結婚式の朝、一幕」を差加えることになった(東坊城恭長・築地浪子出演)。「検察官」は大正9年に南座で演じたことがあり、東京では築地小劇場が2回上演したことがあるのに今回の禁止は不審がられている。日出 2・5		2・8 箏曲、3代中能島松仙没(36歳)。	
(2) 上映プログラム、1. 舞踊「鏡」高田舞踊団・2. 吹奏楽「六段」陸軍々楽隊・3. 小品舞踊「影」花柳徳次、伴奏玲音楽会・4. 「マーセル・シャプイ作曲、ノーチの娘」原せい子・5. 「小山内薫脚色監督、黎明」築地小劇場出演・6. 小品舞踊「幻想の印度」高田雅夫・原せい子・7. 「大剣劇酒井淳之助主演、生門死門」解説生駒雷遊・伴奏日本交響楽協会・8. 「松本幸四郎主演、素袍落」幸四郎・沢村訥升・松本金太郎・杵屋六左衛門・杵屋寒玉・竹本重寿太夫。この発声映画は皆川芳造が大正末アメリカから「フォノ・フィルム」を持帰ったのち、苦心の末製作したもの。幸四郎らの出演については俳優協会長歌右衛門が強く反対し、協会が幸四郎に詰問状を發し物議をかました。日出 3・20、21	2・一 鷹治郎、大阪中座で故市川齋入13回忌追善興行を開催。		
(3) 髑髏座は、草野祐光主宰、かつて(大正2年)文芸協会解散後そこから出て、舞台協会を創立した加藤精一に師事、この公演に行動を同じくした佐々木積と共に出演、第1回公演は昨年12月やはり先斗町歌舞練場で行い演目は「武者小路実篤、ある画室の主・ストリンドベルヒ、犠牲・菊地寛、真似」であった。	3・21 ヴォーカル・フォア(松平里子、佐藤美子、田谷力三、内田栄一)第1回演奏会開催。	3・26～30 築地小劇場、帝劇でイプセン生誕百年祭記念のため「ペエルキュント」を上演。	
(4) 世紀座は近藤伊与吉顧問、桂田重治主事、座員、波多野香澄・藤島みゆき・桑名歌・松本季子・橘錚之助・露原しげはる・静野哲之・木村君雄・玉木露子・御園晴峰・青山駒子・山形実・山中茂太郎・尾崎露雄・大沢掬・岩田義雄。上演脚本「菊池寛、貞操・順番・鶴田英太郎、辻堂の春・久米正雄、地藏教由来」日出 6・21	3・一 明治座新築落成、左団次、猿之助、寿美蔵、松蔭一座など上演。	3・一 プロレタリア劇場、前衛座と合併、東京左翼劇場結成、4・21第1回公演。	
	3・一 日本蓄音機商会、わが国最初の電気吹込邦盤レコード製作。	3・一 純国産ディスク式のトーカー・イーストフォン完成。	
	3・一 日本映画俳優学校開校。	4・一 東京シンフォニーオーケストラ第1回公演。	
	5・3 宮津博ら東京童話劇協会(東童)を結成。御殿倶楽部にて第1回公演会を開催。	5・3 宮津博ら東京童話劇協会(東童)を結成。御殿倶楽部にて第1回公演会を開催。	
	5・5 勅使河原蒼風、銀座千足屋にて第1回草月流花展開催。	5・5 勅使河原蒼風、銀座千足屋にて第1回草月流花展開催。	
	5・26～30 ジャック・ティボー来日演奏会(ヴァイオリン)帝劇にて開催。	5・26～30 ジャック・ティボー来日演奏会(ヴァイオリン)帝劇にて開催。	
	6・一女優、伊沢蘭香没(36歳)。	6・一女優、伊沢蘭香没(36歳)。	
	7・12 2世左団次ら、ソ連政府の招待で歌舞伎公演に出發(8・1～17、モスクワ芸術座で上演、11・6帰国)。	7・12 2世左団次ら、ソ連政府の招待で歌舞伎公演に出發(8・1～17、モスクワ芸術座で上演、11・6帰国)。	
	9・1 曾我廼家十吾、2世渋谷天外らの松竹家庭劇、角座で第1回公演。	9・1 曾我廼家十吾、2世渋谷天外らの松竹家庭劇、角座で第1回公演。	
	9・5 歌舞伎俳優、尾上松助没(86歳)。	9・5 歌舞伎俳優、尾上松助没(86歳)。	
	9・14 大阪の舞踊家、榎茂都扇性没(65歳)。	9・14 大阪の舞踊家、榎茂都扇性没(65歳)。	
	10・10 東和商事映画部(社長川喜多長政)設立、昭26・2、東和映画(株)となる。	10・10 東和商事映画部(社長川喜多長政)設立、昭26・2、東和映画(株)となる。	
	10・11 築地小劇場改築落成、「国姓爺合戦」を上演。	10・11 築地小劇場改築落成、「国姓爺合戦」を上演。	
	10・12 東京松竹楽劇部設立、水の江滝子ら入部(昭6、松竹少女歌劇部)。	10・12 東京松竹楽劇部設立、水の江滝子ら入部(昭6、松竹少女歌劇部)。	
	10・一 松竹合名会社(東京)、松竹興業株式会社と発展改称。	10・一 松竹合名会社(東京)、松竹興業株式会社と発展改称。	
	12・6 新交響楽団、初めてレコード録音。	12・6 新交響楽団、初めてレコード録音。	
	21・25 小山内薫没(明15生、48歳)、28日築地小劇場葬。	21・25 小山内薫没(明15生、48歳)、28日築地小劇場葬。	
	12・一 作曲家組合、日本作曲家協会と改称。	12・一 作曲家組合、日本作曲家協会と改称。	
	この年	この年	
	▷ 河合プロ、嵐寛寿郎プロ、片岡千恵蔵プロなど独立プロの設立さかん。	▷ 河合プロ、嵐寛寿郎プロ、片岡千恵蔵プロなど独立プロの設立さかん。	

京 都 府	
8・1 夷谷座、松旭斎天華一座奇術新舞踊 (8日～13日お名残り興行プログラム替)。 日出 7・31、8・7、13	11・14 大嘗祭当日一切歌舞音曲停止。同上
8・13～15 先斗町歌舞練場、築地小劇場公演、 「谷崎潤一郎、法成寺物語・武者小路実篤、三和 尚」。(三和尚8・12JOBK放送)。日出 8・10、12	11・25 円山音楽堂、女子中等学校御大礼奉祝 聯合音楽会開催。日出 11・25
8・17～26 南座、林長二郎・筑波雪子・梅島 昇・柳永二郎・小織桂一郎ら一座、「北村小松、 活動狂時代・益田太郎冠者、女中難・中井泰孝、 鬼あざみ・田中総一郎、ウムベルト・ノビレ(第 四航空局・イタリア領事館・大阪毎日後援)」(26 日終演)。日出 8・13、26	11・一 夷谷座、関西若手歌舞伎、実川延童・ 片岡門童・嵐豊三郎・嵐技之助・尾上多見丸・嵐 佳笑ら一座(11日二の替り、21～29日お名残り狂 言)。日出 11・1、12・21、29
8・15 夷谷座、淡海劇開場。日出 8・15	12・2 南座顔見世興行初日 ⁽⁶⁾ 。日出 12・24
8・22～1ヶ月間 天田郡教育会主催、府社会 課の教育映画の第2回町村巡回活動写真会。 日出 8・16	12・9 京都師範学校同窓会主催、御大典記念 音楽会。竹内禎子・クレーン(ヴァイオリン)出 演。日出 12・2
8・31 京都座、新声劇(辻野良一・中田正造 ら)開場。(11～18日二の替り、20日名残り狂言)。 日出 8・26、9・9、20	12・7、8 大毎会館(三条御幸町)でエラン ・ヴィタール第55回公演。日出 12・8
9・1～7 南座、文楽人形浄瑠璃興行。 日出 8・29、9・7	12・21～23 中座、木村重友・京山若丸・早川 燕平東西浪曲顔合興行。日出 12・23
9・1 夷谷座、田宮貞楽一座開場。 日出 8・29	12・26、27 松竹座、「ワルター・ロットマン・ 伯林大都会交響楽」上映。日出 12・27
9・9～18 南座、魁車・我童・寿三郎・扇雀 ・徳三郎ら関西大歌舞伎開場(21～25日、春野百 合子一座女流浪曲)。日出 9・7、日出 9・20	12・31 京都座、新声劇辻野・中田一座、開場。 同上
9・21～ 御大礼博会期中余興として西会場演 芸館で新舞踊「都十二景」を上演。日出	12・31 歌舞座・マキノキネマ・新京極八千代 館・中央館・三友劇場・七条エビス館・伏見松竹 座の各映画館フィルム替り。日出 12・31
9・21 笑福亭、大阪の女義太夫竹本綾助一座。 日出 9・21	この年 ▷ 映画 「結婚二重奏(前後篇)」(日活大將軍)、「血煙 高田馬場」(日活太秦)、「十字路」(松竹京都)、 「新版大岡政談(第二篇)」(日活太秦)、「蹴合鷄」 (マキノ御室)、「浪人街(第一話)」(マキノ)、 「崇禅寺馬場」(マキノ御室)、「激流(後篇)」(日 活大將軍)。
9・28 公会堂、音楽協会主催、荻野綾子・深 尾須磨子演奏会。日出 9・13	
10・15 公会堂、(大礼博特別余興)中国韓世昌 一座、崑曲公演。日出 10・9	
10・17 嵯峨車折神社、三船祭復興、挙行。 日出 9・30	
10・21 園部町公会堂、丹波キリスト教会青年 会主催、同志社グリークラブ公演。日出 10・14	
10・23 夷谷座、淡海劇開場。 日出 10・25、12・14	
11・1 南座、文楽座人形浄瑠璃開場。 日出 9・26	
11・1 京都座、松竹新喜劇、十吾・一雄・高 田・小織一座開場(連日大入)(6日お名残り狂言)。 日出 11・12、12・6	
11・6 大海原知事、御大礼報道入京の全国記 者、800人を南座に招待歓迎会開催。余興に、オ ーケストラ・素囃・舞・地唄・踊・文楽・松竹ダ ンス上演。日出 11・4	
11・10～16 都踊一般観覧をやめ、御大典参列 の内外貴賓、参列大官招待。日出 11・10	

参 考	日 本
(5) 中村鴈治郎大一座、東京から市川中車・松本 幸四郎・沢村宗十郎・坂東寿三郎加入、当之助改 め嵐吉三郎・蓮蔵改め市川九団次・源平改め沢村 訥升(改名後初めての京都舞台)。芸題、昼「伽 羅先代萩・源平布引滝、実盛物語・釣女・寿曾我 対面」夜「鬼一法眠三略巻、菊畑・玩辞楼十二曲 の内、敵討檻妻錦、大晏寺堤・助六、由縁江戸桜 ・大津絵」。助六上演について幸四郎が市川宗家 へ許可を願出たところ上演を許さない、市川家と 幸四郎との問題に俳優協会傍観できず、許可を取 つけた。	

京	都	府
1・1 松竹座・新京極帝国館。 日出 昭3・12・13		3・31 京都座、曾我廼家五郎一座(9日打揚、更に二の替り)。(4・19～7日間吉田奈良丸引退、三代目を吉田一若が襲名披露興行)。 日出 3・30、4・7、18
1・23 公会堂、発声映画の会を大阪毎日が主催、「生門死門・一剣横行・紙人形春の囁」。 日出 1・23		4・10 JOBK「祇園の夕」 ⁽²⁾ 放送。 日出 4・10
1・25、26 公会堂、築地小劇場、小山内薫追悼公演「ゴロリキ、どん底」上演、林久男・成瀬無極・山本修二・村田実・伏見直江・土方与志・汐見洋・友田恭が開幕前追悼講演。 日出 1・23、25		4・13～29 夷谷座、帝キネ脱退の中村小福・尾上紋十郎加入の籠寅青年歌舞伎一座興行。 日出 4・11
1・31 夷谷座、淡海劇(13日二の替り)。 日出 1・17、2・12、28		4・15～27 中郡教育部主催、郡中各村に教育映画巡回。 日出 4・18
1・一 祇甲女紅場参与片山春子舞踊師匠の辞表提出に次いで、研精会派の長唄師匠稀音家六治・六惣次(副教師)・六四郎(六次の師)も辞表提出(女紅場理事長辻村多助の解決奔走、辞表全で一応返還し、本年の都踊には協調することとなった)。 日出 1・7、16		4・26、27 福知山電気館、猛獣映画「ザンパ」上映大盛況で、中野英治・梅村春子挨拶登上。 日出 4・26
1・一 京都座、新声劇二の替り「仕立屋金次・高山彦九郎」盛況連日満員。 日出 1・26		4・26、27 日出会館落成式挙行 ⁽³⁾ 。 4・29 京都座、新声劇開場。 日出 4・29
1・一 片岡千恵蔵、プロダクション建設。 日本映画発達史・田中		5・9、10 公会堂、築地小劇場 ⁽⁴⁾ 公演「ゲオルグ・カイゼル、朝から夜中まで」上映。同上
2・1 京都座、(南座改築中のため)関西大歌舞伎、我童・徳三郎・球蔵・延太郎・福太郎・片岡ひとし・浅尾大吉・右団次ら一座、昼「五三桐真砂石川・紙子仕立両面鑑・京人形甚五郎内」夜「大森痴雪、松平長七郎・義士外伝、鎌腹・奥州安達原・道行恋守環」(12日打揚、15日二の替り) ⁽¹⁾ 。 日出 1・27、2・12、14		5・14 公会堂、ガリクルチ、ソプラノ独唱会開催。 日出 5・14
2・17 祇甲長唄絃声会第62回、本年初回開催。 日出 2・14		5・19、20 日出会館、新築地劇団 ⁽⁴⁾ 、「金子洋文、飛ぶ唄」「片岡鉄兵、生ける人形」上演。 日出 5・17
2・17 祇園哥沢研究会八坂クラブで第8回演奏会開催。 日出 2・15		5・24 日出会館、日活「東京行進曲・菊池寛原作、溝口健二監督」特別試写会。 日出 5・21
2・23 京都混声合唱団音楽会、公開堂で開催(6月・11月にも開催)。 日出 2・19、京都音楽史		5・25 日出会館、日出映画の夕「春の目ざめ・雪崩」上映。 同上
2・一 松竹合名会社株式組織となる。 日出 2・13		5・一 夷谷座、田宮貞楽一座興行。市議選の折、「当選か落選か」上映、連日大入(6・20～27お名残狂言)。 日出 5・15、6・20
3・1 京都座、新声劇開場。(10日二の替り)。 日出 2・28、3・11		6・5 公会堂、藤原義江帰朝独唱会、音協・朝日新聞事業団主催。 日出 6・3
3・3 公会堂、柳兼子帰朝歓迎演奏会。 日出 3・2		6・11 京大オーケストラ、エマヌエル・メッテル指揮、第15回演奏会、公会堂。(10・30第16回演奏会)。 日出 6・6、京都音楽史
3・12、13 公会堂、市教育会主催、市社会教育課後援、東京音楽学校・学軍々楽隊250余名合唱、独唱演奏会開催。12日はベートヴェン「荘厳ミサ」上演。 日出 3・9		6・15 日出会館、「アベル・ガンス、鉄路の白ばら・ふもと」映画会。 日出 6・13
3・26 公会堂新響演奏会。 京都音楽史		6・17～21 京都座、松竹家庭劇お目見え狂言(天外の子一雄、2代目天外の襲名披露、22日お名残狂言、あと新声劇)。 日出 6・14、22、8・21
3・28 公会堂、近衛秀麿指揮東京高等音楽院、新響楽団合同演奏会開催。 日出 3・28		6・22、23 華頂会館、エランヴィタール小劇場第56回公演。 日出 6・19
3・30～4・9 夷谷座、松旭齊天勝一座興行。 日出 3・30、4・7		6・30 夷谷座、淡海劇(7・30打揚後直ちに映画館向きに改築、9・15開場) ⁽⁴⁾ 。 日出 6・29、7・3、8・2、9・11
		6・一 京都座、関西歌舞伎中堅一座(扇雀・我童ら)と河合武雄一派合同劇。 日出 5・27
		7・25 牧野省三没 ⁽⁵⁾ 、(51歳)。 日出 7・25
		7・31 京都座、新声劇(8・21～29お名残狂言)。 日出 8・2、21、29

参	考	日	本
(1) 芸題、昼「玉藻前二段目・壺坂・伯蔵主・曾我綉依御所染」夜「義経腰越状・色読販」 日出 2・14、16		1・一 吉右衛門、首振芝居の復活を企画、幸四郎・三津五郎・時蔵らと梨苑座を組織。	
(2) (大阪中継)、1. プロローグ、祇園新地連中・2. 地唄三曲、西行桜京都渡辺正之外・3. 放送舞台劇「楼門五三の相」南禅寺山門の場、坂東寿三郎一座・4. 都おどり、猪熊浅磨作歌、稀音家六四郎作曲「色絵の絵扇」、祇園新地初太郎外大勢。 日出 4・10		1・一 「音楽世界」創刊。	
(3) 26日開館式は午後零時から古式による手打式で行われ、午後1時から舞台開き挙行。式三番叟で始まる。中村かなめ(翁)・中村鷹之助(千歳)・中村扇(三番叟)が勤める。次いで余興に移り、林長三郎らの奴道成寺・勢獅子。第2日27日余興、勢獅子。曾我廼家五郎一座「故郷の土」・奴道成寺。29、30日午後6時からは音楽堂で、松竹・日活・東亜・マキノ・帝キネ五社優秀映画競。30日午後2時から音楽堂で、田宮貞楽一座「花吹雪」他万才・ダンス・浪花節・奇術・かけ合嘶し・舞踊等行われた。 日出 4・27、28、29		2・2 日本プロレタリア映画同盟(プロキノ)、2・4 同劇場同盟(プロット)、4・4 同音楽家同盟(PM) 結成。	
(4) 築地小劇場は小山内薫死後、演劇活動の目的(思想的傾向)、劇団と劇場の組織機構の問題が絡み内紛を生じ、劇場主土方の退団問題に端を發して、友田恭助が、次いで丸山定夫・山本安英・薄田研二・伊藤晃一・高橋豊子・細川和歌子の6人が連袂脱退、土方と共に「新築地劇団」を組織、残留組は「築地小劇場」として活動。		2・25 武蔵野音楽学校設立認可。	
(5) 牧野省三(明11女義太夫牧野弥奈吉を母として生れる)明31西陣千本座を買収、改築して経営、尾上松之助を招いて常打一座とし、横田永之助の映画事業に監督として、製作一切を引受け、周知の松之助の映画を数多く製作した。後横田と離れ、大正10牧野教育映画製作所を設立して独立の事業を始め発展してマキノキネマの設立、東亜キネマとの合併、マキノ・プロダクションの創立と曲折を経たが、一生映画と共に生き、映画史の初期から昭和初めに残した事蹟は特筆すべきである。		3・4 新国劇創立者、俳優沢田正二郎没(明25生、38歳)。	
		3・25 友田恭助、丸山定夫、山本安英、薄田研二ら、築地小劇場を脱退、残留組は劇団築地小劇場と改称。	
		4・5 土方与志、丸山定夫ら新築地劇団を結成、5・3～11築地小劇場で第1回公演を開催。	
		5・一 武蔵野館、電気館、ミナーキー式再生装置により、日本最初の本格的トーキー映画を上映。	
		5・一 東京音楽学校に長唄科創設。	
		6・一 「劇場街」創刊。	
		6・一 京都・大阪・神戸・名古屋の松竹座、シネフォン式再生装置を設備する。	
		6・一 畑中蓼坡、新劇協会を解散、新国劇に加入。	
		7・10 榎本健一ら、浅草水族館でカジノフォーリーを創立、軽演劇の先駆。	
		7・25 牧野省三没(明11生、52歳)。	
		7・一 新交響楽団、シフェルブラットを客員指揮者として招く。	
		8・一 長唄唄方、4代杵屋勝三郎没(62歳)。	
		9・5 新歌舞伎座開場、昭9・12新宿第一劇場と改称、昭35・7閉場。	
		10・一 歌舞伎大道具師、長谷川勘兵衛没(享年83)。	
		10・一 6代市川鯉十郎没(61歳)。	
		12・3～23 山田耕筰創作の歌劇「墮ちたる天女」歌舞伎座で公演、日本人創作の歌劇として最初の本格的公演。	
		12・21 川尻東次ら、人形クラブ(のちの人形劇団ブーク)結成。赤坂三會堂に第1回公演。	
		12・23 帝劇、松竹の経営となり、全俳優松竹に移る(昭15より東宝経営)。	
		この年	
		▷ 落語家、6代林屋正蔵没(42歳)。	
		▷ 東京華道協会設立。	
		▷ 宮城道雄、新楽器八十絃創案。	

昭4(1929)年

京	都	府
8・24、25 長岡天神境内で、日出新聞主催、「映画とレビューの夕」開催。 日出 8・24、25		11・24 日出会館、エラン・ヴィタール第57回公演、ヴェテドルフ作、八住利雄訳、「塵芥掃除組合」。 日出 11・24
9・1～10 京都座、松竹家庭喜劇(13日二の替り。22日三の替り)。 日出 8・30、9・12、23		11・25 南座、緊縮時代の折落成式省略、5,000人の招待夕2回「寿式三」(扇雀・魁車・右団治・長三郎)を演じ、場内巡覧。 日出 11・24
9・21 日出会館、レコード・コンサート。 日出 9・21		11・30 南座、新築記念吉例顔見世興行 ⁽⁷⁾ 。 日出 11・24、26、12・12
9・22 福知山公会堂、福知山音楽協会主催、レコード演奏・日本舞踊の会。 日出 9・23		12・1 舞鶴高女同窓会、ジェームス・ダン(ピアノ)・ダン道子(ソプラノ)・吉田敏雄(ヴァイオリン)出演。 日出 11・19
10・1 公会堂、梅若秋季能楽大会 ⁽⁶⁾ 。 日出 9・26		12・1～15 京都座、淡海劇。(18～28お名残狂言)。 日出 12・1、15、12・17、25
10・1 京都座、6年ぶりで曾賀 廻家淡海劇(21日二の替り、22～29日三の替り)。 日出 9・30、10・10、22、30		12・21～28 南座、曾我廻家五郎一座。 日出 12・8、25
10・4 公会堂、レオ・シロタブアノ演奏会。 日出 10・4		12・31 京都座、松竹家庭劇。 日出 12・26
10・6 祇甲歌舞練場、第65回絃声会。 同上		12・一 先斗町、千代栄会・土曜会解散。同上
10・13 キネマ・クラブ、ソヴェト映画「トルストイ、生ける屍」上映。 日出 10・13		この年
10・18、19 華頂会館、左翼劇場公演。 日出 9・27		▷ 映画
10・18 公会堂、ボリス・ラス、ヴァイオリン演奏会。 日出 10・18		「隼六剣士(後篇)」(マキノ御室)、「浪人街(第二話楽屋風呂)」(マキノ御室)、「日本橋」(日活太秦)、「浪人街(第二篇解決篇)」(マキノ御室)、「灰燼」(日活太秦)、「生ける人形」(日活太秦)、「一殺多生剣」(右太衛門ペロ)、「首の座」(マキノ御室)、「斬人斬馬剣」(松竹京都)、「傘張剣」(日活太秦)、「浪人街(第三話憑かれた人々)」(マキノ御室)、「都会交響楽」(日活太秦)
10・23、24 日出会館、読者招待「映画の夕」(6月以来例月読者デー開催)。 日出 10・23		
10・27 公会堂、伊達三郎セロ独奏会。 同上		
10・31 公会堂、京大第16回シムフォニー・コンサート。 日出 10・31		
10・一 華頂会館、新築地第3回公演。「藤森成吉、偽造株券・マルセル・トルウ、密偵」。 日出 10・10		
10・一 松竹座、イタリア、テナー、ボナヴィータ独唱会。 日出 10・14		
11・1 京都座、新声劇(12日二の替り)。 日出 10・31、11・13		
11・6 公会堂、第4回京都混声合唱団、エフゲン・クレイン指揮公演(柳兼子・近藤義次・上村いさを・加藤栄・太田黒養二・土家熙出演)。 日出 11・5		
11・8 発声映画株式会社第1回作品「大尉の娘」日活が上映権を獲得、帝国館で上映。 日出 11・7		
11・8 亀岡字内丸、歌舞練場舞台開き。 日出 11・14		
11・9 峰山町済美会主催、峰山女学校後援音楽会、小学校講堂で開催、同町出身者のピアノ・ソプラノ・バスに大喝采。 日出 11・10		
11・10 帝国館、ミナ・トーキー「大尉の娘」上映。 日出 11・11		
11・23 公会堂、京都絃楽合奏団第5回演奏会。 日出 11・23		

参	考	日	本
(6) 「盛久、梅若万佐世・山口直知、熊野、六郎・万三郎・鉄輪、梅若亀三・青水只一、安宅、万三郎・六郎」			
(7) 昼「新東鑑二幕・近江源氏先陣館盛綱陣屋・彩月(大西住夫作)・越後獅子・お夏狂乱・暫」夜「賀の祝一幕・大森彦七・船弁慶・心中紙屋治兵衛河庄の場・寿靱猿」雁治郎・福助・右団治・長三郎・扇雀・魁車・市蔵・中車・梅幸・宗十郎・幸四郎ら大一座。8円・2円50・2円50・1円50・80銭。このとき南座は、鉄骨コンクリート造りの現在に見る劇場に新築し直された。本年1月22日地鎮祭、5月10日上棟式、11月20日竣工の経過を経て、緊縮時代とはいえ、11月25日盛大な開場式を挙行、30日顔見世の蓋を開けた。			

京	都	府
1・1 南座、坂東寿三郎・山口俊夫・藤村秀夫・林長二郎ら一座(第一劇場)、「飛ぶ吹・マツ・お嬢吉三・不壊の白珠」。 日出 12・26		5・10 観世能楽堂、大蔵暦年50回忌追善狂言会。 日出 5・9
1・18 祇園清々館、風俗研究会主催、「藤原時代の管絃の会」開催。 日出 1・16		5・10 日出会館、銀鈴会・若葉会 ⁽⁴⁾ 合同練習会。 日出 5・10
1・18 南座、第一劇場「金子洋文、日清談判」を野淵昶が演出、19日野淵後援会が観劇。 日出 1・18、26		5・11 観世能楽堂春季例会能、左近、「小鍛治、白頭」を舞う。 日出 5・9
1・29 京都座、松竹家庭劇打揚。 日出 1・25		5・15~25 京都座、天勝一座興行。 日出 5・16
2・1 南座、新派大合同開場 ⁽¹⁾ 。15日二の替り、「菊池寛、受難華」(2・24終演)。 日出 1・28、2・14、24		5・17~28 南座、築地小劇場・第一劇場合同公演 ⁽⁵⁾ 、「長谷川伸、疵高倉・中村吉蔵、地震・ラビッシイ、色気ばかりは別物だ・田中総一郎、夢の浮橋」。 日出 5・19
2・1 京都座、淡海劇開場。(14日からお名残狂言、3・26終演)。 日出 2・1、14、27		5・18 公会堂東館、午後1・40失火全焼、本館助かる。 日出 5・19
2・27、28 公会堂、築地小劇場「トレチャコフ、吼えろ支那・瓦斯マスク」公演。 日出 2・26		5・23 府、文部省の意を受け、民衆娯楽施設、男女青年団娯楽施設、芸能などの健全発達を計る目的で、宇治茶摘音頭など郷土芸能調査。 日出 5・24
3・1 南座、左団次・松蔭・寿美蔵・猿之助ら一座、「箱根靈験壁仇討・関羽・修善寺物語・高野物狂・番町血屋敷・離れもの合せ鏡」開場(18日千秋楽)。 日出 2・27、3・17		5・28 京都座、淡海劇開場(6・21~28お名残狂言)。 日出 5・27、6・21、28
3・1 京都座、新声劇、「久本一世、世紀末の男女・吉川英治、殻貝一」開場。(13~21二の替り、23~29お名残狂言)。 日出 2・27、3・13、22、30		5・28 公会堂、長唄清明会 ⁽⁶⁾ 第1回演奏会。 日出 5・28
3・15 先斗町水明会 ⁽²⁾ 、第1回公演、歌舞練場。 日出 3・14		5・31 公会堂、新築地結成一周年記念公演「村山知義、上には上・落合三郎、筑波秘録」上演。 日出 5・29
3・19 南座、曾我廼家五郎一座開場(30日終演)。 日出 3・30、3・19		5・一 農村子女が映画に憧れ家出して、東洋のハリウッドと称された洛西を目指して、さ迷うものこの頃平均一日3件を数える。5・1~6 18件、当局は保護に頭痛。 日出 5・6
3・27 公会堂、杵屋佐吉長唄柴好会第17回公演会 ⁽³⁾ 。 日出 3・26		6・1~15 南座、新国劇、辰巳柳太郎が「国定忠治」の忠治に出演。 日出 5・30、6・4
3・30 日出会館、日活超特作「大忠臣蔵」試写会(4・1全国一斉封切)。帝国館21日まで・千本座で同時上映。 日出 3・31、4・16		6・5 松竹座、築地小劇場、「パンヤ文六の思案」公演。 日出 6・4
4・1 南座、井上正夫一座、旧帝劇女優合大一座開場(13日終演)。 日出 4・2、12		7・1 京都座、五月信子一座、近代座「乃木大将、福原勝也作軍事劇・高橋お伝、瀬川春郎作連鎖劇」(12~20二の替り、7・22~29お名残狂言)。 日出 7・2、11、19
4・1 京都座、我童・扇雀・右団次ら関西花形歌舞伎開場(13日打揚)。 日出 4・2、13		7・3~10 松竹座、トーキー映画「何が彼女をそうさせたか」、同時に、エラン・ヴィタール「ジュウル・ロマン、馬と昆虫学者」上演。 日出 7・4、8
4・15~18 南座、独立座(住田英二郎一座)、「釈迦」公演。 日出 4・14、19		7・5~9 南座、長唄・清元・常盤津・舞踊など ⁽⁷⁾ の各流派。 日出 7・2、3
4・15 京都座、松竹家庭劇(29日打揚)。 日出 4・29		8・1 南座、延若・扇雀・成太郎・蕙女・吉三郎一座、「謎帯一寸徳兵衛・撰州合邦辻・川上地藏」(8・16打揚)。 日出 7・30、8・1、14
4・21 日出会館、希望社主催、「音楽と舞踊の会」原田君代・藤間芳枝出演(藤間病気のためセロ、伊達三郎出演)。 日出 4・19、22		8・1 京都座、新国劇、「魔像・曲馬団の娘」(昼夜興行連日大入、12日打揚)。 日出 8・2、5、15
5・1 南演、吉右衛門・三津五郎一座(15日千秋楽)。 日出 4・23、24、30、5・14		
5・1 京都座、新声劇(10~6日間二の替り)。 日出 4・30、5・9		

参	考	日	本
(1) 伊井蓉峰・大矢市次郎・藤井六輔・菊波止之助・小堀誠・梅島昇・飯島綾子・高根百合子・玉沢三七子・木下緑一郎・河合武雄・喜多村緑郎・柳永二郎・若井信男・伊志井寛・花柳章太郎・英太郎・宮島啓夫・田辺若男・青山圭男・根本淳・高橋潤・水谷八重子。「菊池寛、母・仮名屋小梅」。		1・1 大阪四ツ橋の近松座を改装し文学座開場、櫓下は3世竹本津太夫。	
(2) 先斗町の技芸習練の組織に、長唄の千代栄会と、事務所が全般的な種目について実施する土曜会とがあったが、統一のため両者を解散し、統一的な、新しい会を組織し、水明会と称した。		1・21 梅蘭芳来日。	
(3) 番組中特に佐吉の新しい作曲、「佐々木信綱歌、伊勢参宮」、三絃主奏楽「天の岩戸」は注目すべきもの。杵屋六左衛門・勝五郎・松島庄三郎・佐吉・佐三郎・勝七郎ら出演。		1・27 7世市川八百蔵、小太夫らの大衆座、本郷座で旗挙興行を開催。	
(4) 銀鈴会はドラマチックソプラノ矢野寿美子夫人門下生の会(3年前創立、若葉会は、ロシアのピアニストコンパニオン夫人に師事、幼年ピアニストを薫陶に専心する阿喜美夫人門下生の会)。		2・16 福井茂兵衛没(71歳)。	
(5) 出演者、阪東寿三郎・三好栄子・若宮美子・六条浪子・香取幸枝・石河薫・藤村秀夫・小笠原茂夫・三宏豊・吉田正雄・前田隆太郎・伏見正光・高田亘・進藤英太郎・坂東豊之助・山中団九郎・吉田豊作・山口俊雄・田村秋子・東山千栄子・汐見洋・御橋公・友田恭助。 日出 5・15		2・一 「劇場文化」創刊。	
(6) 長唄会の重鎮東歌会主五代目芳村孝次郎は、四代目松永和楓を襲名、同時に島実に六代目孝次郎を譲る。これを機に杵屋勝太郎と提携し、東歌会を清明会と改称。		2・一 常盤津太夫、6世常盤津文字太夫没(80歳)。	
(7) 舞踊では、幸四郎・三津五郎・林長三郎・蕙助・松木純蔵・阪東三津之丞・市川高麗五郎・中村鴈之助出演。 日出 7・3		3・13 中村武羅夫、竜胆寺雄ら新興芸術派俱樂部結成。	
		3・29 東京劇場開場式、4・1初日、6世梅幸、15世羽左衛門、6世菊五郎ら出演。	
		4・23 日本シェークスピア協会(市川三喜会長)早稲田大隈会館で発会式。	
		4・23 6世尾上菊五郎、北島町清水ビルに日本俳優学校を創設。	
		4・28 箕作秋吉ら新興作曲家連盟を結成、6・16牛込清水創美閣で第1回試演(のち日本現代作曲家連盟に発展)。	
		6・7 女浄瑠璃太夫、豊竹呂昇没(明7生、57歳)。	
		6・26 大阪松竹会社、社会奉仕、カード階級6,000人を4劇場に招待。	
		6・27 青山杉作、友田恭助、田村秋子ら劇団新東京創立、東京劇場にて第1回公演開催。	
		6・一 青山杉作・友田恭助・田村秋子ら、劇団新東京結成。	
		6・一 「プロレタリア演劇」創刊。	
		7・一 映画批評家協会解散。	
		8・一 東京劇場協会、劇界不況のため観覧税撤廃の、俳優協会も同調、減税の猛運動。	
		9・一 帝劇公演の井上・花柳・小堀・水谷一座に早川雪州加入。	
		9・一 西崎緑「若葉会」・藤間春枝「春藤会」・花柳珠実「珠実会」・花柳寿美「曙会」・藤間勘素娥「茂登女会」を結成。	
		10・4 新内節太夫、7世富士松加賀太夫没(安政3生、75歳)。	
		10・14 水無瀬宮献茶会発会。	
		10・一 浄瑠璃研究家、黒木勘蔵没(享年49)。	
		11・1 清水金太郎・榎本健一・淡谷のり子ら浅草玉木座で、プペ・ダンサント創設(昭8・7解散)。	
		11・17 嵐巖笑没(70歳)。	
		11・一 落語家、3世柳家小さん没(75歳)。	
		12・一 講談社レコード事業部発足(昭26・11キングレコード(株)に発展)。	

京	都	府
8・15、16	松ヶ崎涌泉寺、題目踊行う。 日出 8・8	
8・20	京都座、淡海劇(9・1二の替り)。 日出 8・20、30	
8・22~26	南座、若手文楽。日出 8・19	
8・一	松竹座、不景気に順応し、観覧料値下(南座、3円80・2.00・1.50・1.00・0.50、京都座、1円50・1.00・0.50)。 日出 8・3	
8・一	市内興行成績を商工会議所が調査、甚だしく不況、新京極興行会興行税撤廃運動。 日出 10・2	
9・1	南座、第一劇場開場(16日終劇)。 日出 7・30、9・11	
9・15~29	京都座、田宮貞楽と中西興行部合同開劇。 日出 9・19	
10・1	南座、新声劇(南座としては最初の昼夜2回興行)。 日出 9・30、10・2	
10・1	京都座、松竹家庭劇(15~28二の替り)。 日出 9・30、10・10、26	
10・21~27	南座、早川雪州出演、井上正夫・大矢市次郎・水谷八重子・汐見洋・伊志井寛ら新派と元帝劇女優の大一座、「富岡先生」上演。 日出 10・20、27	
10・22	時代祭執行、鉄道省が外国へ紹介のため松竹により映画撮影。 日出 10・20	
11・1	南座、新国劇、「行友李風、月形半平太」(14~20二の替り)。 日出 10・29、31	
11・1~11	京都座、我童一座 ⁽⁸⁾ 。同上	
11・12	公会堂で新築地劇団「貴司山治、ゴー・ストップ」公演予定、禁止、大阪では13、14日公演。 日出 11・12	
11・15~17	京都座、全国名人座長万歳大会。 日出 11・16	
11・18	日出会館、講演と映画の夕、ソヴェト映画「トルクシヴ」上映。21~27松竹座上映。 日出 11・16、20	
11・19~28	京都座、淡海劇(12・1二の替り、13~21三の替り、23~28お名残狂言)。 日出 11・18、28	
12・1	南座、顔見世 ⁽⁹⁾ 初日。日出 11・28	
12・6	日出会館、ソヴェト映画「春」上映(記録映画の最高峰)。 日出 12・4	
12・18	午後7・25、太秦帝キネ撮影所事務所出火150坪の建物全焼、損害5万円。日出 12・19	
12・31	京都座、松竹家庭劇。日出 12・24	
12・31	南座、新声劇(中田正造東京に行く)。 日出 12・26	
12・一	年末から春にかけて、「国定忠治もの」各社製作五本を教える。日出 12・1	

この年

▷ 映画

「摩天楼(愛欲篇)」「(日活太秦)、「維新暗流史」(日活太秦)、「ふるさと(発声版)」「(日活太秦)、「この母を見よ」(日活太秦)、「続大岡政談(魔像篇第一)」「(日活太秦)、「唐人お吉」(日活太秦)、「素浪人忠弥」(日活太秦)、「この太陽(第一篇)」「(日活太秦)、「興亡新撰組(前史・後史)」「(日活太秦)

参 考

(8)「小笠原流礼忠孝・露・草足袋・染模様妹背門松・鈴木新内・敵討襦袢錦・大津絵」我童・霞仙・福太郎・卯之助・我久之助・我久三郎・ひとし・延太郎・芝芸雀・松寿・右田三郎・秀郎・橘三郎・徳三郎・珥蔵・長太夫。
(9) 鴈治郎・福助・吉三郎・扇雀・政治郎・寿三郎・中車・幸四郎・しうか・勘弥・梅幸。昼「春日局・碁盤太平記・名和長年・土蜘蛛」夜「安宅関・お国と五平・紅葉狩・時雨の炬燵・鶯娘・辰駕」

日 本

12・一 市川猿之助「春秋座」市村座で旗揚。
この年
▷ 花柳(五条)珠実の珠実会、花柳寿美の曙会、藤間春江(吾妻徳穂)の春藤会、西崎緑の若葉会、藤間勘素娥の茂登女会などの女流新舞踊の発足あいつぐ。
▽ 佐成謙太郎著「謡曲大観」刊行。

京	都	府
1・17 公会堂、東京音楽学校演奏会。 日出 1・16		4・27 公会堂、文楽竹本鶴尾太夫の三代目長尾太夫 ⁽⁶⁾ 襲名披露浄瑠璃会。日出 4・26
1・18 観世初能。日出 1・17		4・28 日出会館、衣笠貞之助監督、松竹下鴨作品「黎明以前」 ⁽⁶⁾ 試写会。(5・1から歌舞伎座で上映)。日出 4・25、29
1・20 マキノ映画の労資紛糾労組要求解決。 日出 1・15		4・一 鴨川おどり、先に題名構想を募集したが佳作三篇をつき交ぜ「歓楽の春」と題を附した。最後の場「百花燎乱」は長唄洋楽合奏の新舞踊。大朝 3・24
1・23~29 南座、新声劇三の替り。 日出 1・22		5・2~12 南座、早川雪州・川田芳子・及川道子・小堀・梅島・伊志井ら新派大合同劇(「有憂華・第七天国」、14~20天勝一座魔術)。日出 4・29、5・12
1・23~29 京都座、家庭劇お名残狂言。 日出 1・23		5・2~13 京都座、熊谷武雄・山田九州男らの新派劇。 ⁽⁷⁾ 日出 5・2
1・26 松竹座、ソヴェート映画「春」上映。 日出 2・26		5・15 京都座、松竹家庭劇。日出 5・12
2・1~12 南座、新国劇。日出 1・31		5・26、27 エラン・ヴィタール第64回公演、日出会館、「アルト・ハイデルベルク」。日出 5・26
2・1 京都座、淡海劇(14~26二の替り)。 日出 1・31、2・11、24		5・29 松竹座、ソヴェート映画、「全線」上映、同時にエラン・ヴィタールが「映画・嘆きの天使」上場。日出 5・28
2・4 松竹座「ドイツ映画、最後の中隊」上映。 日出 2・4		5・31 南座、左団次一座。 ⁽⁸⁾ (14日打揚)。日出 5・30、6・13
2・14~25 南座、新興成美団 ⁽¹⁾ 。 日出 2・13、24		5・31 京都座、新国劇。(6・13二の替り)。(27日打上)。日出 5・30、6・13、26
2・23 公会堂、クチルド、サカロフ夫妻舞踊公演。 日出 1・28		6・17 公会堂、新築地「村山知義、東洋車輛工場」公演。日出 6・13
3・1 南座、新声劇(12日二の替り、21日お名残狂言)。 日出 2・28、大朝 3・10、19		6・18 南座、河合・喜多村顔合せ興行。 ⁽⁹⁾ (28日終演)。日出 6・16、27
3・8 青年会館、プロレタリア演劇、映画大会、青服劇場「プロ床・坂」上演、映画「プロキノニュース・港湾労働者」など。大朝 3・7		6・18 松竹座、フランス映画「巴里の屋根の下」上映。日出 6・17
3・11 那智俊宣(鈴木鼓村)没、57歳。 大朝 3・13		6・23、24 日出会館、吉住小四郎・稀音家三郎治・六治三師の新しい長唄研究会生れ、第1回演奏会。日出 6・12
3・14 京都座、松竹家庭劇二の替り。 大朝 3・12		6・24 夷谷座、新人座「白痴の弟殺し」上演。 日出 6・23
3・17 劇団「新東京」 ⁽²⁾ 公会堂で旗揚公演。 大朝 3・15		7・1 南座、4年ぶりに文楽引越興行開幕(5日打揚)。日出 7・2、6
3・22 観世能例会。大朝 3・12		7・1 京都座、辻野・山口・伊川・和歌浦・富士野加入、更生の新声劇一座。「女性の叫び」を野淵昶が演出。(13日打揚げ、14日二の替り、初めて怪談劇「平山蘆江作、お岩長屋」上演、29日打上)。日出 6・28、日出7・4、10、25
3・一 三月の興行界 ⁽³⁾ 。日出 4・29		7・1 日出会館、青服劇場、「戦列への道」上演。日出 7・1
4・1 市、伏見市ほか3町23村を合併大京都市実現、祭典執行、全市民1日から5日間お祭気分で沸騰。日出 4・1~7		7・5 一灯園に「スワラジ劇団」組織。日出 7・5
4・1 キネマクラブ、「モロッコ」上映。 大朝 3・29		7・29 松竹座、新映画二篇とエラン・ヴィタール、喜劇上演。 ⁽¹⁰⁾ 日出 7・29
4・1 京都座、淡海劇。大朝 3・30		
4・3 観世流謡曲家大藪純芳社中竹謡社創立20年記念素謡大会、観世能楽堂。日出 4・2		
4・5 金剛能例会。大朝 3・29		
4・8 松竹座、ドイツ映画「西部戦線1918(西部戦線異常なし)」上映。日出 4・9		
4・9~19 南座、新興成美団。 日出 4・8、16		
4・11、12 染織祭、祝賀式挙行、12、13日祝賀行列踊、全市を延々と練る。日出 4・8~14		
4・14、15 中田正造、一灯園に入り新劇団組織 ⁽⁴⁾ 、朝日会館で公演。大朝 3・16		

参	考	日	本
(1) 「広津和郎作、女給・瀬戸英一作、わくらば・鳥江鉄也作、松川家妻吉」都築文男・元守豊・進藤英太郎・山中団九郎・丸井不二男・高田亘・伏見正光・鈴木黙堂・茂能祐次・梅田重朝・木下吉之助・浪花千栄子・夏目蓉子・尾崎千代子・秋元梅子・米津左喜子・三好洋子・春日恵美子・雄島鈴子・吉野静江・六条波子・石河薫・伊志井寛・山田隆也・藤村秀夫。		1・1	2世市川猿之助ら松竹を脱退、春秋座を再建。市村座で旗挙興行。
(2) 「街のルンペン・ドンファン」、東山千栄子・汐見洋・田村秋子・御橋公・南健真・友田恭助。		1・25	日本舞踊協会、日本橋倶楽部で発会式。
(3) 劇場(南座・京都座・中座・京極座) 62,606人 39,754円 活動写真(京極10、西陣9、その他13) 488,934人 129,937円 寄席(17席) 84,807人 16,548円		2・10	金杉悖郎、長岡輝子ら、テアトル・コメディを結成、仁寿講堂にて第1回公演。
(4) 中田は昨年新声劇を脱退、倉橋仙太郎の勧めにより、西田天香の一灯園に入り、その主義の下に、新劇団組織。倉橋が経営、根本岩之助・鬼頭善一郎・金井修ら第二新国劇・大阪市民劇の連中加り、「明智光秀・嘆息する百万石・木工政談・剣客商売」上演。大朝 3・16		2・15	市川中車、遠山静雄、藤間静枝、花柳寿輔、国民文芸会から表彰される。
(5) 衣笠が外遊3年、研究を重ね、特にソヴェート映画の理論と製作に学ぶところ多く、モンタージュを使って日本の時代映画の講談的な境域を破り、歴史的社会的発展の現実的な意味を見究め盛込んだとする作品。		2・一	能楽研究家、久米邦武没(69歳)。
(6) 初代長尾太夫は、大阪天王寺村生れ、京都建仁寺寺町に住んだ。二代目は内弟子、今回三代目を継ぐ鶴尾太夫は播摩出身、紋下津太夫の弟子、師匠と鶴沢友次郎の肝煎で襲名。		3・26	日比谷公会堂で第1回舞踊大会開催。
(7) 模擬裁判劇、「竜野の夜嵐・父二人」後者は明治の壮士芝居を復活したもの。		3・一	箏曲家、鈴木鼓村没(57歳)。
(8) 「室町御所・踊る時代風景・大杯触酒戦強者・鳥辺山心中・変化難」左団次・松蔭・蓮升・小伝次・成太郎・芝鶴・訥子・寿美蔵ら一座。		3・一	長谷川伸作「醜の母」明治座にて13世守田勘弥らにより初演。
「踊る時代風景」は三場、(一)香取仙之助作・杵屋佐吉作曲、五月雨、(二)佐吉作曲、橋合戦、(三)北原白秋作歌、町田博三作曲、紺屋のおろく。杵屋寒玉。六左衛門社中出語り。		3・一	プロレタリア音楽家同盟第1回演奏会。
(9) 昼「母三人・真景累ヶ淵」夜「乳姉妹・俠艶緑」上演。「真景累ヶ淵」は円朝ものに喜多村が独創を加え京都初演。		4・25	東京音楽学校、本科に作曲科設置。
(10) 野淵昶は松竹に入社して、松竹経営の劇場に上演を試みることになり、今回2度目、映画に挿み屋満奈催吉(前京都松竹座支配人)作「叔父さんはお人よし、一幕」を野淵演出上演、エラン・ヴィタールは喜劇上演の傾向。日出 7・29		4・一	演劇史家灰野庄平没(45歳)。
		5・22	春秋座開散後、河原崎長十郎、中村翫右衛門ら前進座結成、6・12~28市村座で第1回公演。
		8・1	松竹、日本最初の本格的トーキー映画「アダムと女房」(五所平之助監督)封切。
		9・1	新興キネマ(株)設立。
		10・3	藤原義江、パリの国立オペラコミック座にロドルフ♯役で出演。
		11・4	浅草橋の移転の日本俳優学校、新校舎落成をかねて開校式挙行。
		11・一	瀬戸英一作「二筋道」、明治座にて新派の伊井峰、河合武雄らにより初演。
		12・16	浅草オペラ館開場、榎本健一の劇団、ピエル・ブリリアン結成。
		12・31	新宿にて佐々木千里主宰の劇団ムーラン・ルージュ結成。
		この年	
		▷	落語家 5代春風亭柳枝没(52歳)。
		▷	歌手 松平里子没(36歳)。
		▷	中山文甫、芦屋公会堂に第1回個展開催新興いけ花宣言により新様式確立へ胎動。
		▷	大阪華道協会設立。

京 都 府	
8・1～3 京都座、吉田奈良丸出演。 日出 7・30	11・28 南座顔見世。 ⁽¹³⁾ (12・18打上、空前の顔見世、開場とともにたちまち満員)。 日出 11・28、12・2、15
8・1～9 南座、柔拳大会。 日出 7・31	11・29～12・17 京都座、新声劇。 日出 11・23、12・17
8・6～20 成美団興行。 日出 8・5、16	12・12 日出新聞社、京阪素義連を結集「日出会」を設立、日出会館で発会式を兼ね第1回競演会開催。 日出 11・27
8～8 日出会館「新しく観直す狂言の夕」開催、千五郎・真一ら出演。 日出 8・6	12・13 公会堂「演劇・音楽・漫談の夕」(小織ら新派の「金色夜叉」エラン・ヴィタルの「義勇兵の影」など)。 日出 12・13
8・21～23 京都座、諸芸万歳大会、吉本興行部連中出演。25～31市川小太夫らの「新興座」、9・1から淡海劇。(9・13淡海劇打揚、15日二の替り、28日打揚)。 日出 8・21、9・10、24	12・21 京都座、北岡興行部の万歳・諸芸大会。 日出 12・21
8・一 エラン・ヴィタル小劇場後演会組織。 日出 8・1	12・一 松竹座、満洲軍慰問金第1回児童映画会。 日出 12・10
9・1～7 南座、松竹レビュー。日出 8・21	この年 ▷ 映画 「ジャンバルジャン(前後篇)」(日活太秦)、「ミスターニッポン(前後篇)」(日活太秦)、「日本嬢」(日活太秦)、「黎明以前」(松竹下加茂)、「心の日月(烈日篇、月光篇)」、「仇討選手」(日活太秦)、「御詠次郎吉格子」(日活太秦)
9・1 松竹座、新番組、「キートンの恋愛指南・マダムと女房(最初の国産トーキー、2週連続映)」上映。 日出 9・1	
9・10 南座、菊五郎一座東京大歌舞伎開場。 ⁽¹¹⁾ (25日千秋楽)。 日出 9・8、19	
9・19 公会堂、市社会教育課後援、「オペラ歌曲と歌謡の夕」宝光井公雄・楼井愛子・オルガ・カラスロワ・松原みち子・加藤貞子出演。 日出 9・14	
9・25 華頂会館、第16回長唄柏会、柏伊三郎が南座に立三味線出勤を機に開催。 日出 9・25	
9・26 日出会館、正謡会箏曲演奏大会、藤原正吟・西村正芳・森正忠・島田翠琴・佐野正和・伊藤笑美子ら出演。 同上	
10・1 南座、新声劇(15日打上)。 日出 9・26、10・13	
10・1～18 京都座、関西花形歌舞伎 ⁽¹²⁾ (11・1引続き興行、11・12打揚)。 日出 9・27、10・17、26、11・11	
10・3 歌舞伎、「マダムと女房」再上映。 日出 10・4	
10・15 観世能楽堂、素謡会、25日能楽例会。 日出 10・5	
10・15 松竹座、ルネ・クレール「百万」上映。 日出 10・15	
10・17 南座、東京新派と水谷八重子。 同上	
10・26 日出会館、この日の読者から発声映画機設備。 日出 10・25	
11・1 南座、曾我廼家五郎一座、二年ぶり。(11・15打上、創立30年記念興行、初日3割安)。 日出 10・26、29、11・11	
11・1 松竹座、「スタンバーグ監督、ドライサー、アメリカの悲劇」小学校推薦映画となる。二週間連続映。 日出 11・2	
11・14～24 京都座、全国万歳諸芸大会。 日出 11・22、25	

参 考	日 本
(11) 菊五助・福助・市川男女蔵・尾上菊三郎・尾上伊三郎・坂東竹三郎・尾上華幸・尾上鯉三郎・尾上菊十郎・尾上新七・尾上蟹十郎・坂東三津之丞・坂東新蔵・中村芝香・中村歌女三郎・尾上菊右衛門・坂東亀之助・尾上真寒・松本豊・坂東亀三郎・尾上丑之助・尾上多賀之丞・坂東彦三郎・坂東三津五郎。「義経千本棧・船弁慶・一本刀土俵入・乗合船恵方万歳」	
(12) 昼「食満南北、晴舞台・鎗一筋三島駅路・岸姫松響鑑・三人片輪」夜「大村嘉代子・萩の朝霧・近江源氏先陣館・曾根崎村囃・吉野山」、扇雀・長太夫・九団次・駒之助・成一・吉三郎・雁之助・成太郎。	
(13) 雁治郎・福助・寿三蔵・政治郎・成笑・魁車・箱登羅・市蔵・左団次・松蔦・蕙升・幸四郎・しうか・勘弥・梅幸(鉛毒病のため出演不能、代りに吉右衛門出勤)。 日出 11・22	
昼「都路豊後掾・良寛と子守・佐々木高綱・石切梶平」夜、「寺山家・鳴神・腕久・関の竜」「石切勸進帳」に雁治郎出演は17年ぶり。日出 11・27	

京	都	府
1・11 「保津川下り」「綾部小唄」懸賞募集、当選決る。 日出 1・11		4・一 松竹下加茂総動員で衣笠監督「忠臣蔵」製作決定。 日出 4・12
1・16 松竹座、「カラマゾフの兄弟」「陽気な中尉さん」上映。21から「搔払いの一夜、ボルネオの東」。 日出 1・14、22		4・一 正映マキノ3月解散したが今日活と提携。 日出 4・16
1・20 公会堂、新築地公演「風の街」。 日出 1・22		5・1 南座、新国劇。 日出 4・28
1・30、31 南座、親友派浪花節大会。 日出 1・26		5・一 松竹、吉本両興行部提携。日出 4・27
1・31 京都座、淡海劇。 日出 2・1		6・1 京都座、新声劇。 大朝 5・31
1・一 南座、松竹大レビュー。 日出 1・6		6・1 松竹座、ソヴェート映画「人生案内」上映。(22日「モロッコ・インスピレーション」上映。 日出 6・1、22
1・一 京都座、右団次ら一座。 日出 1・11		6・3 三高「映画・演劇研究会」生れる。 日出 6・9
2・1～5 南座、三津五郎・宗十郎・文字兵衛社中・杵屋佐吉・六左衛門社中・清元梅吉・梅専太夫ら各流演芸舞踊会。 日出 1・25		6・3 公会堂、京大オーケストラとヴァイオリン・コンチエルト演奏会。 大朝 5・15
2・4 元マキノ撮影所(現富国キネマが借用中)全焼。 日出 2・5		6・4 公会堂、三浦環独唱会。 大朝 5・28
2・9 南座、新国劇。 日出 2・6		6・24 歌舞伎座、「鞍馬天狗」封切。 日出 6・24
2・27、28 日出会館、青服劇場公演。 日出 2・25		7・1 京都座、市川小太夫(新興座)と中村扇雀合同劇。(16日二の替り)。 日出 6・30、7・15
3・1 帝国館、「上海事変総攻撃など」上映。 日出 3・1		7・13 公会堂、佐藤美子帰朝独唱会。 日出 7・12
3・1 京都座、新声劇・「古賀連隊長・黎明時代・ガラマサどん」上演。「肉弾三勇士」追加上演。 日出 3・1、9		7・15 南座、曾我廼家五九郎劇開演。 日出 7・15
3・1 南座、雁治郎・吉右衛門合同歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」上演。 ⁽¹⁾ 日出 2・25		7・18～22 日出会館、浪花節大会。 日出 7・13
3・3 夷谷座、「肉弾三勇士・上海事変・右衛門捕物帖」上映。(3・10「肉弾三勇士」続映、「満洲行進曲」封切(歌舞伎座でも同時封切)。 日出 3・2、10		7・20 入江スタジオ、5・10双ヶ丘に建設中完成。 日出 7・19
3・22 公会堂、コンスタンチン・シャピロ、セロ独奏会。 日出 3・12		8・1 京都座、文楽若手一産興行。 日出 7・31
3・一 松竹下加茂撮影所、トーキー・スタジオ着工、4月完成。(6月初旬竣工)。 日出 2・5、6・6		8・1～16 南座、松竹家庭劇。(18～28日二の替り)。 日出 7・30、8・17
4・1 中央館(東洛上映館)富国映画上映館となる。 日出 4・1		8・5 松竹座「巴里の屋根の下・白銀の乱舞・少年諸君」上映。 日出 8・5
4・1 都おどり開幕、売上金実費引き、京都市防空設備、戦死者遺族慰金として寄附。 日出 3・16		8・一 第二新京極の邦画二番館、中央館・八千代館合併。 日出 8・1
4・1、2 日出会館、箏曲日出会第2回開催。 日出 3・28		8・一 歌舞伎劇の改善と振興に寄与するため京阪の歌舞伎劇愛好家団体「歌舞伎会」誕生(大阪に本部)、京都に支部設ける。 ⁽³⁾ 日出 8・4
4・14 松竹座、「ジキルとハイド・三文オペラ」上映。 日出 4・14		9・1 南座、新国劇。 日出 8・27
4・30 京都座、全国万歳大会。 日出 4・29		9・1 京都座、熊谷武男・山田九州男・久保田清・木下吉之助らの新派合同劇。 同上
4・一 社団法人「日本映画演劇学校」が溝口・野淵の提唱により、各映画会社、宝塚歌劇を背景に設立認可申請。(5・15開校)。 ⁽²⁾ 日出 4・11、大朝 5・2		9・22 公会堂、「藤原義江オペラの夕」。 日出 9・22
		9・23 公会堂、長唄研究所関西支部試演会開催。 ⁽⁴⁾ 日出 8・18
		10・1 南座、曾我廼家五郎一座、(15日から松竹家庭劇)。 日出 9・27
		10・1 京都座、中村扇雀、(新興座)市川小太夫合同劇。(15日二の替り)。日出 9・29、10・15

京	都	府	日	本
11・1～13 京都座、淡海劇、(16～28二の替り、12・1三の替り)。 日出 10・29、11・15、30			1・一 干田是也ら、東京演劇集団(TES)を結成、3・26～30新歌舞伎座で「三文オペラ」初演。	
11・1～18 南座、新声劇。 日出 10・30			2・27 友田恭助・田村秋子の築地座結成。	
11・11 公会堂、石井漢新作舞踊公演(4年ぶり)。 日出 11・6			3・一 「劇作」創刊。	
12・1 南座、顔見世。 ⁽⁵⁾ 日出 11・26			4・9 12歳の諏訪根自子、日本青年館でバイオリン独奏会開催。	
12・4 新京極富貴亭第3回落語研究会。 日出 12・4			4・一 東京・大阪華道協会合併、上野美術館に初花展開催。	
12・21 京都座、全国万歳座長大会。 日出 12・20			4・一 「演劇」、中村吉蔵・水谷竹紫により創刊。	
			5・14～6・2 俳優チャップリン来朝。	
			5・21 市村座焼失、以後再建されず。	
			5・21 第1回音楽コンクール本選会、日比谷公会堂に2開催。	
			5・28 三浦環帰国。	
			5・一 社団法人東京音楽協会創立。	
			6・2 日本楽器、初のパイプオルガン製作に成功。	
			6・16 歌舞伎俳優、13守田勘弥没(48歳)。	
			8・12 東京宝塚劇場創立(社長小林一三)昭18・12東京映画(株)と合併、東宝(株)となる。	
			8・15 新派俳優、伊井蓉峰没(62歳)。	
			9・20 村田実・田坂具隆・内田吐夢・伊藤大輔ら日活を退社、新映画社を設立。	
			9・28 大阪歌舞伎座新築開場式。	
			9・一 物真似師 初世江戸屋猫八没(44歳)。	
			10・29 阪東義助(8世三津五郎)らの新劇場東京劇場で第1回公演開催。	
			11・30～12・2 青山杉作・東山千栄子らの劇団東京、帝国ホテル芸芸場で第1回公演。	
			この年	
			▷ 池坊東京都連合花展、上野美術館で開催。	
			▷ 俳優清水金太郎没(44歳)。	
			▷ 俳優中野信近没(67歳)。	
			ノ東入)に置かれ、六治が指導に当る。三味線は京都では稀音家四郎滋が教師。授業料1ヶ月10日間普通料1円、少年少女2円。	
			(5) 昼「歌舞伎濫觴記・杵手鳥孤城落月・茨木・土屋主税・島衛月白浪」夜「慶安太平記・鬼一法眼三略巻・望の港・与話情浮名横櫛・文屋と喜撰」、雁治郎・福助・長三郎・扇雀・政治郎・成笑・成三郎・扇・雁之助・市川市昇・九団次・箱登羅・薙女・寿三郎・市蔵・羽左衛門・松蔦・左升・荒次郎・坂東羽三郎・松本大七・松本高麗五郎・市川松三郎・染五郎・左団次・幸四郎・大谷友右衛門・梅朝・福之丞・松本錦四郎・市川左近・坂東福之助・尾上菊助・市川薙升・梅幸。 日出 11・26	
			参	考
			(1) 「仮名手本忠臣蔵、大序から七段目まで。声屋道満大内鑑」雁次郎・福助・長三郎・吉三郎・雁正・政治郎・魁車・大吉・九団次・箱登羅・薙女・市蔵・延若・扇雀・成太郎・七三郎・吉之丞・吉右衛門。	
			(2) 研究を目的とし、教室を日出会館内に設ける。演技科50名、技術科50名、研究科不同。市川春代・伏見信子・山田五十鈴・桜井京子・井染四郎・八木宏ら入学志願した。開校に先立ち3日日出会館で、記念講演会開催、講師は、成瀬無極・坪内士行・衣笠貞之助・林田実・伊藤大輔ら。 大朝 5・2	
			(3) 松竹劇作者大森痴雪が7月に高安吸江・成瀬無極・山本修二ら歌舞伎研究家・評論家など20人ばかりと話合ったことに始まり、団体を作って、劇団に働きかけようと、下記のような会則を掲げ、京都支部は高谷伸方(烏丸三条上ル)に置いた。	
			会 則	
			1、劇壇当事者との交渉を密接にし之れが指導啓発を扶くること	
			1、古劇並びに新作戯曲中優秀且つ上演に必適と認むるものを推薦し適當なる劇団をして上演せしむること	
			1、随時俳優を招待し演劇に関する評論又は座談会を催すこと	
			1、本会は毎年京都及び大阪において各一回全会員の観劇会を催し、又特に観賞すべき演劇の開演せらるる場合は臨時観劇会を催すこと(京都は十二月顔見世興行、大阪は4月より6月迄の間に開演せらる、大歌舞伎を選んで観劇すること)(以下略)	
			(4) 昭5の春東京で長唄研究所が中内蝶二会長、家稀音六四郎顧問となり設けられたが、今度京都・大阪を含めた関西支部が設立された。長唄の古典・新曲の研究、将来の道の研究を主眼とし、長唄を五線譜によって教え一般に普及を計ろうという趣意である。支部は稀音家六治宅(古門前繩手	

京	都	府
1・1～12 京都座、新声劇(二の替り、29日打上)。 日 出 1・1、25	6・11 公会堂、新交響楽団、近衛秀麿渡政告別演奏会。 日 出 6・4	6・15～28 南座、新国劇、「国定忠治、子母沢寛作」上演。 日 出 6・14、26
1・1～16 南座、松竹家庭劇(18～29日二の替り)。 日 出 1・12、21	6・25 同志社映画研究会総会。1933年上半期ベストテン選定。 ⁽⁷⁾ 日 出 7・2	7・1～13 南座、松竹家庭劇(15日二の替り8月続演、16日打上)。 日 出 6・29、7・9、14、26、8・12
1・10 歌舞伎座、松竹下鴨空前の豪華版「忠臣蔵、衣笠貞之助監督」 ⁽¹⁾ 封切。(17日第2週)。 日 出 1・9、18	7・8 公会堂、高田せい子作舞踊公演。 日 出 7・7	8・1～13 京都座、淡海劇。(15～28日二の替り)。 日 出 8・1、12
1・— 府社会教育係がかねて府下235カ町村に対し娯楽調査を行っていたが集計整理なる。 ⁽²⁾ 日 出 1・22	8・1～13 京都座、淡海劇。(15～28日二の替り)。 日 出 8・1、12	8・15 宇治川に水上時代祭挙行の予定(豪雨のため中止)。 日 出 8・12
2・1 京都座淡海劇(12日打上、15日二の替り)。 日 出 1・28、2・13	8・18～3・20 南座、文楽上演。(21日二の替り、24、25三の替りで打上)。 日 出 8・16	8・20、21 公会堂、扇雀らの踏明座旗上。 ⁽⁸⁾
2・1～5 富貴亭、落語研究会(吉本興行、花月連)。 日 出 1・30	8・31 三友劇場、淡海一座から分裂した太郎・楽太・かもめ・白石ら出演。「平安家族劇」と名称をつける。 日 出 8・31	9・1～12 京都座、辻野良一の「新撰座」旗上げ(15～28二の替り)。 日 出 8・30、9・13
2・3 南座、猿之助、我童ら一座 ⁽³⁾ (17日終演)。 日 出 1・24、2・14	9・9～21 南座井上・水谷合同新派劇。 日 出 8・26、9・18	9・9～21 南座井上・水谷合同新派劇。 日 出 8・26、9・18
2・17 観世能楽堂、梅若万三郎、観世左近の顔合せ能楽。 日 出 1・25	9・30～10・15 南座、寿三郎・扇雀ら「元録忠臣蔵」上演。 日 出 9・23、10・12	9・30～10・15 南座、寿三郎・扇雀ら「元録忠臣蔵」上演。 日 出 9・23、10・12
2・19～26 南座、松竹大レヴュー。 日 出 2・17、20	10・1～15 京都座、中田正造の組織「享楽列車」開場。 日 出 9・29、10・12	10・1～15 京都座、中田正造の組織「享楽列車」開場。 日 出 9・29、10・12
2・26 日出会館、左翼劇団合同公演、「機関庫」上演。 日 出 2・22、26	10・17～29 南座、松竹家庭劇。 日 出 10・18、26	10・17～29 南座、松竹家庭劇。 日 出 10・18、26
3・1～15 京都座、新声劇。(18日二の替り)。 日 出 2・26、3・12	10・17～30 京都座、淡海劇。(11・1二の替り、17～28日三の替りでお名残り)。 日 出 10・18、29、11・13、25	10・17～30 京都座、淡海劇。(11・1二の替り、17～28日三の替りでお名残り)。 日 出 10・18、29、11・13、25
3・3～16 南座、東京新派大合同劇。 ⁽⁴⁾ 日 出 2・26	10・23 鞍馬火祭4年ぶり挙行。 日 出 10・2	10・23 鞍馬火祭4年ぶり挙行。 日 出 10・2
3・12 先斗町歌舞練場、世紀座第2回昼夜公演。 ⁽⁵⁾ 日 出 3・12	11・1～15 南座、新国劇「井伊大老の死他」上演(辰己が沢田張りで熱演)。 日 出 10・30	11・1～15 南座、新国劇「井伊大老の死他」上演(辰己が沢田張りで熱演)。 日 出 10・30
3・19 公会堂、「歌劇リゴレット」公演。 ⁽⁶⁾ 日 出 3・19	11・4、5 公会堂、若柳吉兵衛「家庭舞踊会」10周年記念大会。 日 出 10・29	11・4、5 公会堂、若柳吉兵衛「家庭舞踊会」10周年記念大会。 日 出 10・29
4・1～16 南座、松竹家庭劇開演(19～26日二の替り)。 日 出 3・28、14、26	11・26、27 公会堂築地座公演。 日 出 11・20	11・26、27 公会堂築地座公演。 日 出 11・20
4・1 京都座、扇雀・小太夫「新興座」合同劇(13日打上)。 日 出 3・28、4・11	12・1～18 南座、雁治郎・福助らに東京、幸四郎・左団次・吉右衛門・猿之助・三升らを迎え顔見世開場(雁治郎、病後疲労回復せず昼の部に出演しないこととなる)。 日 出 11・18、12・12	12・1～18 南座、雁治郎・福助らに東京、幸四郎・左団次・吉右衛門・猿之助・三升らを迎え顔見世開場(雁治郎、病後疲労回復せず昼の部に出演しないこととなる)。 日 出 11・18、12・12
4・8～9 染織祭挙行。(8日祭典・10日行列)。	12・28 京都座、理想的トーキー映画館転換、12月一杯改装工事中、竣工(元日から松竹キネマ封切場となる)。 日 出 12・29	12・28 京都座、理想的トーキー映画館転換、12月一杯改装工事中、竣工(元日から松竹キネマ封切場となる)。 日 出 12・29
4・12 松竹座、河合ダンス・東京少女歌劇合同出演「春のをどり」開幕。 日 出 4・3、9、10		
4・15～29 京都座、淡海劇。日 出 4・14、25		
4・29 南座、新声劇(5・14終演)。 日 出 4・26、5・13		
5・1～16 京都座、関西新派(18～30日二の替り)。 同上		
6・1～12 京都座、扇雀・小太夫合同劇。「川口松太郎、子別れ笠」上演(15～27二の替り)。 日 出 6・3、11、26		
6・1～13 南座、曾我廼家五郎一座。 日 出 6・2		
6・3 公会堂、藤原義江渡政告別独唱会。 日 出 6・10		
6・3～5 華頂会館、スワラヂ劇団公演(10・15～17第2回公演)。 日 出 5・22		

参	考	日	本
(1)未曾有の豪華版20巻、上映時間4時間の長大、「忠臣蔵」の人気沸騰し、10日封切当日入場者数8,600人、日に平均6,500人、15日などは1万人を越えた。 日 出 1・18	(2) 主要愛好娯楽の地域別傾向。 近郊地方、スポーツ、盆踊・囲碁・将棋・映画・遠足。 農村地方、盆踊・囲碁・映画・将棋・演劇。 山村地方・盆踊・映画・囲碁・将棋・神仏詣。 漁村地方、映画・盆踊・将棋・囲碁・神仏詣・村芝居・浪曲・スポーツ。	1・— 荻野綾子、フランス歌謡曲第1回独唱会開催。	3・4 満洲事変で、放送協会、戦地にマイクを据え熱河戦闘の実況放送開始、AK、毎日零時5分から。
(3) 我童・芝鶴・段四郎・源十郎・寿猿・松寿・我久之助・我久三郎・弥三郎・弥好・義直・ひとし・菊枝・しうか・寿三郎・猿之助・田之助・荒次郎・勝太郎・米五郎・千鳥・阿猿・魁童・寿之助・駒之助・延太郎・吉三郎・霧仙・福三郎・魁車 「松舎松翁、老松若松・川村舞花、野淵飛演出、涙の四つ辻・木村富子、舞踊劇、藤戸物語・近松作、松翁脚色、阿海の鳴戸・漱石原作、木村錦花脚色、坊っちゃん・乗合恵方万歳)。	(4) 喜多村・花柳・英・大矢・伊志井・林田武雄・大東鬼城・瀬戸日出夫・菊波正之助・雪岡光次郎・吉岡啓太郎・南一郎・川島柳峰・若井信男・花和幸一・渡辺一郎・藤岡勝英・本郷道夫・松下誠・伊藤薫・藤間慶一・梅島昇・河合武雄・上山草人・及川道子。「真山青果、唐人お吉・吉田百助、彼等を救へ・瀬戸英一、花柳巷談二筋道・川村花菱、生さぬ仲(後篇)」	4・1 古川緑波を中心に、活弁より転向の徳川夢声・大辻司郎らの笑いの天国、浅草常盤座で旗挙げ興行。	4・1 紋下問題で大阪文楽座に紛争生じ、津太夫・古靱太夫昼夜別々に出演(10・1解消)。
(5) 演出部に近藤伊与吉・高谷伸・日疋重亮ら、上演脚本は「桂田暁香作、演出、投げられた石、名島圭一作、山本三郎演出、黎明・高谷伸作、演出、修羅・北村喜八作、桂田演出、波止場物語」(会員券1円・50銭)。	(6) 出演者、松山芳野里・内田栄一・下八川圭祐・野見正彦・平井美奈子・天野喜久代・伊庭孝演出、宝塚交響平岡伴奏・合唱、ヴォカル・フオア、アサヒコーラス、舞踊、山根舞踊団、大阪朝日社会事業団主催。	4・16 大道具方組合設立。	4・— 山根銀二・箕作松吉らの「音楽評論」創刊。
(7) 日本映画、盤嶽の一生・夜毎の夢・滝の白糸・非常線の女・時代の寵児・君と別れて・刺身倚偶・天一坊と伊賀之亮・伊豆の踊子・東京の女。外国映画、巴里祭・制服の処女・犯罪都市・街の風景・極楽特急・六月十三日の夜・人生謳歌・巴里一伯林・ブロンドヴィナス・仮面の米国。	(8) 扇雀は小大夫の新撰座と合同公演を続けて来たが、小太夫らは東京に引揚げ、扇雀一座を組織。嵐吉三郎・中村雁之助・嵐狂蔵・中村成太郎・市川九団次参加。「金子洋文、秋田各物佃煮行商・近松、心中双氷朔日(野淵飛演出)・京鹿子娘道成寺(長唄・囃子先斗町連中)」。	5・— 雑誌「新演劇」創刊。	5・— 雑誌「新演劇」創刊。
		6・12 新国劇俳優、中井哲没(48歳)。	6・12 新国劇俳優、中井哲没(48歳)。
		6・14 待遇改善問題で松竹少女歌劇に争議。	6・— 大都映画(株)、河合映画を買収して創立。
		7・6 新派の俳優全員で新派更新会組織。	7・6 新派の俳優全員で新派更新会組織。
		7・14 劇作家、松居松翁(松葉)没(64歳)。	7・14 劇作家、松居松翁(松葉)没(64歳)。
		8・11 俳優、五代目中村福助没(34歳)。	8・11 俳優、五代目中村福助没(34歳)。
		9・— 雑誌「演劇新派」創刊。	9・— 雑誌「演劇新派」創刊。
		9・— 大日本映画協会創立。	9・— 大日本映画協会創立。
		10・13 明治神宮初献茶式、淡々齋により挙行。	10・13 明治神宮初献茶式、淡々齋により挙行。
		12・24 日本劇場(日劇)開場。	12・24 日本劇場(日劇)開場。
		この年	この年
		▷ レコードの検閲始まる。	▷ レコードの検閲始まる。

京	都	府
1・6 平安雅楽会始式(第18回目新年を迎へ、平安義会(今出川寺町西)で挙行。 日出 1・6		4・30 三友劇場、新派・劔戟合同劇開演。 日出 4・29
1・6 富貴亭で大辻司郎漫談「新作発表会」。 同上		5・1~18 南座、初代延若50年追善東西合同大歌舞伎。(4) 日出 4・22、5・17
1・15~24 福真亭浪曲界最高人気の春野百合子出演。 日出 1・15		5・1 富貴亭、東京から春風亭柳橋・音曲家柳家三亀松来演、吉本の円馬・枝鶴・九里丸ら。(11日神田伯童・エンタツ・アチャコ出演)。 日出 5・2、12
1・21 京都座「沓掛時次郎、長谷川伸作衣裳監督」上映。 日出 1・20		5・1 花月、東京をどり吉花会女連、吉本特選万歳諸芸大会。 日出 5・2
1・一 南座、松竹家庭劇(16日打上)。(18日二の替り。29日打上)。 日出 1・6、11、17、30		5・1 笑福亭、安来節、万歳諸芸の吉本責任番組。 同上
2・1 南座、尾上菊五郎三年ぶり来演。(18日打上)。 日出 1・20、2・11		5・1 福真亭、浪曲三名会開演(広沢駒蔵・日吉川秋水・宮川松安)。 同上
2・1 三友劇場、関東浪曲大会、虎丸・友衛・米若・楽燕・雲月嬢出演。(奈良丸一行は27日~5日間福真亭へ出演)。 日出 1・28		5・20~6・11 南座、松竹家庭劇(更生3周年記念)。 日出 5・18、6・7
2・11 公会堂、藤原義江第7回帰朝記念独唱会。 日出 2・8		5・29 三中同窓会友陵クラブ公会堂、松永和風・杵屋勝太郎らを招聘、母校基金募集演奏会。 日出 5・24
2・12 松竹座「会議は踊る」上映。 日出 2・12		5・29、30 日出会館、築地座公演、「春愁記・にんじん」。 日出 5・21
2・19 公会堂、菊五郎・市川男女蔵、祇甲常盤津教師文系亡妻7周忌追善会に「子宝三番叟」を踊る。 日出 2・17		6・1 南座、東京松竹少女歌劇団。 日出 6・3
2・21~26 南座、文楽人形浄瑠璃。 同上		6・1~4 三友劇場、雲月嬢の二代目天中軒雲月襲名披露大会。(6・5~7月まで新派劔戟合同劇戻り興行)。 日出 5・31、6・6
2・25 公会堂、中川牧三帰朝発表独唱会。 日出 2・25		6・9 公会堂、新築地劇団「ハムレット」公演。(5) 日出 6・4
3・1~15 南座、曾我廼家五郎一座。 日出 2・26、3・13		6・15~27 南座、曾我廼家五郎一座。 日出 6・11、23
3・1 三友劇場、諸口十九・和歌浦糸子・武村新一座(盛況8日二の替り。3・30打上)。 日出 2・26、3・9、31		6・17 公会堂、近衛秀麿帰朝記念、新交響楽団演奏会、クロイツァ、ピアノ、コンツェルト演奏。 日出 6・10
3・3 松竹座「チャップリン、街の灯」上映(8日第2週続映、連日非常な盛況)。日出 3・9		7・1~9 南座、文楽座人形浄瑠璃開場。(16日松竹家庭劇、8・28まで続演)。 日出 6・29、7・3、8・24
3・17~27 南座、寿三郎、扇雀一座。(2) 日出 3・13、24		7・19~21 先斗町歌舞練場、中村政治郎・扇・駒之助らが組織している「古典座」京都第1回公演。 日出 7・14
3・21 公会堂、クロイツァー、ピアノ独奏会。 日出 3・22		7・31~8月末 三友劇場、平安家族劇続演。 日出 8・1
3・24 興正寺(堀川七条上)、梅若実・三郎能会。 日出 3・23		8・1~20 観世会、学生のため「謡曲夏期講習会」開設。 日出 7・17
3・31 歌舞伎座、改造中竣工、開場。 日出 3・29		8・29、30 曾我廼家五郎一座、伏見大手座に出演、新作四題上演。 日出 8・27
3・31 三友劇場、グロテスク劇場、近江二郎一座。 日出 3・31		8・31 三友劇場、和歌浦京子一座に堀正夫・賀川清・松林清一郎・芳野静霞らが加入開場。(10月和歌浦京子らと明石潮一党の合同劇開幕12月16日13の替り興行で打上)。 日出 9・2、12・16
3・31~4・15 南座、松竹家庭劇(17~27日二の替り)。 日出 3・31、4・13、25		
4・10 松竹座、春のをどり。 日出 4・9		
4・20~24 松竹座キング・ヴィダア監督「南風」上映。 日出 4・21		
4・24 公会堂、勝富会、長唄演奏会。(3) 日出 4・12		
4・29 華頂会館、自由舞台(大阪)公演、エランヴィタール賛助出演。 日出 4・24		

参	考	日	本
(1)	三津五郎・男女蔵・菊三郎・伊三郎・照蔵・華幸・鯉三郎・菊十郎・菊次・新七・蟹十郎・亀之助・琴糸・琴笑・竹之助・女之助・英雀・しげる・琴次郎・芝太郎・紫若・大谷力蔵・亀之助・真琴・中村童景・尾上右近・大谷広太郎・丑之助・坂東竹三郎・市川紅若・友右衛門・福助。「伽羅先代萩・式三番叟・保名・水天宮利生深川・娘道城寺」。	1・1	東京宝塚劇場、宝塚少女歌劇「花詩集」上演で開場。
(2)	寿三郎・狂蔵・福太郎・かなめ・寿之助・玉太郎・豊之助・卯之助・奥山・吉三郎・段橋・錦吾・松燕・扇雀。「桜吹雪雪山実記・大石最後の日・心中鳥辺山・さくら踊」。	1・19	伊藤薫朔らを中心に昭8・12に結成された美術座、第1回公演、「復活」上演。
(3)	芳村孝三、宗家(松永和風)と確執、富次郎と称え、勝富会を起して地盤を築いた。今回松永和太郎肝煎となり、宗家へ帰参、松永和三郎と改名、勝富会も解散した。その記念の催しである。 日出 4・6	1・一	映画俳優、岡田時彦没(32歳)。
(4)	雁治郎・長三郎・延太郎・中村駒之助・中村芳子・実川八百蔵・雁正・箱登羅・市蔵・延若・延二郎・延之助・猿之助・松蔦・薙升・荒次郎・坂東林右衛門・左升・亀蔵・寿美蔵・左団次。「將軍江戸を去る。寿生立曾我・修禪寺物語・敵討襤褸錦・娘の鮫鞘・独楽戻鶯色相房」。	1・一	真山青果作「將軍江戸を去る」東京劇場にて2世市川左団次らにより初演。
(5)	基督教女子青年会主催。久米正雄演出、作曲山田耕作、装置伊藤喜朔・薄田(ハムレット)・山本安英(オフイリア)・永田靖(クローディアス)、沢田左武郎(ポローニヤス)・柏原徹(レヤチーズ)・秋山種三(ホレーシヨ)・田村稔、西康一(墓掘)。この公演には、市川三喜・市川左団次・河竹繁俊・島中雄作・岡倉由三郎・成瀬無極・菊地寛・山本有三・坪内逍遙・千葉亀雄・大竹憲太郎・山本修二ら後援。 日出 6・6	2・1	日比谷映画劇場、50銭均一興行として開場、定員1,700人。
		2・一	真山青果作「元録忠臣蔵」東京歌舞伎座にて初演。
		3・一	松旭齋天勝の引退披露公演、新歌舞伎座で開演。
		4・28~31	ルナール作「にんじん」築地座、飛行館にて初演。
		4・一	新内、8世富士松加賀大夫没(66歳)。
		5・12	劇団東京左翼劇場、中央劇場と改称、9月新協劇団に統合解消。
		5・一	演劇雑誌「テアトロ」創刊。
		6・7~8	藤原歌劇団第1回公演、日比谷公会堂にて開催。
		6・一	太田忠、清瀬保二らにより新音楽派第1回作品発表会開催。
		6・一	日本俳優学校劇団第1回公演、「紐」「靈験」「鏡獅子」を上演。
		7・23	日本映画劇場株式会社、日活に合併仮契約。
		8・29	永田雅一、日活を退社、第一映画社創立。
		8・一	映画監督、野村芳亭没(55歳)。
		9・12	村山知義の新劇団大同団結の提唱により、中央劇場など新協劇団を結成。
		9・21~30	第1回東宝名人会、東宝小劇場にて開催、3世三遊亭金馬、大島伯鶴ら出演。
		9・一	「新喜劇」創刊。
		9・一	創作座、真船豊作「鮎」、東京飛行館で初演。
		10・6	桂春団治没(57歳)。
		10・16	歌舞伎俳優11世片岡仁左衛門没(安政4生、78歳)。
		10・一	独立作曲家協会第1回作品発表会。
		11・8	歌舞伎俳優、6世尾上梅幸没(明3生、65歳)。
		11・一	新協劇団第1回公演、「夜明け前」第1部を上演。
		12・一	日本演劇倶楽部成立。

昭9(1934)年

京	都	府
9・1～20	南座、松旭齋天勝引退興行。 日出 8・28	
9・13～26	南座、東京新派大合同興行。 ⁽⁶⁾ 12日、日出会館で俳優たちの講演・漫談会開催。 日出 9・8、10	
9・27、28	南座、藤原義江・佐藤美子のグランド・オペラ、「ラ・ボニーム」公演。 日出 9・25	
10・1～14	南座、新国劇(2番目に「崎人中英桜州上場」)。 日出 9・27	
10・3	華頂会館、サカロフ夫妻舞踊公演。 日出 10・1	
10・16～29	南座、松竹家庭劇。 日出 10・15、29	
10・19～24	井上春子長寿祝賀舞踊会。 日出 10・24	
10・30、31	日出会館、新築地劇団「ゴオゴリ、結婚・モリエール、タルチュフ」公演。 日出 10・28	
11・1～13	南座、曾我廼家五郎劇。 日出 10・29、11・12	
11・12	富貴亭、桂福円治2代目春団治襲名披露興行。 日出 11・11	
11・21	中座改修竣成、花月劇場と改称、開場。 日出 11・20	
12・1～18	南座、顔見世、雁治郎一座。 ⁽⁷⁾ (18年ぶりに三浦之助出演)。 日出 11・22、12・12	
12・17～21	福真亭、吉田奈良丸出演。 日出 12・16	

参	考	日	本
(6)	喜多村・伊志井・小堀・村田・英・大矢・河合・井上・瀬戸・藤村・柳・木村操・市川紅梅・花柳喜章・章太郎その他。 「小松天外作、初すがた・瀬戸英二作、葵の土・佐藤紅緑作、不良少年の父」。		
(7)	昼「不破・鏡山・勸進帳・鎌倉三代記・弁天小僧」夜「匂当内侍・菅原伝授手習鑑・平家女護嶋・助六・おそめ久松色読版」。 雁治郎・福助・扇雀・吉三郎・芳子・魁車・箱登羅・薙女・市蔵・我童・亀蔵・高麗蔵・団右衛門・義直・七三郎・吉之丞・九蔵・時蔵・吉右衛門・幸四郎・三升・もしほ・染五郎・広太郎・梅朝・友右衛門・羽左衛門。		

京	都	府
1・1 南座、東京松竹少女歌劇。27日終幕。 日出 1・6、26		5・11 富貴亭、笑福亭枝鶴改め五代目松鶴襲名興行。日出 5・12
1・6 三友劇場、和歌浦糸子一座、二の替り。(関西新劇団と名附く、3月末まで続演)。 日出 1・6、3・22		5・17 南座、新国劇開演。日出 5・15
1・13 華頂会館、東京音楽学校邦楽大演奏会(観世左近・吉住小三郎・宮城道雄。各科生徒百数十人出演)。 日出 1・11		5・22 朝日会館でヂムバリスト、ヴァイオリン独奏会。日出 5・21
1・22、23 華頂会館「東宝劇団」公演。 ⁽¹⁾ 日出 1・21		6・2～18 南座、雁治郎追悼、梅玉襲名披露、関西歌舞伎総動員開場。日出 5・24、6・17
2・1 花月劇場、1月以来の喜劇民謡座と吉花菱女連合同一座打越、更に結城孫三郎一座の糸あやつり人形上演。 日出 2・1		6・4 朝日会館、ガリクルチ独唱会。日出 6・4
2・1～15 南座、尾上菊五郎一座大歌舞伎。 ⁽²⁾ 日出 2・2、10		6・19 三友劇場、新築地劇団、真山春果「坂本竜馬」・菊地寛「父帰る」公演。日出 6・13、15
2・1、2 日出会館、築地座公演「冬・客」上演。 日出 1・24、2・1		6・20～29 南座、五郎劇興行。日出 6・17
2・11 富貴亭、一竜齋貞山出演(落語家、山勝10日まで出演のあと、21日から林家正蔵来演)。 日出 2・10、22		7・1～10 南座、松竹家庭劇。 日出 6・28、7・7
2・15 日出会館、エランヴィジュアル小劇場、「かもめ」上演。 日出 2・10		7・12 朝日会館、観世会臨時大会、観世左近・片山博通・松浦義朗ら出演。日出 7・11
2・17～25 南座、新国劇公演。 日出 2・15、22		7・18 松竹座改装に着手、9・29日竣工、10・1開場。日出 7・15、9・30
2・25 華頂会館、山田耕作宝塚オーケストラ指揮(京都で10年ぶり)「シューベルト、未完成交響楽」演奏会。 日出 2・20、24		7・1 帝国館、前進座の「清水次郎長」トーカー上映、好評。18、19日長十郎・齋右衛門・菊之丞ら舞台で挨拶。日出 7・19
2・28 南座、松竹家庭劇。続演、4・28打上。 日出 2・25、4・25		8・1～13 南座、都築文男・山口俊雄・中田正造・滝蓮子ら「関西新派劇団」公演。15日第2回公演。8・15火災、復旧強行、19日に延期開演(8・29打上げ)。日出 7・22、8・11、13、15、16、26
2・一 鳴滝組、 ⁽³⁾ 右太プロ作品、滝沢英輔監督「晴れる木曾路」の協同シナリオ執筆。「千一夜茶吞嚙」。八尋、「百八人の侍」。キネマ旬報日本映画作品大鑑、日出 2・7、3・11		8・一 前進座、日活と提携して、「長谷川伸・山中貞雄監督、街の入墨者」に出演(小山内薫の遺児、市川扇升と名付け参加)。日出 8・24
2・一 新興キネマ現代劇部東京移転決定、総勢25名3月中に完了。 日出 2・18		9・1～18 南座、新国劇公演。 日出 8・28、9・13
3・21 花月劇場、新種目開演。 ⁽⁴⁾ 日出 3・21		9・20～26 南座、文楽座、大隅太夫ら興行。 日出 9・17
3・21 富貴亭、東京桂小文治、新作落語開演。同上		10・1 南座、松竹家庭劇。日出 10・5
3・一 10日陸軍記念日(日露戦争戦勝)に当り、軍事映画上映館、多く軍国調を煽る。 日出 3・10		10・12 京宝(京都宝塚劇場)、新築開場。 日出 10・12
3・一 島原太夫道中、2月に取締方出火し、太夫2名焼死、取締辞職などで実施困難のため本年中止決定。 日出 3・20		10・21 京都地方防空演習、新京極初め、映画館夜休館。日出 10・16
3・一 関西トーカー音楽協会(酒井滝峰主宰)日映と提携、各社の録音に応じているが専属楽士制を設けて拡充を考慮。 日出 3・22		11・1～10 京宝劇場、「東宝劇団」寿美蔵・義助ら「人間万事金世中・菊地寛、屋上の狂人・矢田挿雲、新版太閤記・所作事京鹿子娘道成寺」上演(このあと映画上映)。日出 10・29、11・11
4・6、7 染織祭挙行(行列絵巻に浴道見物数十万)。 日出 4・6、8		11・1～15 南座、扇雀・勘弥・我童ら東西合同成年歌舞伎。日出 10・28、11・12
5・1～15 南座、東京全新派合同公演。 ⁽⁵⁾ 日出 4・27、5・11		11・13 楽友会館、エラン・ヴィジュアル小劇場公演。日出 11・12
		11・13 空也堂(堀川蛸薬師)で踊念仏・六斎念仏踊執行(ラヂオOK全国放送)。日出 11・14
		12・1 南座、顔見世開演。 ⁽⁶⁾ 日出 11・21

参	考	日	本
(1) 夏川静江・沢満子・高橋豊子・吉野文子・一の宮敦子・芝うらら・美川百合子・小佐川鶴之助・谷幹一・神田三朗・森野鍛冶哉・中村駒之助。「中野実作、園池公功演出、喜劇新撰細君読本・徳富盧花原作、水木久美雄脚色演出、西南の役余話、灰燼・川島順平作、園池公功演出、ミュージカルコメディ、あたしのボクサー」。		1・一 PCL管弦楽団第1回公演。	
(2) 菊五郎・友右衛門・男女蔵・菊三郎・伊三郎・照蔵・団右衛門・童景・梅朝・竹三郎・紅若・多賀之丞・彦三郎・三津五郎。「義経千本桜・所作事、太刀盗人・新版歌祭文・人情断文七元結・高杯」。		2・1 初世中村雁治郎没(万延1生76歳)。	
(3) 昭10前後の鳴滝には、稲垣浩・三村伸太郎・滝沢英輔・鈴木桃作・藤井滋司・八尋不二らが住み、のちに山中貞雄が加って来た。この6人は協同体的な集りであったので鳴滝組と称した、シナリオの依頼にも共同で書いた。そして、そこで梶原(六大学野球戦に好記録保持の東大投手の名をとる)金六(六人だから六)という共同のペンネームを使った。山中とその助監督萩原遼が加わってからは、8人になったので金八とつけた。		3・21 東京発声映画製作所設立。	
(4) ピッコロ劇団の金平、松井・浅野のトリオ・コメディは三の替りとして全然趣向を更へ岡本一平原作、谷村俊郎脚色、溝田道夫補訂「気抜けた仇討」四幕の漫画時代劇を出す、これは岡本一平氏漫画文学をピッコロ独特の演劇形式に依て新演出したもので一平氏の持つ深い哲学的的人生観が遺憾なく描かれている。尚春のをどり七回「春琴調」はエロス座、白鳥座娘子群にピッコロ軍も出演の賑やかな内田敏雄按舞のヴァリエティである。		3・一 文部省、文楽座に国庫補助金を下附。	
第一 諷刺劇「生さぬ仲」 一場		3・一 環堵会第1回茶会。	
第二 歌舞伎「菅原伝授手習鑑」(寺小屋の場)一幕		4・2～11 ルービンシユタイン、ピアノ演奏会、日比谷公会堂にて開催。	
第三 漫画劇「気の抜けた仇討」 四幕		4・27～30 築地座、飛行館にて小山祐士作「瀬戸内海の子供ら初演」。	
第四 喜劇「案山子」 二場		5・2 尺八2世荒木古童没(60歳)。	
第五 ヴァリエティ「春琴調」 七曲		5・一 東日(現毎日新聞社)主催、第1回映画コンクール開催。	
尚時事諷刺小唄と漫談の石田一松や漫才幹部連が幕間唄として出演。		6・7 有楽座開場、東宝劇団(坂東義助、夏川静江ら)公演。	
(5) 「川口松太郎、乗合馬車・中野実、棄てて置くべし。中野実、二人妻・伊原青々園、自活する女」。		7・1 古川緑波、東宝に入社。	
喜多村・井上・河合・花柳・英・柳・藤村・大矢・伊志井・森赫子・村田竹子ら。		7・29 新派幹部子弟市川紅梅、花柳喜章、河合明石らの未明座、仁寿講堂で第1回公演。	
(6) 昼「押戻・中井恭作春日局・ひらかな盛衰記・岡本綺堂、佐々木高綱・二人袴」夜「曾我対面・一谷嫩軍記・涙の四ツ橋・天衣紛上野初花・研辰の討たれ・新七ツ面」。		8・一 古川緑波一座(東宝バラエティ)、有楽座に初出演。	
梅玉・寿三郎・吉三郎・芳子・魁車・延三郎・福助・市蔵・左団次・猿之助・訥子・八百蔵・芝鶴・庭升・時蔵・三升・吉右衛門・友右衛門・染五郎・高麗蔵・彦三郎・幸四郎。		8・一 浮世節、立花家橘之助没(58歳)。	
		9・1 狂言師、2世山本東次郎没(元治1生72歳)。	
		9・一 宇野信号作「巷談宵宮雨」、6世尾上菊五郎らにより、歌舞伎座で初演。	
		9・一 水谷竹紫没(54歳)。	
		10・30 マレシャル、チェロ独奏会を九段軍人会館にて開催。	
		10・一 長唄、6世芳村伊十郎没(78歳)。	
		11・8 大日本映画協会設立(映画の国家統制機関)。機関紙「日本映画」創刊。	
		11・28 宝生流松本長没(明20生59歳)。	
		11・一 松坂屋シンフォニー第1回公演。	
		12・一 日本の作曲家を対象にしたチェレブニン賞に伊福部昭の「日本狂詩曲」、第1席入賞。	
		12・一 東宝、日本映画劇場株式会社を吸収合併。	
		この年	
		▷ 日本現代作曲家連盟、国際現代音楽協会日本支部となる。	
		▷ 落語家、2世談州楼燕枝没(68歳)。	

京	都	府
1・10 右太プロ、洛西双ヶ丘にスタジオ建設奈良市外あやめ池スタジオから移転。日出 1・8		
1・19 諏訪根自子(16歳)、渡欧告別ヴァイオリン独奏会、朝日会館で開催。日出 1・19		
1・22 キネマ旬報社、映画30年の思ひ出の名画展、丸物百貨店で開催(～24)。日出 1・23		
2・1 関屋敏子、貴美子の独唱オペラの夕べ華頂会館で開催。日出 1・31		
2・11 観世会、学生招待能楽鑑賞会を観世能楽堂で開催、忠度・羽衣・田村など。日出 2・7		
2・11 日活京都トーキー部員、待遇改善を主張して大挙、池永所長に辞表提出。日出 2・13		
2・13 新京極花遊小路火災、歌舞伎座全焼。日出 2・14		
2・16 文楽座人形浄瑠璃、南座で引越興行。紋下津太夫、古靱太夫ら精鋭揃う(～21)。日出 2・13		
3・14 京都興風社、第1回筑前琵琶模範大演奏会を日出会館で開催、田口旭隆の長柄の秋風、森旭隆の一大郎ヤーマイなど。日出 3・14		
3・一 パラマウントの京都封切場、新京極松竹座に決定(従来歌舞伎座)。日出 3・9		
3・一 マキノ映画京都封切場、新京極朝日クラブに決定。同上		
4・12 都おどり、ラジオ中継。日出 4・12		
4・14 新京極火災、花月劇場全焼、2名焼死者出る。日出 4・15		
4・15 森田信義を中心に計画中の新プロダクション設立にからみ、新興京都の監督野淵昶、俳優杉山昌三九、毛利峯子ら、連袂辞職。マキノトーキーの月形竜之介もこの運動に参加(4・22連合映画社(R.E.S)結成)。日出 4・16、24		
4・20 歌舞伎俳優、沢村源之助、下京区の自宅で没(78歳)。日出 4・22		
4・21 島原太夫道中、京都市観光課から1,400円の補助をえて復活。日出 4・15		
4・27 新交響楽団、改組後初の京都公演、会場朝日会館、指揮ユンケル、ピアノ独奏、ウイルヘルムケンプ。日出 4・29		
5・1 全関西俳優に宗十郎を加えて、仮名手本忠臣蔵の通し15景を南座の居所返し舞台で上演(～15)。日出 4・22		
5・6 鴨川おどり、ラジオ中継。日出 5・6		
5・16 杵屋君一社中、杵屋君雄社中弟子による「君友会」日出会館で第1回長唄演奏会公演、出場者全員アマチュアで興味ひく。日出 5・16		
5・23 京都盲啞慈善会、日出会館で箏曲大演奏会開催、八橋検校の崔の曲外数曲。日出 5・24		
	6・3 京宝劇場、パラマウント社と提携、問題作「真珠の頸飾」・「ロイドの牛乳屋」を一挙公開話題になる。50銭均一。日出 5・25	
	6・7 石井行康の舞踊研究所、朝日会館で、児童新作発表会開催。スケーター外20余曲。日出 6・7	
	6・13 京都学生映画連盟、傑作アマチュア映画観賞会、大毎会館で開催。プタベスト国際コンテスト入選作品等。日出 6・13	
	6・18 新京極松竹座、京都座、冷房装置完備。日出 6・20	
	6・20 先斗町水明会、歌舞練場で第20回演奏会、長唄菜雛子三番叟、清元三社祭など。日出 6・18	
	6・26 新築地劇団三条YMCAホールで新劇の夕べ開催、薄田研二、東山千栄子ら、モリエールの守銭奴上演。日出 6・20	
	6・26 大秦発声映画社、国策映画「南のポイント台湾」製作のため、撮影隊、台湾ロケに出発。日出 6・27	
	8・1 尾上菊五郎の俳優学校、関西新派劇団共同第1回公演、南座で開催。都築文男・山村総・藤山寛美ら来演、パーナードショーの馬盗坊、行友李風の鬼すすき外上場。日出 7・28	
	8・2 日本キネマ(七条櫛笥町)出火騒ぎ、観客10数名怪我。日出 8・3	
	8・27 大阪文楽「新義座」朝日会館で第1回公演、寿曾我物語・お俊伝兵衛外。日出 8・10	
	8・一 市内神社寺院の境内での映画ロケ禁止の気運に対し、京都市観光課、風光紹介上、市の不利益として説得にのり出す。日出 8・27	
	9・21 永田雅一盟主の第一映画社解散式(永田、新興映画京都撮影所長就任)。日出 9・23	
	9・28 各流舞踊大会、日出会館で開催。扇雀の道成寺、成太郎の三保の松など。日出 9・29	
	10・12 キネマ旬報社の第1回国際映画コンクール、京宝劇場で開催。 ⁽¹⁾ 日出 10・7	
	10・17 歌沢芝虎満の名披露目演奏舞踊大会、先斗町歌舞練場で開催。日出 10・16	
	10・23 双柳会、若柳流舞踊大会を日出会館で開催、若柳吉小郎・吉縫・吉広・吉昭佳出演。日出 10・20	
	10・24 新築地劇場、新協劇団、大阪協同劇団の合同公演、朝日会館で開催、ゴージャス「ニゴール、ブレイチャップ」上演(～24)。日出 10・23	
	10・26 松永和風、杵屋勝太郎の長唄大演奏会朝日会館で開催、老松・多摩川・綱館など。日出 10・24	
	10・27 豊竹団司・豊沢小住の女義太夫会、朝日会館で開催。日出 10・26	

参	考	目	本
(1) 幽霊西へ行く	(英)	1・1～15	藤森成吉「シーボルト夜話」、前進座により名古屋歌舞伎座にて初演。
郷愁	(オーストラリア)	1・8	ベートーヴェン交響曲連続演奏放送開始。
ベンガルの騎兵隊	(アメリカ)	1・15	松竹大船撮影所開所式。
商船テナンティ	(フランス)	1・一	日劇ダンシングチーム、第1回公演。
春の調べ	(チェコ)	1・一	文楽座の若手、「積弊脱出」「芸道精進」を唱え脱退。
妻よバラのように	(日本)	2・26	2・26 事件勃発、諸興行は26～28日まで3日間休演。
未完成交響楽	(ドイツ)	2・一	日活映画「人生劇場」封切。
人生案内	(ソビエト)	3・4	日比谷映画劇場で「真夏の夜の夢」特別公開、日本最初のロードショー。
		3・4	日本監督協会、映画技術者協会結成。
		3・27	能役者、23世金剛右京没(明5生、65歳)。
		4・1～26	大阪城大茶会を大阪市主催で開催。
		4・20	俳優、4世沢村源之助没(78歳)。
		4・一	東京歌舞伎座にて初の団菊祭興行。
		4・一	東京音楽協会、大日本音楽協会と改称。
		4・一	琵琶師、高峰筑風没(58歳)。
		5・26	劇作家、大森痴雪没(60歳)。
		6・20	文部省、東京音楽学校に邦楽科を開設(能・長唄・箏の各科)。
		6・27～28	三浦環、歌舞伎座にて「お蝶夫人」に出演。
		6・一	木村錦花主宰の雑法「中央演劇」創刊。
		6・一	井上正吉、演劇道場設立、この頃より中間演劇運動に挺身。
		7・1	「東宝ヴァラエティ」を「東宝古川緑波一座」と改称。
		7・12	歌舞伎俳優、7世市川中車没(77歳)。
		7・15	東洋音楽学会結成(会長、田中正平、昭12・11・15機関紙「東洋音楽研究」創刊)。
		8・17	新響、ローゼンストックを専任指揮者として招く。
		9・7	歌舞伎俳優、尾上蟹十郎没(54歳)。
		9・23	歌舞伎俳優、市川左団次没(56歳)。
		9・一	大日本連合合唱団結成。
		9・一	映画興行税を廃し、営業収益税となる。
		10・一	溝口健二の作品「祇園の姉妹」、映画監督協会賞を受賞。
10・一	日活と大秦発声、宣伝網を統一して一元化、積極的増収をはかる。日出 10・27		
11・7	若柳吉兵衛、家庭舞踊会発表会を朝日会館で開催。清元・常盤津・長唄など20数曲。日出 11・6		
11・17	京大オーケストラ、メッテル指揮、20周年記念演奏会、宝塚劇場、「ベートーヴェン交響曲第9番」(18日大阪朝日会館で開催)。京大音楽部沿革史		
11・28	吾妻春枝の春藤会、関西第1回舞踊公演を日出会館で開催。日出 11・24		
11・一	京都スケート場(河原町六角)の階上ニュース映画館開場。日出 11・20		
12・1	吉例顔見世はじまる、羽左衛門・猿之助・左団次に梅玉・蓮女・魁車ら参加、象引・絵本太閤記など上場。日出 11・26		
12・10	野淵昶・森田信義・月形竜之助らの共同劇団、朝日会館で復活第1回公演。日出 11・27		
12・20	今春焼失の新京極花月劇場復旧、吉本漫才大会で開場。日出 11・9		
12・31	今年初め焼失の新京極歌舞伎座、京極映画劇場と改名して開場、洋画1本立、20銭均一興行。日出 12・30		

京	都	府
1・23 同志社混声合唱団、朝日会館で、宝塚交響楽団と合同発表音楽会開催(第2回)。 日出 1・22	6・12 長唄絃声会、はじめて舞踊を加えて演奏会開催(会場祇園歌舞練場)。 日出 6・6	
1・23 祇園花見小路に弥栄会館竣工。 日出 1・22	6・22 宮川町むつみ会、歌舞練場で演奏会開催。 日出 6・21	
1・29 新京極キネマ倶楽部、従来の洋画3本立、30銭均一興行を、2本立20銭均一に値下げ断行。他館もこれにならう傾向見え、興行協会、対策に苦慮。 日出 1・27	6・29 新京極松竹座、改築竣工、舞台にドレンジャー設備。 日出 7・1	
2・22 日出新聞社、5花街の芸術の夕べを日出会館で開催(～26)。 日出 2・15	7・4 音楽クラブ、来日中の仏ピアニスト、アンリジマルシエックスを招き、華頂会館でフランス音楽の夕べ開催。 日出 7・3	
3・11 大秦発声専属劇団、和田君示のピッコロ座。丹後地方試演のあと、新京極帝国館で第1回旗上興行<エログロナンセンス>上演(～17)。 日出 3・9	7・14 観世会、弥栄会館で素謡と袴能会開催。 日出 7・5	
3・24 新劇「新築地劇団」朝日会館でチエホフの桜の園上演(～25)。薄田研二・東山千恵子・山本安英・千田是也ら来演。 日出 3・11	7・20 茶道裏千家、香道志野流(名古屋)、入洛中の世界教育者各国代表600人に、茶の湯、香道によって古典日本を紹介(～8月初)。 日出 6・27	
4・1 都踊り、風流阿国歌舞伎を題材にする。中挿みに出囃子をセリ出し新軌軸をだす。 日出 4・2	7・24 松竹系新京極各座(京都座、松竹座、京映)恤兵の夕べ開催、売上金献金。 日出 7・25	
4・10 新京極花月劇場、(吉本興行)、ニュース映画を開場、ニュース漫才とニュース映画を連鎖的に上演映して話題をよぶ。 同上	7・31 女剣戟住之江京子一座、新京極三友劇場で京都初公演。 日出 7・30	
4・17 関西唯一の新劇「大阪協同劇団」朝日会館で京都第1回公演、久坂栄二郎の断崖。 日出 4・3	8・1 千日土地経営、文化映画劇場(河原町蛸薬師)開場。 日出 8・1	
4・28 祇園双寿会(歌沢芝寿太夫・花柳芳寿子夫妻主宰)創立10周年舞踊大会を弥栄会館で開催。 同上	8・7 祇甲歌舞会、弥栄会館で皇軍慰問金募集舞踊大会開催、売上金献金(8・9から先斗町廊も円山音楽堂で)。 日出 7・28	
5・1 鴨川踊、各地の踊を取り入れて「舞踊祭」7景上演。 日出 4・10	8・18 山科一灯園すわらじ劇団、京宝劇場で大劇場進出第1回記念公演、林二九太作「愛憎峠」など5編上演。 同上	
5・6 祇園甲部、弥栄会館で「やさか踊」を初公演、洋楽伴奏をとり入れて注目される(～20)。 日出 5・7	8・一 松竹、南座で随時映画興行することを提唱(9・19、第1回興行)。 日出 8・19	
5・9 謡曲観世流22世清孝50年追善の大演能会を観世会館で公演。観世元正のワキ、中村弥三郎のシテで「合浦、一拍子之伝(宗家の嫡男に限り演じられる曲)被露。 日出 4・21	9・1 新京極夷谷座、邦画興行界のトップをきって1本立興行にふみきる。 日出 8・27	
5・11 仏ゼネラル映画「楽聖ベートーベン」京極映画劇場で関西特別試写、ユンケル指揮の新交響楽団「第五交響楽」を舞台演奏。日出 5・7	9・19 弥栄会館の経営、松竹に委任される(10・1第1回興行として文楽座人形浄瑠璃上演)。 日出 9・24	
5・18 松旭斎天勝(奇術)2代目襲名被露公演、南座で公演。 日出 5・15	10・1 松竹下加茂篠山所長就任第1回総指揮の大作蒙古襲来(出師編)封切。 日出 10・3	
5・22 京宝劇場で公演の東宝劇団、はじめて玄関に「まねき」を掲げ新軌軸をだす。 日出 5・23	10・8 弥栄会館、ニュース短編映画館として新発足。 日出 10・5	
5・31 三浦環のグランドオペラ「お蝶夫人」朝日会館で初公演。 同上	10・初 祇甲長唄絃声会、突如解散声明(創立25年)。 日出 10・9	
	10・14 観世会、教育家、学生を能楽堂に招いて能鑑賞会開催、八島・紅葉狩・狐塚外(24日にも)。 日出 10・12	
	10・16 清琴会、日出会館で皇軍慰問金募集の箏曲演奏会開催。 日出 10・8	
	10・25 京都府、国民精神総動員に関する文芸、音楽、演芸、映画関係者懇談会を正庁で開催。 日出 10・24	
	10・27 長唄稀音会、朝日会館で公演(第3回)大原女・越後獅子など。 日出 10・27	

京	都	府	日	本
11・1 西陣長久座(松竹直営封切館)ニュース専門館に転向。西陣昭和館(東宝系上映館)松竹直営封切館になる。 日出 11・2			1・10 俳優、曾我廼家蝶六没(60歳)。	
11・1 南座映画興行を先づ打ち切り、新国劇上演、「敵前上陸」など戦時物上場。日出 10・27			1・29 新響創立10周年記念邦人作曲コンクール入選作品演奏会(荻原利次・平尾貴四男・深井史郎・諸井三郎・江文也)。	
11・3 日出新聞主催、演芸報国銃後の集い日出会館で開催、時局演芸、勝昌介・扇屋勝利など出演。 日出 10・22			1・一 市川八百蔵、黎明座を結成。	
11・6 京都当道会、日出会館で秋季報国箏曲演奏大会開催、売上金を皇軍慰問資金に献金。 日出 11・5			2・1 松竹関係企業合同し、松竹(株)発足(資本金3,740円、社長、大谷竹次郎)。	
11・10 藤原釜足・岸井明の東宝映画実演隊、ジャガタラショー、京宝劇場で京都初公演。 日出 11・11			2・2 北村喜八主宰、村瀬幸子を中心とした芸術小劇場、築地小劇場で第1回公演(デュマ原作「椿姫」)。	
11・11 タップダンスの中川三郎、新京極花月劇場で京都初公演。 同上			2・14 舞台美術家、久保田米斎没(63歳)。	
11・12 松竹から東宝に移籍して話題中の林長二郎(長谷川一夫)、洛西東宝撮影所前で暴漢におそわれ左頬をきりつけられる。 日出 11・13			2・19 劇作家、中内蝶二没(63歳)。	
11・21 新京極花月劇場で吉本演芸幹部漫才陣による「漫才沿革史」を時代的に特集。 日出 11・21			2・25 音楽家、伊庭孝没(51歳)。	
11・24 新京極キネマ倶楽部、洋画2本立を20銭で興行話題をよぶ、米国洋画8社で組織のA.M.P.Aは封切20銭興行を認めず、特別了解をえたもの。 同上			3・18 久板栄二郎作「北東の風」、築地小劇場にて新協劇団により初演。	
11・25 吉例顔見世の表飾りに古式を復活、連名の「まねき」を廃し、狂言名題(芸題名)の「大まねき」をならべる。 日出 11・27			4・一 コンセールポピュレール第1回公演(服部正、金子登を中心に結成、昭15・11青年日本響楽団と改称)。	
12・1 吉例顔見世興行はじまる。羽左衛門・幸四郎・左団次らに大阪から梅玉・魁車・扇雀など参加、不動・小室節・石切棍原など上演、雪暮夜入谷畦道、大13以来14年ぶりの上場で話題になる。 日出 11・24			4・一 東京各流派代表24名で華道芸術院設立。第1回華道芸術院展、銀座松坂屋に初のいけばな審査展開催(昭27まで継続)。	
この年 ▷ 京都電灯(株)、嵐電終点、四条大宮駅にニュース映画館建設を立案。 日出 9・5			6・23 東京吉祥寺に前進座演劇映画研究所を開き、集団共同生活をはじめめる。	
			7・3 国際劇場(浅草、定員4,059人)開場、松竹少女歌劇「国際東京踊り」上演。	
			8・9 歌舞伎俳優、5世尾上松助没(81歳)。	
			8・21 満州映画協会(資本金500万円)、関東軍の指導下に設立。	
			9・1 大蔵省為替局、外国映画の輸入制限を実施。	
			9・10 写真化学研究所、東宝映画配給(株)、P.C.L. J.Oスタジオの4社合併、東宝映画(株)(資本金450万円)設立。	
			10・13 林長二郎(長谷川一夫)東宝映画へ入社。11・11傷害事件。	
			10・一 村松梢風原作「残菊物語」、新派により、明治座で初演。	
			11・17 東京茶道協会創立35周年と2600年奉祝茶会を音羽護国寺に開催。	
			11・25 大和檀原神宮三千家合同献茶式(紀元2600年祝賀、官休庵献香、裏千家濃茶、表千家薄茶)。	
			12・20 公募中の「愛国行進曲」作曲当選発表(1等瀬戸口藤吉)。	

京	都	府
<p>1・6 志賀迺家淡海一党の国喜劇が日出会館に出演。出演者は、志賀迺家弁天・志賀迺家唐橋・同弁慶ほか数十名。芸題はクリーニング・昭和の光・日支親善・公園の春(～8)。日出 1・5</p> <p>1・9 内務省の「全国ダンスホール一斉閉鎖案」に対し対策を練っていた京都業者(桂・東山・京阪)反対意見声明書発表。日出 1・10</p> <p>1・21 新築地劇団創立10年を記念して、京都朝日会館で第18回京都公演。芸題は土(～23)。日出 1・19</p> <p>1・22 松竹家庭劇南座に出演。芸題はお台所見学・兼定の単刀・花柳千人針・出征軍人の母・灰になりかけた男。日出 1・16</p> <p>2・11 南座にターキー・オリエなど東京松竹少女歌劇団2百余名来演。出しものはグランドレビュー春のおどり「松竹娘祭り」、バレエ「ますらお」、グランドレビュー「青い花」。日出 1・19</p> <p>2・12 島原大夫道中につき、役員議員の対策協議会を開催、今年は遠慮することに決定し堀川署に申出。日出 2・13</p> <p>2・19 若柳吉兵衛主宰・京都邦楽連盟後援家庭舞踊大会を京都朝日会館で開催。番組は全部で23番、吉兵衛・吉依ら出演、長唄今藤長太郎・杵屋勝清社中、清元梅吉社中、常盤津文字大夫社中、鳴物六郷新之助社中(～20)。日出 2・19</p> <p>2・20 上方はなしを聴く会を楽語荘後援会主催で先斗町歌舞練場に開催。出しものは矢走船・中駆ヶ・按七・掛合肉附面・住吉駕・寝床・馬のでんがく・りんき独楽。日出 2・20</p> <p>2・24 専門的にニュース映画を上映していた弥栄会館は洋画専門館に転向。日出 2・18</p> <p>2・24 昨年春以来「京映」が名画1本立20銭均一で興業していたが、これが新興キネマ封切場となるため、弥栄会館でこれを引き継ぐことになった。日出 2・25</p> <p>3・1 曾我迺家五郎一座が南座に来演、出しものは迎える春風・維新前後・花街一夕囃・純情紅白餅・和尚さん(～10)。同上</p> <p>3・1 吉本興業特別編成の「わらわし隊」⁽¹⁾は中支・北支・北満で大歓迎をうけたが、一行は新京極花月劇場と富貴へ同時出演。日出 3・1</p> <p>3・6 日活会長逢坂弥主宰する逢坂興行部では、新京極朝日倶楽部を京都土地興業から借り受け改修工事を進めていたが、此程完成し「国際映画劇場」と改めて開館した。入場料20銭均一。日出 3・6</p> <p>3・8 キネマ倶楽部で東宝二大文芸映画週間開催。映画は「母親人形」・「地熱」。日出 3・8</p>	<p>3・11 エラン・ヴィタル劇団、京都朝日会館で、内村直也作「秋水嶺」・岸田国士作「紙風船」公演。日出 3・8</p> <p>3・12 南座に関西歌舞伎(阪東寿三郎・中村魁車・林長三郎・市川小太夫など)来演。芸題は「新篇元禄忠臣蔵」・「名残橋づくし」・「椀久物ぐるひ」・「罷越路東飄」(～21)。同上</p> <p>3・13 大江能楽堂例会。番組は「弱法師」・「雲林院」・「殺生石」。日出 3・14</p> <p>3・15 茂山社中小舞狂言、金剛能楽堂で第89回考究会開催。番組は「靱猿」・「蟹山伏」をはじめ約20番。日出 3・16</p> <p>3・19 先斗町水明会、同歌舞練場で第25回演奏会を開催。⁽²⁾ 日出 3・17</p> <p>3・19 上七軒廊では北野会館で、楓錦会主催春季歌舞演芸会を開催。出しものは翁三番叟・光・義太夫・藤娘・影・外記節「石橋」・乗合船恵方万歳。同上</p> <p>3・23 南座に新築地劇場「キノドラマ(囁く手紙)」・「江戸城明渡し」上演(～29)。日出 3・5</p> <p>3・23 桂ダンスホール閉鎖届提出。日出 3・24</p> <p>4・1 南座で大江美智子一座開演。出しものは喜勢川の血煙・挨拶と舞踊・紅唇街・お鯉やくざ(～13)。日出 3・27</p> <p>4・1 祇園甲部の都踊、歌舞練場で開演。出しもの「旭光遍輝」(～30)。日出 3・6</p> <p>4・1 京都在住の映画人(演劇人含む)が鈴木吉之助らの肝煎で京都映画人倶楽部を組織。会員相互の親睦を図り、映画の改善発達に関する意見の交換を行なう。日出 4・13</p> <p>4・15 南座で大江美智子一座開演。出しもの東海の顔役・紺屋高尾・乳房唄。日出 4・14</p> <p>5・1 京都朝日会館で新協劇団が春香伝(朝鮮古譚)開催。(～3)。日出 4・18</p> <p>5・1 南座で関西新派開演。狂言は短夜・母の曲・春の宵(～16)。日出 4・23</p> <p>5・1 先斗町廊の鴨川踊「日本の誇」同廓歌舞練場で開幕(～24)。日出 4・10</p> <p>5・7 若柳吉昭主宰の吉昭会、知恩院山内華頂会館で出征軍人家族招待の舞踊公演会開催。日出 5・5</p> <p>5・13 京都宝塚劇場勤務者によって「京宝劇研究同好会」組織。第1回公演は京宝劇場で父帰る。日出 5・11</p> <p>5・13 竹本東久主催新作浄瑠璃の会を竹本源福太夫の更生会後援により北野会館で開催。日出 5・12</p>	

参	考	日	本
(1)	中支班(エンタツ・エノスケ・神田山・石田一松・ワカナ・一郎)、北支班(金語楼・三亀松・アチャコ・今・京山若松)、北満班(文雄・静代・歳男・今若)。	1・15	狂言師5世野村万蔵没(文久2生、77歳、和泉流)。
(2)	「汐くみ」「うかれ坊主」「巷談宵宮雨」「大津絵」。	1・一	杉本良吉・岡田嘉子、ソ連越境。
(3)	「暫」「其小唄夢廊」「勸進帳」「新宿夜話」「一谷嫩軍記」「南部坂」「弁天娘女男白波」「源平布引滝」「芦分鶴」「白虎隊遺聞鶴ヶ城」。	1・一	日比谷映画劇場で「オーケストラの少女」封切、3週間続映(新記録)。
		2・一	映画興行、3時間制実施。
		2・28	歌舞伎俳優、4世市川紅若没。
		3・6	新築地劇団、豊田正子作「綴方教室」築地小劇場にて初演。
		3・14	歌舞伎俳優、坂東村右衛門没(56歳)。
		3・25～26	文学座、飛行館にて第1回公演。
		4・1	入場税法案実施。
		5・一	雛子方、9世望月太左衛門没(70歳)。
		6・11	エノケン一座、日劇に初出演。
		6・20	新派俳優、静間小次郎没(72歳)。
		6・27～29	オペラ、パヴオ座、有楽座に第1回公演。
		9・17	映画監督、山中貞雄没(30歳)。
		12・1～20	有楽座に新劇協同公演、文学座(秋水嶺)、新築地(ハムレット)、新協(千万人と雖も我行かん)。
		12・一	大日本音楽協会、標準洋楽語集を発行。
		12・一	名古屋交響楽団、東京に移り中央交響楽団と改称。
		この年	
		▷	吉本興行株式会社設立。
		▷	トウダンサー高木徳子没。
		▷	講談伊藤痴遊没(72歳)。

京	都	府
5・15 清元喜久寿太夫の門下清元喜久太夫(狩野駒之助)没。 日出 5・17		9・11 尾上松之助13回忌法要を一条通浄福寺追善供養。 同上
5・17 長唄研究会では京都朝日会館で第17回長唄演奏会を開催。		9・17 南座にポリドールの東海林太郎・ピアニスト菊池博出演(～17)。 日出 9・15
5・19 新興キネマ俳優連によって新興小劇場創立。第1回公演は「驟雨」「鈍」「敵討以上」(～20)。 日出 4・27		9・20 観世会では丸太町橋西詰観世能楽堂に白衣の勇士を招き演能会を開催した。「羽衣」「墨塗り」「夜討曾我」。 日出 9・21
5・22 金剛能楽会が金剛能楽堂で第4回例会開催。「芦刈」「大原御幸」「船弁慶」。日出 5・18		10・6 南座で全派合同「港の女」「華やかな夜景」「春の灯」「婦系図」上演(～17)。 日出 9・30
6・1 南座で曾我迺家五郎劇公演。「阿呆鳥」「不貞日記」「大風呂敷」「遅咲きの花」「桃色甲板」。 日出 5・27		10・19 南座で松竹家庭劇「代用品時代」「発明苦心フレス」「新家庭武勇伝」「銃後の守護」「謎の犯罪」上演。 日出 10・17
6・12 劇団ドオゲキが京都朝日会館で第1回公演。 日出 6・12		11・1 南座に大江美智子一座来演。「ゆきずり人情」「雲之亟変化」。 日出 10・31
7・1 南座へ松竹家庭劇来演。「梯子の上の恋」「愚母の愛でも」「家庭衛生講座」「人生双六」「藪抜け小屋」。 日出 6・24		11・9 新築地劇団、「武蔵野」を朝日会館で開演(～11)。 日出 11・10
7・7 東宝京都俳優が木曜会を結成。演技の研究・相互親睦・人格向上をモットーとし、毎木曜日参集する。 日出 7・15		11・19 京都当道会、日出会館で第38回箏曲演奏大会開催。 同上
7・10 京都京極興行協会・京極興行報国会が新京極に働く全興行従業員500名で京極興行防護部を組織。 同上		11・26 浪曲名人大会を弥栄会館で開演。広沢虎造・木村友衛・梅中軒鶯童・東家染燕・天中軒雲月(～27)。 日出 11・6
7・27 竹本南部太夫らの新義座、陸路太夫・隅茶太夫・徳若らを迎えて素浄瑠璃を京都朝日会館で公演。 日出 7・25		12・1 南座の吉例顔見世興行に羽左衛門・幸四郎・左団次・吉右衛門・仁左衛門・彦三郎・寿美蔵・松蔦・時蔵・三升・梅玉・魁車・市蔵など出演。 ⁽³⁾ 日出 11・15
7・31 西陣ニュース映画館、新興キネマの直営封切館となり、新興映画劇場と改称。 日出 8・1		
7・一 池田富保監督自費で高野山上に故尾上松之助碑を建設着工。 日出 7・10		
8・6 文楽座人形浄瑠璃が南座で開演。竹本織太夫・竹沢団六襲名披露興行(～13)。 日出 7・30		
8・15 南座に初代・2代目天勝合同公演。 日出 8・14		
8・26 南座で流行歌手美ち奴・楠木繁夫テイチク・メロデイズ(～28)。 日出 8・25		
9・2 竹中実作詞・杉本秀治作曲・京都憲兵隊制定「防諜の唄」発表会を祇園弥栄会館で行なう。 日出 9・3		
9・3 南座で尾上菊五郎一座に中村梅玉加入の大歌舞伎上演。 ⁽²⁾ 日出 9・2		
9・7 井上八千代こと片山春子没、101歳。四代目井上八千代には片山博通夫人愛子が決定。 日出 9・8		
9・10 第7回上方はなしを聴く会を先斗町歌舞練場で笑福亭松鶴を中心とする楽語荘後援会で開催。 日出 9・10		

参	考	日	本

京	都	府
1・1 南座の初春興行として東西合同青年歌舞伎開演。狂言は仮名手本忠臣蔵。 ⁽¹⁾ 日出 1・1		4・28 日本映画俳優協会関西支部、万養軒で発会式。 日出 4・28
1・4 宝塚少女歌劇が京都宝塚劇場で開演。出しもの二の戦友・娘道成寺・三つのワルツ(～10)。 日出 1・2		4・30 南座で東西合同大歌舞伎開演。延若・魁車・市蔵・寿三郎・長三郎・扇雀・吉三郎・成太郎・宗十郎など出演。 ⁽²⁾ (～5・15)。日出 5・1
1・16 我当・勘弥・訥升・鶴之助ら青年歌舞伎を解消し、我当・勘弥・訥升など60余名市川左団次一座に加入(～22)。 日出 1・18		4・一 京極映技会発会式。白井信太郎会長・京極興行協会・五条警察署指導(映写技師を教育)。 日出 4・6
1・22 六金剛能楽堂で初会を開く。嵐山・花月・熊野・藤戸・正尊。 日出 1・22		5・1 第57回鴨川踊を同廓歌舞練場で開演。 ⁽³⁾ (～24)。 日出 5・1
2・1 南座に文楽人形浄瑠璃出演。出演者は津太夫・古靱太夫・駒太夫・銀太夫・紋十郎・栄三・玉蔵・門造など(～7)。 日出 1・23		5・13 ナチス宣伝省派遣の音楽文化使節ミューラー・シャプイ教授、日出会館でピアノ独奏会。 日出 5・13
2・11 南座に松竹家庭劇開演。出しもの愉快な衝突・寒紅梅・愛の花形株・母の転戦記(～26)。 日出 2・8		5・17 南座に松竹家庭劇来演。 同上
2・25 金剛流の宗家金剛巖師を中心として九曜会を起し、能楽会の向上を期す。都ホテルで第1回例会。 日出 2・21		5・27 京都観世会が観世能楽堂で素謡を開催。 日出 5・27
3・1 宝塚ショウ京都宝塚劇場初公演。歓喜の唄。 日出 2・20		5・29 南座で東西合同大歌舞伎。中村吉右衛門・中村福助・中村児太郎・中村梅玉・市川市蔵など出演。 ⁽⁴⁾ (～6・15)。 日出 5・29
3・1 南座に新旧合同劇出演。小太夫・玉太郎・謹也・寿之助・小波・若宮・中田・滝・若葉・六条・梅野井・市松延見子参加。出しもの島の人々・追分供養・馬と兵隊(～16)。 日出 2・25		7・1 南座で大江美智子追善剣撃大会開演。大江美恵子・市川右之助・阪東勝太郎ほか鈴鳳劇一座出演。 日出 6・30
3・12 故片山九郎右衛門の50回忌追善演能会を観世能楽堂で開催。 日出 2・8		8・4 京極の映画興行館ポスター全廃、早朝興行廃止など自肅案を京極興行協役員が五条署に提出。8・20から実施。 日出 8・6
3・18 南座へ不二洋子一座来演(～29)。 日出 3・15		8・5 山科一灯園のすわらじ劇団「灯影座」天津劇場主の招聘により日本軍慰問興行の旅に出る。 日出 8・5
3・21 能楽観世流の宗家観世左近没。 日出 3・22		8・11 大日本国防婦人会祇園甲部分会の楼主・芸妓が歩引躰金し、戦闘機の目録を聯隊区司令官代理に手交。 日出 8・12
3・29 鶴沢友之助の追善浄瑠璃を祇甲義太夫連が八坂倶楽部で開催。 日出 3・29		8・27 市主催「国民歌の夕」を円山公園音楽堂で開催。 日出 8・27
4・1 南座に曾我廼家五郎劇開演。出しもの無閑マダム・命の衝立・心の渦巻・慰問文・若き日の影。 日出 3・27		9・2 防諜の歌(竹中実作詞・杉本秀治作曲)を祇園弥栄会館と円山公園音楽堂で発表会(～3)。 同上
4・1 都踊を祇園甲部歌舞練場で幕明。出しもの建武の源全八景。 日出 4・1		9・2 南座で大歌舞伎開演。宗十郎・市蔵・魁車・長三郎・延若・田之助・菊次郎など出演。 ⁽⁵⁾ (～14)。 日出 9・1
4・6 京洛映画劇場が新京極六角に開館。 日出 3・31		9・7 観世会の観世能楽堂で第108回素謡を開催。 日出 9・3
4・11 朝鮮楽劇団入洛し京都公演を新京極花月劇場で開演。 日出 4・11		9・16 南座で不二洋子一座開演。模範孝女の殺人・名月弁天やくざ・雷神門の仇討。 日出 9・17
4・22 京都当道琴隆会が日出会館で第17回箏曲演奏会開催。 日出 4・23		9・24 金剛能楽堂で第6回能楽例会。出しもの小督・礎・大江山。 日出 9・21
4・22 若柳吉依の若依会が朝日会館で第4回舞踊公演。小品舞踊と舞踊劇清姫など27番(～23)。 同上		10・1 南座に松竹家庭劇開演。出しもの流行お好み焼・輸血・エプロンの花嫁・砂糖壺・最後の一撃(～15)。 日出 9・27
4・27 国粹古典芸術鑑賞会主催第6回春季文楽浄瑠璃の夕を京都朝日会館で開催。 日出 4・26		

参	考	日	本
(1) 中村扇雀・中村成太郎・中村要・中村扇女・中村福太郎・中村扇子・尾上卯之助・浅尾奥山・片岡秀郎・沢村訥升・沢村淀五郎・片岡我当出演狂言は仮名手本忠臣蔵。		1・23	国民歌劇協会第1回公演(田井洋子作安倍盛作曲「じがたら文」ほか)。
(2) 新編元禄忠臣蔵・二月堂・釣女。		1・一	第17回国際現代音楽祭に小船幸次郎(弦楽4重奏曲第1番)入選。
(3) 「御国の花」歌舞伎踊・輝く霊峰・建設(和洋合奏)・成吉思汗(洋楽長唄)・万寿の姫(常磐津)・鶴ヶ岡八幡宮(常磐津)・福知山音頭(和洋合奏)・武人(長唄)・御朱印船(和洋合奏)。		1・一	各映画会社、夜間撮影廃止を申し合せ。
(4) 二条城の清正・汐くみ・実録千代萩・天衣紛上野初花・道行初音旅。		1・一	青年歌舞伎解散。
(5) いろは仮名四谷怪談・本蔵下邸・浄瑠璃流星。		3・1	劇作家、岡本綺堂没(明5生、68歳)。
(6) 不破・本朝烈女鑑・近江源氏先陣・元禄忠臣蔵・五条橋・妹脊山婦女庭訓・千代の春名残の霧・佐々木高綱・俠客御所五郎蔵・二人狸々・三社祭。		3・21	能役者、観世左近没(観世流24世宗家明28生、45歳)。
		3・26	藤原歌劇団、「カルメン」を初めて歌舞伎座で公演。
		3・一	都(東京)新聞社主催、第1回舞踊コンクール開催。
		4・5	映画法公布、10・1より実施。
		4・13	日活映画「土」(内田吐夢監督、小杉勇・風見章子主演)封切、昭15・3・30「土と兵隊」などと映画法による第1回文部大臣賞受賞。
		4・一	現代舞踊家集団、第1回発表会。
		5・15	ワインガルトナー賞入選作品演奏会、日比谷公会堂にて開催。
		5・24	落語家、5世三升家小勝没(82歳)。
		5・一	オペラ新声座第1回公演「コルネヴィユの鐘」。
		6・2	楽団プロメテ、仁寿講座にて第1回発表演奏会(深井史郎「日本の笛」など)。
		6・10～11	新響、朝鮮で初めて演奏会開催。
		6・30	全日本映画人連盟結成。
		9・一	ロシアニオペラニバレエ団の上演禁止。これを機に外国劇団の公演不可となる。
		11・10	箏曲、初代高橋栄清没(72歳)。
		11・一	2世市川猿之助、木村富子作「黒塚」(舞踊劇)東京劇場にて初演。
		11・一	花柳章太郎・柳永二郎・大矢市次郎・伊志井寛ら劇団新生新派結成。
		11・一	大日本吹奏楽連盟創立。
		11・一	大日本音楽著作権協会設立。
		12・4	新響、第211回定期演奏会にベートーヴェンの歌劇「フィデリオ」全曲演奏。
		12・一	外国映画の配給統制実施、15年中の割当申請482本のうち120本許可。
		12・一	文部省内に演劇改善委員会設置。
		この年	
		▷	日本映画俳優協会結成。
11・1 南座で大江美智子襲名披露と銘打ち、二代目美智子・市川右之助・阪東勝太郎など鈴鳳劇一座。 日出 10・30		11・26	金剛能楽堂で秋季特別能会。番組は枕慈童・姥捨・黒塚など。 日出 11・23
		11・26	若柳吉依第1回舞踊研究会を日出会館で開催。家元若柳吉蔵、若柳吉兵衛後援、若柳吉男補佐。 日出 11・25
		12・1	南座で吉例顔見世。中村梅玉・中村成太郎・中村芳子・中村魁車・実川延三郎・市川市蔵・市村羽左衛門・坂東三津五郎・片岡仁左衛門・沢村訥子・中村芝鶴・市川左団次など出演。 ⁽⁶⁾ (～20)。 日出 11・19
		12・1	京宝劇場で浪曲名人大会開催。広沢虎造・天中軒雲月・吉田奈良丸(～2)。日出 11・20

京	都	府
<p>1・14 京都かるた協会、第23回全国かるた競技大会を瑞雲院（岩上通五条）で開催、京都の沢田兼蔵優勝。 日出 1・16</p> <p>1・18 鴨川踊関係者、今年の題「南進日本」の「山田長政八幡船」考証のため、琉球方面視察に出発。 日出 1・10</p> <p>1・19 京都で初の女剣戟四座、南座で合同公演、大内洵子、月形陽子、二見浦子、伏見澄子。 日出 1・17</p> <p>1・21 東トシの琴麗会、皇紀2600年奉祝演奏会、日出会館で公演、箏、尺八、笛の邦楽にピアノ、セロなど洋楽を交えて演奏。 日出 1・19</p> <p>1・29 北野会館全焼。演舞場は類焼免れる。 日出 1・30</p> <p>2・1 中村雁次郎追善、東西合同歌舞伎、南座公演、寿三郎、扇雀、福助らに八百蔵ら参加、曲輪文章、栗山大膳外公演。 日出 2・1</p> <p>2・17 田中伊助、福岡みつぎらの素人劇、歌舞伎如月劇団、先斗町歌舞練場で第1回試演。土屋主税、吃の又平公演。 日出 2・13</p> <p>2・17 日出新聞募集、銃後市民の歌発表会（会場日出会館）、内田栄一・伏見信子出演。 日出 2・18</p> <p>3・13 高谷伸らの梨園社、大日本史劇集出版記念会（会場、矢尾政）。 日出 3・12</p> <p>3・17 大江如月会、創立20周年記念能楽素謡会、神歌、菊慈童、巴、外。 日出 3・17</p> <p>3・27 国粋古典芸術鑑賞会、朝日会館で、第8回春季浄瑠璃の夕べ開催、由良湊千軒長者、恋飛脚大和往来外（10・28秋季公演）。 日出 3・26、10・25</p> <p>3・30 昨年度の名画、朝日会館で鑑賞会。⁽¹⁾（～4・2）。 日出 3・30</p> <p>4・1 都踊はじまる、皇紀2600年奉祝、「輝く聖蹟」8景。 日出 4・2</p> <p>4・16 日本文化映画研究所（代表木村普門）洛南佐山村を中心に建設の「京都飛行場」の記録映画製作に着手。 日出 4・28</p> <p>4・29 関西俳優協会（委員長片岡千恵蔵）岡崎公会堂で総会、「文化会」の組織を決議、公共団体としての活動を申し合す。 日出 4・21</p> <p>4・一 京都府興行協会結成、今まで独自行動の京宝映画劇場も参加。 日出 4・23</p> <p>5・23 宮川の踊、建国音頭、梅の春、紅葉狩など、宮川町歌舞練場で公演。 日出 5・21</p> <p>5・25 石川舞踊研究所、朝日会館で第14回新舞踊発表会、海洋少年外。 日出 5・25</p> <p>6・3 若柳吉兵衛の「家庭舞踊会、皇紀2600年奉祝芸能祭舞踊公演（会場朝日会館）、上古から現代までの時代を追って構成。⁽²⁾ 日出 6・2</p>	<p>6・16 日活映画総動員で製作の皇紀2600年記念映画「大楠公」、帝国館、西陣千本座で封切、京都教育映画研究会推せん、観賞の便を与える（監督池田富保、主演阪東妻三郎）。 日出 6・16</p> <p>6・16 千田是也らの新協劇団、朝日会館で5周年記念関西公演。真船豊作「遁走譜」、森鷗外作「出発前の半時間」。 日出 6・10</p> <p>6・23 京宝で上映の支那の夜、開場まもなく超満員になり、開館以来の記録となる。 日出 6・25</p> <p>6・一 松竹下加茂、雁次郎7回忌記念映画として川口松太郎作の芸道一代男映画化決定、監督溝口健二。 日出 6・15</p> <p>7・1 松竹・日活・新興の演技者養成の共同教室、昭和ビル（河原町三条）で開所。 日出 7・2</p> <p>7・20 文楽座人形浄瑠璃、南座に出演、祇園会に古典芸術の華をそえる。栄三・文五郎・紋十郎外出演。 日出 7・14</p> <p>7・24 朝鮮音楽舞踊団、朝日会館で皇紀2600年奉祝公演、韓成俊ら一団50余人来演。 日出 7・24</p> <p>7・一 南街劇場(株)、第二京極三友劇場買収13万5,000円。 日出 7・16</p> <p>8・2 京都教育映画研究会、ニュース映画館（河原町三条）で第3回夏期映画学園ひらく（従前は松竹座）。 日出 8・1</p> <p>8・17 松竹京都、次長制を宣伝、企画、営業の3部制に機構改革、新体制即応をはかる。 日出 8・23</p> <p>7・29 ドイツオリンピック映画会社製作、民族の祭典、松竹座で封切。 日出 8・24</p> <p>8・24 映画興行の自粛案、正月興行日料金等で業者代表と府保安課の意見異なり、物別れになる。⁽³⁾ 日出 8・25</p> <p>9・29 京都宝生会、宝生新を迎え、七宝会別会能を観世能楽堂で開催、小鍛治・女郎花・松風外。 日出 9・28</p> <p>9・29 新京極興行街自粛案成り、10月2週から実施。 日出 10・3</p> <p>10・3 外国ニュース、映画館統制により、パラマウント、RKO パテーニュース廃刊、日映海外ニュース一本となり、京洛映画劇場、ニュース映画館が独占上映館になる。 日出 10・2</p> <p>10・一 南座、他に率先して俳優後援会などの「土産物」の慣習廃止。 日出 9・26</p> <p>10・一 松竹京都、新体制に即応、翻案物「風と共に去りぬ」の映画化企画中止。 日出 10・6</p>	

参	考	日	本
<p>(1) 望郷（仏パルフィルム） 土と兵隊（日活多摩川） 暖流（松竹大船） 格子なき牢獄（仏、プレス、ビルジュ） ブルグ劇場（独、トビス） 爆音（日活多摩川） 残菊物語（松竹下加茂） 美しき青春（仏マルキ） 花ある雑草（松竹大船）</p> <p>(2) 上古、建国、常盤津 奈良、藤波、箏曲 平安、業平小町、長唄 鎌倉、静、箏曲 建武、正行、小曲 室町、大森彦七、常盤津 桃山、饗宴の春、長唄 桃山、時雨の秋、長唄 江戸、元禄の女、長唄 お祭、清元 維新、維新の幻想、清元 明治、雨の大川端、新内 現代、聖戦、三曲合奏 構成：高谷伸、時代考証：江馬務、舞台美術：政岡憲三、振付：若柳吉兵衛。</p> <p>(3) ・特別絵看板廃止。 ・文字は平面式に限定し、行灯等装飾あるものは認めず。 ・印刷物（パンフレット）は1興行1種類。 ・ポスター（電車内など）一切禁止。</p>	<p>11・20 同志社大学マンドリンクラブ、日出会館で創立30周年記念公演。 日出 11・19</p> <p>12・2 吉例顔見世興行はじまる。幸四郎・猿之助・八百蔵・段四郎らの一門に海老蔵・梅玉・魁車など関西方加わる。羽左衛門病気休演、鶴退治、寿式三番叟、平安女護島など。 日出 10・31</p> <p>12・14 東京音楽学校教職員、華頂会館で、皇紀2600年奉祝の邦楽大演奏会開催。長唄・舞踊・箏曲・謡曲の宗家、元ら特別出演。 日出 12・11</p> <p>12・14 都舞踊研究所、東郷元帥少年時代、航空日本などの児童舞踊を日出会館で公演。 日出 12・15</p> <p>12・15 京都市内青年団、平安神宮で京都市報国音楽隊結成。 同上</p> <p>12・15 京都実業吹奏楽団、円山音楽堂で大日本吹奏楽報国会京都支部結成、府警察部吹奏楽団等150団体参加。 日出 12・16</p> <p>12・22 土山義貴門下の京都児童舞踊研究所、日出会館で愛国児童舞踊の会公演、我国を護る勇士に捧ぐなど7曲。 日出 12・2</p>	<p>1・1 6大都市映画館に文化映画の強制上映実施。 1・一 北条秀司作「閣下」、井上正夫一座により明治座で初演。 2・2～3・21 長田秀雄作「大仏開眼」、新協劇団により築地小劇場で初演（日本文化中央連盟主催皇紀2600年奉祝芸能祭参加作）。 2・23 歌舞伎俳優2世市川左団次没（明13生、61歳）。 2・一 音楽舞踊家芸芸者登録制度実施。 2・一 長唄三味線、4世村屋正治郎没(71歳)。 3・一 内務省、映画、レコードの各社代表に芸名の肅正を申し渡す。 3・一 長唄方12世村屋六左衛門（寒玉）没(71歳)。 4・3 皇紀2600年奉祝芸能祭交響作品発表会（大木正夫「羽衣」ほか）。11・26第2回（宮城道雄「祝典筆協奏曲」、信時潔「海道東征」ほか。 4・一 NHK技術研究所より日本最初のテレビジョンドラマ放送。 5・1 昭12・11発足の東京放送管弦楽団、NHK専属となる。 5・27 大谷広太郎・大谷友三・平沢鴻太郎・大谷門二郎・小百合葉子ら劇団創造劇場創立。 6・1～25 市川猿之助の春秋座、帝国劇場で初公演（「歴史」「連獅子」ほか）。 6・26 内務省、シナリオの事前検閲強化。 7・7 内務省、映画・演劇の検閲強化声明。 8・19 新協・新築地両劇団の村山・久保・久板・千田・滝沢ら100余人検挙、22・23日あいついで解散。 8・19 歌舞伎俳優、2世市川松蔦没（65歳）。 9・27 東宝移動文化隊結成。 9・12 歌舞伎俳優、5世中村歌右衛門没（76歳）。 11・1 築地小劇場、戦時統制により国民新劇場と改称。 11・16 松竹移動演劇隊結成。 12・26 芸能文化連盟、歌舞伎座の結成発表会。 12・一 内務省の勧告により演劇雑誌第1次統合（「国民演劇」「演劇」「映画旬報」創刊）。 12・一 俳優、曾我廼家五九郎没（65歳）。 この年 ▷ 人形劇団「プーク」治安維持法により解散を命ぜられる。</p>	

京	都	府
1・10 松竹京都従業員的生活刷新向上運動、奉公会として発会。 京都 1・12		9・一 在京各撮影所の所属として活躍の京都トーキー楽団、改組して京都交響楽団と改称。 京都 9・26
2・17 京宝劇場、初めて浪曲大会を試みる。 京都 2・16		10・22 映画界新体制確立に即応、京都府独立興行者協会結成（代表後藤周三、茨木宗一）。 京都 10・19
3・14 新国劇、沢田正二郎13回忌を建仁寺で執行。 京都 3・4		10・23 洋画専門館、河原町文化映画劇場、邦画上映館に転向。 京都 10・12
3・27 国粹古典芸術鑑賞会、第10回春季文楽浄瑠璃の夕べ、朝日会館で開催、恋飛脚・大和往来（鳴門太夫・三味線団作）など。 京都 3・27		10・25 日活京都の辻吉郎・松山英夫ら、新体制促進研究会を結成、第3系統（のちの大映）実現運動をおこす。 京都 10・29
4・3 全日本華道協会京都部会結成。 京都 4・1		10・31 東宝京都撮影所閉鎖。 京都 10・31
4・28 梅中軒鶯童、梅中軒宗家創立記念浪曲名人会を京宝劇場で開催、雲月・虎造・米若など大挙出演。 京都 4・2		10・31 清水光「映画と文化」出版記念会。 京都 11・5
5・1 鴨川おどりはじまる（～24）題目日本刀。 京都 5・1		11・1 新国劇、京宝劇場で公演、「中華料理店」・「続宮本武蔵」外。 京都 11・2
5・1 南座の歌舞伎 5月興行で西園寺公望伝「ある日の坐漁荘、上演。梅玉・芳子・寿三郎・もしお外。 京都 4・27		11・2 神心流尚武会、日出会館で報国詩吟・剣武術・尺八・舞踊大会開催。 京都 11・2
5・8 松竹下加茂第2撮影所失火。 京都 5・9		11・3 青雨亭垣内草阿塾（寺町広小路）万葉の草木を主題に特異な挿花展ひらく、（会場栗田口青蓮院）。 京都 10・28
5・11 上田流尺八陽風社、日出会館で演奏会遺家族招待。 京都 5・7		11・8 錦絃会、第17回箏曲演奏会日出会館に遺家族を招待して開催、六歌仙、嵯峨の秋など19曲競奏。 京都 11・9
5・29 茂登女会京都支部（藤間勘素娥）、南座で傷病将士慰問舞踊会開催、長唄羽根の禿、越後獅子など。 京都 5・29		11・21 藤間舞踊研究会、南座で公演、「みんな兵士だ弾丸だ」（勘友・勘充）「国の華」（勘友美）など。 京都 11・20
5・一 爽原透ら、日本精神に基く舞踊を目指して日輪社舞踊協団結成（代表、楠田敏夫、田辺小継）。 京都 5・20		11・21 京都観世会、新才能忠霊発表。 京都 11・22
6・16 映画撮影者協会関西部会、木屋町御池山陽荘で発会式。 京都 6・20		11・28 俳諧家元花本12世秋邨、銀閣寺の自邸で没。 京都 12・2
7・6 日活京都慰問隊、舞鶴海軍病院など慰問。月宮乙女の踊、宮城千賀子の唄、上田吉二郎の漫談など。 京都 7・5		12・1 吉例顔見世興行はじまる。東西合同大歌舞伎、羽左衛門・幸四郎・宗十郎・猿之助らに関西から梅玉・魁車ら参加、「正つ面」・「伽羅先代萩」・「勸進帳」など。36年間連続出演の梅玉・大谷会長から表彰うける。 京都 11・6、12・2
7・11 京都児童文化協会結成。 京都 7・10		12・8 新京極、米映画「雨が降る」上映を撤回、独映画「民族の祭典」に変更。 京都 12・8
7・15 住田鉄二郎の独立座、法然上人「流罪記」、ヒットラーの「我が闘争」を南座で上演。 京都 7・15		12・27 全関西芸能人、文化奉公連盟結成。 京都 昭17・1・3
7・一 松竹京都、現像部を解体して日本映画科学研究所と提携。 京都 7・25		この年
8・8 松竹京都、関西初の移動劇団結成。梅若礼三郎・武井竜三・嵐菊麿ら。 京都 8・3		▷ 東宝京都、移動演劇「東宝国民劇場結成。 京都 10・1
8・28 京都市円山音楽堂で名曲鑑賞の夕べ開催。 京都 8・24		
8・一 在京4撮影所、府に消防自動車献納。 京都 8・2		
9・26 山本修二「淡劇と文化」出版記念会。 京都 9・28		

参	考	日	本
		1・1 映画の2時間興行制、6大都市に、	
		7・1 全国に実施。	
		3・16 皇国茶道会発会式、三越ホールに開催。	
		3・31 義太夫、7世竹本駒太郎没（60歳）。	
		3・一 前進座、真山青果作「元禄忠臣蔵」全編の系統的上演開始。	
		4・2 義太夫、6世竹本土佐太夫没（78歳）。	
		4・24 草間（安川）加寿子、日比谷公会堂にて第1回ピアノ独奏会開催。	
		5・16 映画法による製作業第1次事業許可が劇映画5社、文化映画9社における。	
		5・一 義太夫、3世竹本津太夫没（73歳）。	
		6・9 情報局の監督下に日本移動演劇連盟結成。	
		6・一 昭和交響楽団第1回公演。	
		7・26 演劇研究家、伊原敏郎（青々園）没（明3生、72歳「歌舞伎年表」）。	
		8・3 芝居絵画家、鳥居清忠没（67歳）。	
		8・16 情報局、大日本映画協会主脳部に対し急拠臨戦体制の樹立を提案。	
		9・12 中央交響楽団・東京交響団と改称、第1回定期演奏会を日比谷公会堂に開催。	
		9・13 情報局・文部省の監督下に日本音楽文化協会（音文）設立総会（11・29発会式、昭20・9・27開散）。	
		9・18 音楽挺身隊結成（隊長、山田耕柞）。	
		9・19 情報局の統制により劇映画10社を竹竹・東宝・大映（翌年1月に設立）の3社に統合することを決定。	
		9・22 音楽雑誌第1次統合、「音楽之友」「音楽公論」「レコード文化」など6誌を創刊。	
		9・一 日本音楽文化協会創立。	
		10・一 大日本音楽協会（昭7・5結成）、大日本作曲家協会（大14・11結成）解散。	
		11・8 瀬戸口藤吉（軍艦行進曲の作曲者）没（74歳）。	
		11・23 ソプラノ、関屋敏子自殺（38歳）。	
		12・1 入場税増徴実施、3割となる。	
		12・9 大平洋戦争の勃発により、全国映画館は敵性国家の映画上映を禁止。	
		12・8 米国映画8支社、敵産官理令により閉鎖命令、作品は日本映画社の管理下に密封。	
		12・24 劇作家・演劇研究家、中村吉蔵没（明20生65歳）。	
		12・24 大阪茶道報国会、煎抹各流合同で開催。	
		この年	
		▷ 大政翼賛会の下部組織として大日本華道協会発足（皇国華道提唱、昭18「華道訓」創刊）。	
		▷ 全国華道古流協会設立（昭21再編成）。	
		▷ 落語家7世春風亭柳枝没（49歳）。	

昭17(1942)年

京	都	府
1・9 琴麗会、日出会館で国民士気昂揚戦捷祝賀邦楽演奏会開催。連邦雲など18曲。 日出 1・9	5・1 鴨川をどりはじまる、題「日出づる国」9景。 京都 5・12	
1・10 市川荒太郎、中村雁之助・尾上松太郎ら劇団新鋭歌舞伎結成。先斗町歌舞練場で独立記念公演。 日出 1・10	5・7 石井舞踊研究所、朝日会館で新作発表会、「もり上る力」・「億兆一心」など28種。 京都 5・7	
1・18 東京霧波会、日出会館で新作舞踊公演「霊峰富士」「靖国神社」「進め一億火の玉だ」など。 日出 1・16	5・14 新京極キネマ倶楽部、菊水映画劇場と改称して新発足、日活多摩川「第5列の恐怖」上映。 京都 5・14	
1・24 京都交響楽団、朝日会館で第2回公演指揮尾高尚忠。 日出 1・24	6・1 南座の6月興行、中村吉右衛門一座公演、中村福助、芝翫襲名。 京都 5・23	
1・24 京都金春会、大江能楽堂で能楽会開催舞獅子田村・仕舞山姥など。 日出 1・21	6・4 大日本相撲協会の「国技大相撲」紅白両系で一斉封切。 同上	
2・1 南座2月興行で中村扇雀・光太郎が四代目扇雀、二代目扇雀襲名。 日出 1・30	6・16 土屋徳蔵、朝日会館でピアノ独奏会(郷土初演奏)。 京都 6・16	
2・1 京都声楽研究会、音楽報国団、傷病兵感謝の音楽舞踊の会を、陸軍病院、市内国民学校で開催(4月にかけて)。 日出 2・1	6・26 京都交響楽団、朝日会館で演奏会、指揮太田憲雄、エグモント序曲など。 京都 6・26	
2・28 京都音盤文化協会結成。レコードによる音楽文化の向上をはかる。 同上	6・一 大映京都、新体制に即応して演技修練道場開設、大野・吉村範士の指導をうける。 京都 5・28	
2・一 新京極松竹座、邦画専門館に、京都座洋画専門館に入替。 日出 1・20	7・一 在京の文学者時局下演劇文化振興のため、二白会結成。藤井紫影・新村出・島次郎・成瀬無極・足立文次郎・太宰施門・山本修二・額原退蔵・阪倉篤太郎・伊吹武彦・園頼三。 京都 7・5	
3・4 宝塚歌劇花組、久しぶりに京室公演。汐見洋子・嘉美代錦・月丘夢路など出演。 日出 3・1	7・一 毛利菊枝・八木隆一郎ら昭和児童文化劇団結成。 京都 7・8	
3・7 産業報国会日活京都支部、軍用機献納日活芸能大会開催(場所大阪朝日会館)。 日出 3・6	7・一 千恵プロ撮影所(右京区嵯峨野)閉鎖。 同上	
3・8 集杉会15周年記念能楽大会、観世能楽堂で開催。 日出 3・7	8・25 析の音会、民政会館(木屋町御池)で夏の夜涼み話の会開催、三遊亭しん蔵・林屋染丸などの出演。 都京 8・22	
3・26 朝日会館で、昭16年度優秀映画観賞会開催(～4・2)。 日出 3・26	9・1 文楽座人形浄瑠璃、南座で引越興行。寿式三番叟・伽羅千代萩など、古靱太夫の櫓下披露興行。 京都 8・28	
3・28 京都興亜演劇協会、日出会館で、劇と音楽の会開催、劇「蓮如上人」「姉弟」久世春水のテノール、宮本鞠子のアルト独唱など。 日出 3・30	9・12 前進座、南座で京都初公演、元禄忠臣蔵など。 京都 9・15	
4・1 日活京都は第3大映撮影所、新興京都は第4大映撮影所として新発足。 京都 4・3	10・1 小夜福子・藤井貢らの劇団新生家族、南座で関西初公演。 京都 10・2	
4・1 映画配給ルート系統館上映を廃止、紅白2系統混合上映。 京都 3・20	10・8 大映京都第一撮影所、鍊成講座を開講男女優70余名参加。 京都 10・9	
4・一 松竹京都退社の俳優、海江田譲二ら、「劇団八協団」組織、舞台に進出。 京都 4・3	10・15 京都声学研究會、日独伊歌曲の夕べを朝日会館で開催。宝光井公雄の独唱など。 京都 10・14	
4・一 新発足の大映京都第1回作、京洛を背景に「維新の曲」製作に決定、阪妻・右太衛門・千恵蔵などオールキャスト。 京都 4・10	10・24 第1回芸能文化運動として、女流楽人歌曲の夕べを朝日会館で開催、福原怜子など出演。 京都 10・24	
5・1 市川小太夫、都築文男らの新旧合同劇、厚生劇と改称して南座公演、「マレーの虎」呼物になる。 京都 2・29	10・25 京都音盤文化協会、文化講座第1講として藤原義江の独唱会を開催(会場新聞会館)。 京都 10・25	

参	考	日	本
		1・10	日活の製作部門・新響キネマ・大都映画、合併、大日本映画製作(株)(大映)設立。
		1・31	松竹交響楽団第1回演奏会開催。
		1・一	楽壇から片仮名追放。
		2・1	新響第1回日曜演奏会(月1回)。
		2・6	映画配給社(映配)設立。4・1業務開始、全国2,350の映画館を一元配給。
		2・21	農山漁村文化協会所属「瑞穂劇団」結成(宇野重吉・信欣三・清水将夫ら)。
		3・1～25	長谷川一夫・山田五十鈴の新演伎座、東京宝塚劇場で旗挙げ公演。
		3・16	音文主催第1回室内楽作品発表会。
		3・22	優秀演奏家推薦、3・31管弦楽作品発表会。
		3・21	新派俳優、河合武雄没(明10生66歳)。
		3・一	文楽人形遣、吉田玉次郎没(69歳)。
		4・16～19	井上演劇道場を脱退した山村総・山形勲らの文化座第1回公演。
		4・20	裏千家、初の近江神宮献茶式(第2回昭23・5・10、これより毎年举行)。
		4・29	新響、日本放送協会の全経費負担による日本交響楽団(日響)(財)に改組、発会式。
		5・一	三味線、7世野沢吉兵衛没(64歳)。
		5・一	映画館観覧券は映画配給社票券部発行の票券使用となる。
		6・一	大日本映画協会は映画人連盟、映画技術協会、日本映画機械商工会を吸収、新体制の映画中枢機関として発足。
		7・11	外国映画輸入統制会社として外国映画株式会社誕生。
		8・25	梅島昇、劇団新派正劇結成、新宿大劇で第1回公演。
		9・3	小夜福子・蜂須賀昭行・万代峯子ら、劇団新生家族結成。
		9・10	陸海軍省・情報局・外務省次官会議、南方映画工作要領を決定、映配は南方局、日映は海外局を設置。
		10・4	靖国神社献茶式举行、以後毎年開催。
		11・23	藤原歌劇団、ワーグナー「ローエングリン」を歌舞伎座で初演。
		12・3～20	丸山定夫・高山徳右衛門(薄田研二)らの苦楽座、新宿大劇場にて第1回公演。
		12・一	茶道藪内紹智(透月斎)没(78歳)。 この年 ▷ 日本ポリドール、大東亜と改称、翌18年にかけて、日本蓄音器商会(コロムビア)は日蓄工業、キングは富士音盤、ビクターは日本音響と改称。
ノ	10・27	西川流若菊会舞踊公演、南座で開催。鯉三郎・司津・藤間亀三郎など出演。京都 10・27	
	11・3	京都音楽同好会朝日会館で、ヴァイオリン独奏の夕べ開催、巖本メリーエステル出演。 京都 11・10	
	11・15	京都音楽文化協会、同志社栄光館で、パイプオルガンの演奏を無料公開、一般の理解を深める。藤畑敏子・森本芳雄演奏。 同上	
	11・16	京都府産業報国会、南座で産業戦士慰安芸能大会開催、松竹関西移動劇団出演。 京都 11・13	
	11・22	京都当道琴隆会、新聞会館で箏曲の会開催、四季の曲、六歌仙など18曲目。京都 11・22	
	11・30	吉例顔見世興行はじまる。東西合同大歌舞伎、梅玉・芳子・吉右衛門・もしお・時蔵・猿之助・段四郎・八百蔵など。「加賀見山田錦絵」「船場の夢」「忠霊」外。 京都 11・30	
	12・31	新京極新富座、映画興行を打切り劇場として再発足。 京都 12・20	

京	都	府
2・11 京都能楽会報国団、観世能楽堂で結成。 京都 2・3		9・1 文楽座人形浄瑠璃、南座で引越興行。 伽羅千代萩・壺坂観音靈験記など。 京都 8・24
3・20 建艦献納能楽会、金剛能楽堂で開催。 観世「小袖曾我」林喜右衛門・大江将夫、金剛 「葵上」金剛巖など。 京都 3・20		9・15 前進座南座上演、花簪・鳴神・新門辰 五郎。 京都 9・5
4・1 映画フィルム制限のため、紅白系映画 館も1週間交代上映。 京都 3・18		9・21 大日本竹道学館、朝日会館で、軍用機 献納資金募集の邦楽演奏会開催、井上流名取り松 本佐多、箏曲宮城道雄など出演。 京都 9・15
4・1 南座で関西歌舞伎俳優、長三郎・鶴之 助・蝶太郎の3人、又一郎・富十郎・雛助をそれ ぞれ襲名披露。 京都 4・10		9・一 大政翼賛会、映画観客道義昂揚のため、 開幕前に国民儀礼実施、愛国行進曲、海ゆかば放 送を要請。 京都 9・4
4・3 全日本詩吟京都大会、新聞会館で開催。 京都 4・1		10・14 靖国神社臨時大祭で興行街正午開場、 夜間興行中止。 京都 10・14
4・10 長唄寿栄広会、新聞会館で演奏、遺家 族を招待。舞踊「蓬来」「観進帳」など。 京都 4・11		10・22 むつみ会、宮川町歌舞練場で、飛行機 資金献納演奏会開催、長唄「浅妻船」、清元「道行 旅路の花弁」など。とくに榎茂都陸平振付の舞、 「みたまわれ」上演。 京都 10・10
4・11 在洛映画会社宣伝担当者、戦う映画の 昂揚をはかり京都映画宣伝文化会結成。 京都 4・12		10・一 大映京都、片岡千恵蔵、本格的に舞台 出演。国声座結成。 京都 9・18
4・15 新京極帝国館、改装後帝国映画劇場と して開場。 京都 4・16		11・一 大映京都、毎週1回、京大中村直勝教 授を招いて皇国史講座開講、時代劇映画製作上、 歴史の把握を目指す。 京都 11・14
4・21 石井行康の舞踊研究所、朝日会館で第 17回健康舞踊発表会開催、童謡舞踊、学生舞踊を 披露。 京都 4・20		11・13 水明会、先斗町歌舞練場で、軍用機 献納資金募集の公演。長唄「狂獅子」、常盤津「三保 の松」など。 同上
4・21 朝鮮楽劇団、京都座で特別招聘初公演、 李福本・張世貞・金海松など出演。 京都 4・21		12・1 吉例顔見世興行はじまる。梅玉・富十 郎・吉三郎・仁左衛門に、段四郎・勘弥・猿之助 ら参加、「大楠公の最後」「小鍛冶」「寿式三番叟」 「双蝶々曲輪日記」など上演。 京都 11・25
5・1 鴨川踊はじまる。「女性進軍」と題して 「神に祈る」「烈女復仇」「共栄の春」など上演。 京都 5・1		12・8 松竹京都の問題作、「海軍」紅白系映 画館一斉に封切。 京都 11・28
5・22 大蔵流狂言京都家元茂山千五郎翁狂言 会、観世能楽堂で開催。 京都 5・10		12・19 京都6花街連中、新聞会館で歳末義金 募集芸能大会開催、長唄「春秋」、地唄「千鳥の 曲」清元「青海波」など。 京都 12・17
5・22 都舞踊研究所、生田流箏島熟以子7周 忌追善のため、遺家族慰安舞踊大会開催（会場朝 日会館）さくら変奏曲、軍神に捧ぐなど。 京都 5・20		12・一 高田浩吉（松竹）戸上城太郎（大映） 徴用。 京都 12・4
6・5 全興行、山本元帥国葬のため休業。 京都 5・30		12・一 大映京都座報会、農村勤労報国隊組織 連日乙訓方面の遺家族農家へ勤労奉仕。 京都 12・1
6・24 宮川町むつみ会、建艦資金献納演奏会 を歌舞練場で開催、愛国百人一首、もののふの太 刀など。 京都 6・24		この年 ▷ 映画演劇の電車内広告廃止。 京都 10・24
7・一 大映京都、前線将兵慰問用「撮影所便 り京都の巻」を海軍恤兵部の依頼で製作。 京都 7・14		
7・一 大映京都、嵐寛寿郎・光岡竜三郎・月 宮乙女らと劇団結成。 京都 7・9		
8・4 千日土地(株)、烏丸四条に学生映画館 建設上棟式（10月頃完成）。 京都 8・11		
8・一 日活関西出張所、映画館のプログラム チラシ、看板を廃止、時局に副うことを決める。 京都 8・13		

参	考	日	本
		1・13	内務省・情報局、ジャズなど米英楽曲 約1,000局の演奏（レコード演奏を含む）禁止。 1・一 情報局国民演劇参加作品「菅原伝授手 習鑑」、尾上菊五郎・中村吉右衛門らにより歌舞 伎座で上演。 1・一 映画物資配給の一元的機関、日本映画 資材統制株式会社誕生。 2・11 大日本興行協会(財)設立、興行界の大 同団結成る。 2・一 舞踊2世若柳吉蔵没。 3・24 映画調整にもとずき入場料金改定、特 級1円10銭、1級85銭。 3・25 黒沢明監督第1回作品「姿三四郎」 (東宝)封切。 3・25 日本最初の長編漫画「桃太郎の海鷲」 (芸術映画社・瀬尾光世監督)封切。 5・一 清元、延寿太夫没(83歳)。 7・6 「みたまわれ」発表国民音楽会、大政 翼賛会により開催、音文、音楽移動報国挺身隊を 結成し、この歌を中心に国民歌唱運動を展開。 7・29 木下恵介監督第1回作品「花咲く港」 (松竹)封切。 7・一 楽団総動員血戦大演奏会。 7・一 尺八、3世荒木古堂没(42歳)。 8・一 情報局、交響楽団の演奏曲目に必ず邦 人作品を加えることを指示。 9・10 鳥取地方震災で6世大谷友右衛門没 (58歳)。 9・26 日本弦楽四重奏団、ベートヴェン連続 演奏第1回公演を日本青年館で開催。 10・3 東京放道劇団初放送(巖金四郎、加藤 道子、七尾伶子ら)。 10・29 劇評家、岡鬼太郎没(明5生72歳)。 10・30~11・7 滝沢修・青山杉作ら芸文座を 結成、武者小路宅篤「三笠」を帝劇で上演。 12・20 劇場観覧券に貯蓄債券を添布。 12・22 古典芸能の記録保存のため「勸進帳」 撮影(歌舞伎座、7世松本幸四郎、15世市村羽左 衛門・6世尾上菊五郎)。 この年 ▷ 情報局の指示によって第2次雑誌統合(演 劇・映画・音楽・美術など各2~3誌に)、12月 ~翌年1月「日本演劇」「音楽文化」「美術」など 創刊。 ▷ 真山青果を会長として日本演劇協会発足。 ▷ 落語家、2世桂三木助没(50歳)。 ▷ 国民長唄の会創立。

昭19(1944)年

京	都	府
2・2 演劇、演芸各興行場の資材克服・適正配給のため、京都演劇資材施設組合設立申請、理事長、井上重正（松竹）。 京都 2・8	6・15 映画、紅白系交換上映になる。 京都 6・17	
2・8 松竹芸能奉公隊結成、第1回として、南座上演の五郎劇、大阪歌舞伎座上演の大歌舞伎に傷痍軍人招待。 同上	8・2 新京極京都座で久しぶりに歌舞伎上演 坂東簗助、坂東寿三郎中村福助(大阪) 演題、「夏船頭」、「浦島」、「天野屋利兵衛」、「近江源氏先陣館」、(~8・29)。 京都 7・29	
2・9 裏千家千宗室家元、舞鶴水交社で陣中点前を手ほどき。折から艦上爆撃機「裏千家号」海軍に献納。 京都 2・14	10・17 南座、6カ月ぶりに演劇上演、松竹家庭劇、演題「えくぼ」、「戦える母」、「おうむ茶屋」。観客層、傷痍軍人、軍需工員が目立ち、かっつの棧敷女客消える(~10・29)。 京都 10・22	
2・10 市内映画館の紅白系統変更、紅系、京都宝塚・松竹座、白系、帝国映劇・京映・松竹劇場になる。この時、松竹劇場、封切館に昇格。 京都 2・1	10・8 大日本芸能会、新聞会館で、軍人援護芸能大会を開催、入場料金額献金、広沢虎造(浪曲)一竜斎貞教(講演)桂文楽(落語)など一流芸能人出演。 京都 10・6	
2・24 ニュース映画専門館、内務省の指導により、国民必見のため1カ月3回分を一括上映にきめる。 京都 1・18	10・18 大政翼賛会伏見区支部、一億憤激米英撃滅の歌募集(11・3発表)。 京都 10・18	
2・一 関西演劇関西支部、9隊を組織し決戦巡演にふみだす。 京都 2・5	10・21 大江能楽会、大東亜戦争必勝祈願能開催。 京都 10・20	
3・3 京都府警察部、高級亨楽営業休業措置要綱を示す(5日から全国一斉)。 京都 3・4	11・1 南座で歌舞伎11月興行、国粹古典劇を揃える。魁車、狂蔵、松鶴、富士郎など出演。 京都 10・28	
3・5 南座、決議非常措置のため一時休場。 京都 3・4	11・3 京都市、観世能楽堂で、明治節祝賀能楽会開催。演題、羽衣、末広狩、木曾。 京都 11・3	
3・31 映画法施行細則改正公布(昭15府令7号廃止)。 府令28号	11・22 大日本竹道学館清音会、第7回軍用機献納資金募集の感憤献機邦楽大演奏会開催。(会場朝日会館)、茂山千五郎社中の狂言「二人袴」など。 京都 11・18	
3・31 興行等取締規則施行細則公布(昭11府令35号廃止)。 府令29号	11・23 京都市、決戦市民の歌募集(昭20・2・11発表)。 京都 11・23	
3・一 京都の各能楽堂、施設の公共的提供を考え、決戦体制を整える(非常措置要綱の対象からは除外)。 京都 3・7	11・一 映画フィルム減配確定、36本の現状維持困難になり。興業協会、封切館の転向など対策考究。 京都 9・25	
3・一 新京極各劇場、電力規制に即応して1カ月4日の休日をとる。 京都 3・3	12・1 南座、吉例顔見世興行、市村羽左衛門劇団に中村梅玉加盟。演題「月の梅」「二月堂」「与話情浮名横櫛」「春日局」「名橘誉石切」「弁天娘女男白波」(~12・27)。 京都 12・1	
4・1 非常措置により、密集地区の劇場、映画館整理、新京極、笑福亭・福真亭・中央映劇閉鎖。 京都 4・2、4・21	12・3 今藤長太郎、杵屋東三助ら、長唄の精鋭、義金募集演奏会開催(会場新聞会館)。 京都 12・2	
4・11 大政翼賛会、愛宕・葛野郡下で士気昂揚農村慰問移動演芸会を各国民学校で開催。隊長、筑波雲(浪曲)(~4・18)。 京都 4・6	12・7 特高警察課、映画プリント配給減に対応して上映順序を全面改正、紅白系上映館、半数交替で昼間のみ上映、朝日会館など夜間専門上映になる。 京都 12・8	
4・11 池坊専啓宗匠没(76歳)。 京都 4・12	12・12 太秦松竹撮影所失火、セット2棟全焼。 京都 12・13	
4・13 特高警察の指示で、映画観客の分散をはかり市内映画封切館を増加、休場中の南座、白系の封切館になる。 京都 4・2	12・16 国民教育映画協会、勤労学徒激励慰労隊結成、新聞会館で発表招待会開催。 京都 12・17	
5・11 映画上映回数決定、所轄警察署許可制になる。 京都 5・6		
5・13 新京極松竹劇場、演劇道場として開場 鈴鳳劇大江美智子一座来演。 京都 5・12		
6・1 京都府移動映画連盟、農山漁村鉦山に巡回映画開始(1回30円)。 京都 5・15		
6・14 大映京都芸能挺身隊、片岡千恵蔵一行兵庫県軍需工場慰問「宮本武蔵」など上演。 京都 6・14		

参	考	日	本
		1・一	女性奇術師、松旭齋天勝没(59歳)。
		2・10	俳優座結成(青山杉作・千田是也・東野英次郎・小沢栄太郎・東山千栄子)。8・5~6第1回試演(伊藤貞助「日本の河童」ほか、国民新劇場)。
		2・29	2・25の決戦非常措置要綱第7項「高級享楽の停止」にもとずき東京歌舞伎座・東京劇場・大阪歌舞伎座・京都南座など19の劇場は3・5より休場(実際は3・1より)、入場料税共5円以下・内容の刷新・密集地域の映画館整理など命ぜられる。同じく3・5より交響楽団の会員制・個人の演奏会を禁止。
		3・25	箏曲、菊原琴治没(67歳)。
		3・31	松竹少女歌劇団解散、松竹芸能本部女子挺身隊を結成。
		4・1	第2次決戦非常措置令により、演劇興行時間は2時間半、映画は1時間40分(平日3回日曜4回)、閉館中の明治座・新橋演舞場・梅田映画劇場・中座・角座は再開。
		4・1	音文、米国型楽器編成の楽団禁止。
		4・12	警視庁、決戦非常措置令にもとづき興行刷新要綱発令。少女歌劇・ショー不許可、興行は午後1時以後3回とする。
		5・一	能楽研究家、横井春野没(54歳)。
		6・10	能役者、宝生新没(明3生75歳)。下掛宝生流10世宗家)。
		6・21	日独交驩大音楽会(日響、指揮フェルマー・尾高尚忠)。
		6・一	「茶道月報」「わび」合併、「茶道雑誌」と改題。
		7・20	日本放送協会編「日本民謡大観」第1編(関東編)刊、昭27東北編、昭30中部編、昭40アイヌの伝統音楽、昭41近畿編刊。
		8・一	俳優、4世市川市蔵没(77歳)。
		8・一	劇映画3社からなる「連合製作会」発足。
		10・23	演劇資財施設組合創立。
		11・18	第13回音楽コンクール、音楽顕奨と改称。
		11・28	三味線、鶴沢道八没(67歳)。
		11・一	4月以来の内務省に検閲申請の脚本4142編、うち3777合格。
		12・7	映配、生フィルム欠乏により731の映画館(約40%)に配給休止を宣告。
		12・一	帝都空襲本格化、映画など興行場は日没後閉館。
		この年	
		▷	軍用機献納演奏会たびたび開催。
		▷	大日本芸能会結成。

京	都	府
1・1 新生新派に喜多村緑郎、森本薫作「扇」(南座)。 京都 1・1	5・1 府、映画館における実演併行興行を許可。6・7 松竹歌劇団(松竹座)・7・5 宝塚歌劇(京宝)来演。 京都 5・10、19	
1・上 大日本興行協会京都府支部、<着流し禁止令>(防空服着用していないと入場お断り)、1・27空襲に備え興行時間の変更(開演は警報発令の少ない午前中に)を決定。 京都 1・7、27	6・24 日本音楽文化協会近畿支部、京都府音楽挺身隊を結成。 京都 6・21	
1・20 帝国劇場、尾上松鶴一座を名残りに休場。1・30京山座休場。	7・2 南座は松竹家庭劇(この月、日本中の劇場に歌舞伎なし)。 松竹70年史	
1・一 京都市、伝統芸能調査のため委員会(高谷伸ら)を設置。 京都 1・26	7・17 祇園祭、山鉾巡行中止(昭22年復活)。 京都 7・13	
2・1 菊水映劇・富士東宝・伏見都館等、フィルム事情悪化のため休場。 京都 10・16	8・1 堂本寒星ら邦楽・邦舞愛好者、祇園今西忘筈に集う(11・11発足の京舞保存会、昭27・1・20、邦楽を楽しむ会の出発点)。 邦楽のあゆみ	
2・6 松竹京都撮影所一部失火。 京都 2・8	8・5 翫雀・富十郎一座歌舞伎「伊勢音頭」ほか(南座、～8・14)。	
2・11 断絃会主催能楽鑑賞会(観世能楽堂)に金剛巖・茂山千五郎・観世鏡之丞、出演。 京都 2・11	8・15 この日より月末まで、南座・京都座は自粛休場。 ⁽²⁾ 映画芸能年鑑 昭22	
2・11 「決戦京都市民の歌」発表会(京都市・大政翼賛会京都市支部、朝日会館)。 京都 2・11	8・21 新京極の飾灯、灯火管制解除により復活。 京都 8・22	
2・22 「必勝歌」(松竹京都、マキノ正博監督、松竹オールスター出演)封切。 松竹70年史	8・下 大映・松竹両京都撮影所長、戦後映画は娯楽物中心と発言。 ⁽³⁾ 京都 8・24	
2・一 万年座、積雲のため一部倒壊。 京都 11・18	8・一 10世堀内宗完没(57歳、不斎齋)。 京の茶家	
3・6 「勝ち抜き学童みんなうたえ大会」(京都市文化課、円山)。 京都 3・7	9・1 南座、文楽座人形浄瑠璃で開場。9・1 京都座、新伎座沢村国太郎一座。 京都 8・30	
3・上 西陣に<映画館工場>(映画館で従業員が開場前に兵器作り)出現。 同上	9・1 戦後初の池坊華道展(大丸)。 伝統華道池坊	
3・23 西陣劇場、実川延蔵一座を名残りに休場。 京都	9・9 戦後初の金剛能例会(金剛能楽堂)。9・23観世能例会(同)。 京都 9・6、18	
4・1 大日本興行協会京都府支部、封切映画館入場料均一制(大人1.60円採用)。 京都 4・1	9・25 新京極の興行場、連合軍進駐による交通制限のため休業(～9・27)。 京都 9・27	
4・中 観世能楽堂、強制疎開のため撤去。6・24、7・8 例会は金剛能楽堂で続行。 京都 4・17	10・6 吉右衛門一座に時蔵加入の歌舞伎(南座、～10・21)。 京都 9・29	
4・13 東舞鶴大映劇場休場。 大映10年史	10・上 連合軍将兵、能・歌舞伎を見物。 京都 10・8、9	
4・28 能楽五星会第1回(金剛能楽堂)。4・29霞会第1回(同)。 京都 4・28	10・上 府、興行時間制限撤廃・興行内容に関する新方針(GHQの方針に基いたもの)を通達。 ⁽⁴⁾ 京都 10・8、10・15	
4・一 府下疎開地へ映画等慰問巡回盛ん。4・15京都府移動映写連盟、5・12府学務課。 京都 4・19、5・16	10・15 大日本興行協会、御用組合機構清算の意味で解散。これにともない京都府支部も解散。 映画芸能年鑑 昭22	
5・15 葵祭、行列中止。 京都 5・1	10・16 ニュース館、河劇と改称。	
5・20 京大オーケストラ第46回公演(長広敏雄・山田忠男指揮、モーツァルト交響曲第41番「ジュピター」ほか、京大学生集会所、戦時下最後の定期演奏会)。 ⁽¹⁾ 京大音楽部沿革史	10・20 日本座、三宅律子一座で開場。10・28 福知山劇場開場。	
5・23 池坊専威没(46歳)。 高いけばな、華道 昭26・5	10・22 時代祭、行列中止(昭25復活)。 京都 10・1	
5・31 梅玉・我当一座の歌舞伎、「おもひで曾我」「仮名手本忠臣蔵・山科閑居」ほか(南座、～6・17、東西を通じてこの月唯一の歌舞伎)。 松竹70年史	10・23 宮坂千賀子一座の軽演劇(南座)。10・23翫雀・我当の歌舞伎、「藤十郎の恋」ほか(京都座)。GHQ 民主的演劇方針により出し物に苦慮。 京都 10・19	

参	考	日	本
(1) <決戦>下の演奏会は、人的・資材的に多くの困難に直面した。メンバーは動員中であり、楽器の販売は禁止されていたからである。演奏会が続行された要因として『京大音楽部沿革史』は、①京都が空襲されなかったこと、②京都の伝統的文化的雰囲気と市民の援助、③関係者の努力、を挙げている。		1・6 映画演劇の入場税、改訂(入場料1円以上は2倍)。	
(2) 8・16の新京極の表情―「京都座は閉場しているが、他の劇場映画館は開場している、そこに行列して切符を求めている人達は若い人達ばかりである、悲憤の激情のはけ口を只一つの娯楽に求めているのであろう、しかし心から笑ふことは恐らく出来なからう」。 京都 8・17		3・10 国民新劇場など戦災で焼失。映画館も多数焼失。	
(3) 映画会社側の無思想的娯楽物路線の真意は民主主義的映画の忌避にあった(初代CIE映画演劇課長コンデ「日本映画の占領史」・『世界』昭40・8)。その後しばらく日本映画はテーマ映画と娯楽映画とのジグザグを歩む。		3・13～3・14 角座・中座・文楽座など戦災で焼失。	
(4) 「〇誠実なるポツダム宣言履行に悪影響を及ぼす虞れあるもの〇過去、現在及び将来に亘り軍国主義的色彩あるもの〇封建的忠義及び仇討の心情に立脚せる報復的内容あるもの〇現社会情勢より見て公安風俗を害する虞れあるもの、はいづれも禁止する」。 京都 10・8		4・11 森本薫作「女の一生」初演(東横映画劇場、文学座)。	
		5・6 15世市村羽左衛門没、72歳。	
		5・25 歌舞伎座・新橋演舞場など戦災で焼失。	
		6・1 映画公社(社)発足。	
		6・15 能楽協会(社)設立。	
		8・6 丸山定夫没、45歳。	
		8・15 戦争終結。全国の映画・演劇興行、自粛休演。	
		8・22 全国の映画・演劇興行、復活再開。	
		8・28 管弦楽、戦後初放送。	
		9・14 日響定期演奏会再開。	
		9・16 能楽協会定式能第1回。	
		9・21 東京都音楽団結成。	
		9・22 GHQ、映画製作方針(民主化促進・軍国主義撤廃など)発表。	
		10・2 GHQ、民主主義演劇の確立を示唆。	
		10・9 日本音楽文化協会解散。	
		10・10 GHQ、興行等取締規則の廃止を指示。	
		10・24 西崎緑舞踊会。	
		10・29 松竹歌劇団、戦後第1回公演。	
		11・1 クロイツァー、ショパン全曲演奏第1回演奏会。	
		11・9 松竹大船撮影所などに従業員組合、生まれる。	
		11・14 GHQ、「菅原伝授手習鑑」寺小屋の段を反民主主義的として上演中止命令。	
		11・15 日本映画社(株)発足。	
		11・16 GHQ、「非民主主義的映画排除方指令に関する覚書」交付。	
		11・30 映画公社(社)解散。	
		12・1 映画製作者連合会発足。	
		12・6 戦後初の洋画「ユーコンの叫び」上映。	
		12・9 1世吉田栄三没、76歳。	
		12・13 東京芸術劇場結成。	
		12・24 GHQ、東京宝塚劇場を接収。	
		12・26 新劇合同公演「桜の園」上演(有楽座)。	
		12・26 映画法廃止。	
		12・一 東宝・大映各撮影所に従業員組合、生まれる。	

京 都 府	
<p>10・26 軽音楽大会（高田浩吉・杉狂児ら、朝日会館）。10・29明朗音楽大会（東海林太郎・二葉あき子ら、南座）。 京都 10・27</p> <p>10・26 第1回宝籤芸能祭（吉田奈良丸・桂文治ら、宝籤普及会主催、京都新聞会館）。 京都 10・24</p> <p>10・一 GHQ、京宝を接收（昭27・7解除）。 京都 10・25</p> <p>11・1 菊水映劇・八千代館・伏見映劇・富士東宝・壬生館、フィルム事情好転により再開。12・27京極日活・三条館・福知山映画劇場再開。 京都 10・16、12・26</p> <p>11・1 観梅問題解決（15世梅若六郎は観世流梅若派として和解発足）披露能（金剛）。 京都 10・30</p> <p>11・3 新生新派（南座）。</p> <p>11・8 「狐の呉れた赤ん坊」（大映京都丸根賛太郎監督、主演阪東妻三郎）封切。</p> <p>11・一 元歌舞練場跡、米軍用ダンスホールとなる。 京都 11・3</p> <p>11・一 京都市、復員の海軍音楽隊員を受入れ京都市音楽団（楽長2・楽師7・楽手56人）編成。11・25披露演奏会（円山、蔵田・片岡指揮、「狩猟の光景」「カルメン」ほか）。以後12・1野外演奏会（岡崎）など京都市主催音楽行事に参加。昭24解散。 京都 10・31、11・26</p> <p>11・11 鴨川をどり復活（先斗町歌舞練場、～11・13、連日連合軍兵士300名を招待）。京都 10・18</p> <p>11・17 七夕会（枳殻邸）。 伝統華道池坊</p> <p>11・18 京大オーケストラ第47回公演（山田忠男指揮、ベートーヴェン交響曲第8番ほか、朝日会館、無料、超満員、戦後初の定期演奏会）。 京都 11・17、京大音楽部沿革史</p> <p>11・21 ヤサカ劇場、エンタツ劇団・アチャコ劇団で開場。</p> <p>12・1 顔見世菊五郎劇団に梅玉、GHQ新上演方針を反映して宇野信夫作「いわし雲」上演（南座、～12・26、入場料金8円～95銭）。 京都 12・2</p> <p>12・9 戦災者救済邦楽公演会（柳吟会、京都新聞会館）。 京都 12・8</p> <p>12・16 原智恵子独奏会（栄光館）。京都 12・14</p> <p>12・26 大映京都撮影所従業員組合（委員長酒井筆）結成。 映画芸能年鑑 昭22</p> <p>12・26 帝国映画劇場、京都日活映画劇場と改称。三友劇場、京極東宝と改称。 京都 12・18</p> <p>12・27 「犯罪者は誰か」（大映京都、田中重雄監督、阪東妻三郎主演、反戦のテーマ映画）封切。</p>	<p>12・27 戦後初の洋画上映、アメリカ映画「ユークソンの叫び」（ヤサカ会館ほか）。 京都 12・26</p> <p>12・一 演劇民主化・育成・鑑賞の京都シアター・ギルド（発起人能勢克男等）発足。 京都 12・5</p>

参 考	日 本